

取扱説明書

EH-LS500W

EH-LS500B

Home Projector

お使いになる前に

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。

本製品を、安全に正しくお使いいただくために、添付のマニュアル類をよくお読みください。不明な点はいつでも解決できるように、その後はすぐに見られる場所に大切に保管してください。

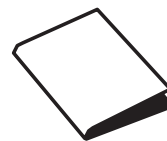


各説明書の使い方

本機の説明書は次のとおり構成されています。

安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内

本機を安全にお使いいただくための注意事項とサポート・サービスのご案内、トラブルチェックシートなどが記載されています。使い始める前に、必ずご覧ください。



取扱説明書（本書）

本機を使い始めるまでの準備や基本操作、環境設定メニューの使い方と、困ったときの対処方法、お手入れの方法などについて記載しています。





説明書中の表示の意味

安全に関する表示

取扱説明書および本機には、本機を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。
その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する表示

注意

本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を記載しています。

	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
	関連事項やより詳しい説明を記載しているページを示しています。
[メニュー名]	環境設定メニューの項目を示しています。 例：[画質] – [カラーモード]
【表記名】	リモコンまたは操作パネルのボタンを示しています。 例：【Menu】 ボタン

「本機」または「本プロジェクター」という表記について

本書の中に出てくる「本機」または「本プロジェクター」という表記には、プロジェクター本体のほかに同梱品やオプション品も含まれる場合があります。

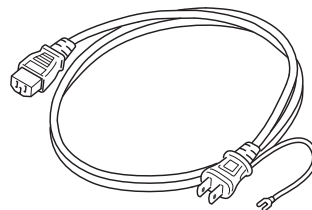
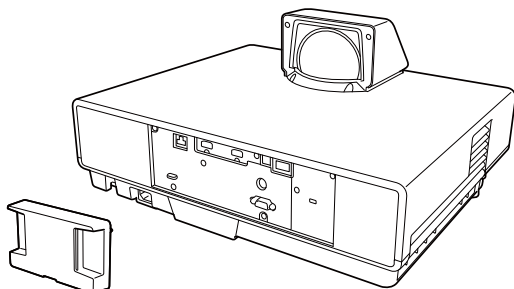


同梱品の確認

下記をご覧になり、同梱品を確認してください。

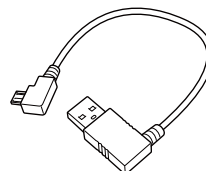
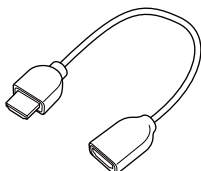
万一、不足や不良がありましたら、お手数ですがお買い求めいただいた販売店までご連絡ください。

プロジェクター本体（レンズキャップ付き） 電源コード（約1.8m）



HDMI延長ケーブル

USB給電ケーブル

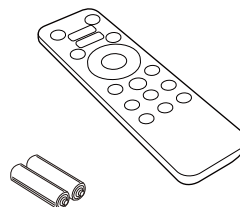
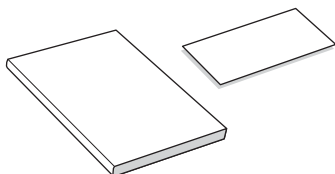


取扱説明書 ➡ [p.1](#)

プロジェクターリモコン ➡ [p.14](#)

保証書

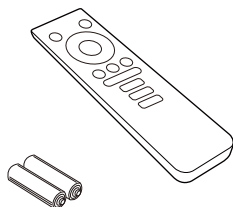
単4形乾電池（2本） ➡ [p.25](#)



Android TV™用リモコン ➡ [p.14](#)

Android TV™端末（ELPAP12）

単4形乾電池（2本）



本機の説明書はホームページでもご確認いただけます。

dreamio.jp/doc/



お使いのプロジェクターの型番を選んで取扱説明書をダウンロードしてください。

説明書の構成と表示の意味

各説明書の使い方	1
説明書中の表示の意味	2
安全に関する表示	2
一般情報に関する表示	2
「本機」または「本プロジェクター」という 表記について	2
同梱品の確認	3

はじめに

本機の特長	8
壁際に置いて大画面表示	8
モバイルデバイスの画面を投写	8
映像をより楽しむための機能	8
各部の名称と働き	9
前面/上面	9
背面/上面	10
接続端子部	11
底面	12
操作パネル	13
リモコン	14

使い始めるまでの準備

設置しよう	17
投写映像と本機の設置位置	17
投写面に対して平行に設置する	17
本機の左右の高さを合わせ水平に設置す る	18
スクリーンサイズと投写距離	19
機器と接続しよう	20
Android TVTM端末の接続	20
ビデオ機器の接続	22
コンピューターの接続	22
iPad/iPhoneの接続	22
LAN端子の接続	22
無線LANユニットの取り付け	23
外部スピーカーの接続	23
ARC対応AVアンプの接続	24

リモコンを準備しよう	25
リモコンに電池をセットする	25
リモコンの操作範囲	26
操作可能範囲（左右）	26
操作可能範囲（上下）	26

基本操作

映像を投写しよう	27
電源を入れる	27
目的の映像が映らない場合	28
ホーム画面の使い方	29
電源を切る	30
投写映像を調整しよう	31
ピントを調整する（フォーカス調整）	31
投写のサイズを調整する（ズーム調整）	31
映像の位置を調整する（デジタル ピクチャ ーシフト）	32
映像のタテ方向のゆがみを補正する	32
台形ゆがみを補正する	33
台形補正ボタンで補正する	33
Quick Corner機能で補正する	34
音量を調節する	35
映像と音声を一時的に消す（A/Vミュート）	35

画質の調整

画質の調整をしよう	36
映り具合を選ぶ（カラーモード）	36
画面をフルやズームに切り替える（アスペ クト）	36
シャープネスの調整	38
映像の解像感を調整する（イメージ強調）	39
映像の光量を調整する	40
フレーム補間を設定する	40
映像処理の速度を設定する	41
色を調整しよう	42
色温度を調整する	42
RGBを調整する（オフセット・ゲイン）	42
色相・彩度・明度の調整	43

ガンマの調整	44
補正値を選んで調整する	44
ガンマ調整グラフで調整する	45
登録した画質で映像を見る（メモリー機能）	46
メモリーを登録する	46
メモリーの呼び出し/削除/名称変更	47
便利な機能	
3D映像を楽しもう	48
3D映像を視聴するための準備	48
3D映像が見えないときは	48
3Dメガネを使用する	49
3D映像視聴に関する注意	49
HDMIリンクで操作しよう	51
HDMIリンク機能	51
HDMIリンク設定	51
接続する	52
ネットワーク上のプロジェクターを利用する	
有線LAN経由で投写しよう	53
有線LANを設定する	53
無線LAN経由で投写しよう	55
プロジェクターの無線LAN設定をする	55
コンピューターの無線LAN設定をする	58
Windowsで無線LANを設定する	58
OS Xで無線LANを設定する	58
無線LANのセキュリティを設定する	58
Epson iProjection (iOS/Android)で投写する	59
スマートフォンを使って操作する（リモコン機能）	60
環境設定メニュー	
環境設定メニューの機能	62
環境設定メニューの操作	62
環境設定メニュー一覧	63
画質メニュー	63

映像メニュー	65
設定メニュー	66
拡張設定メニュー	68
ネットワークメニュー	71
情報メニュー	76
初期化メニュー	76

困ったときに

故障かなと思ったら	77
トラブルの対処方法	77
インジケータの見方	77
異常/警告時のインジケータの状態	78
正常動作時のインジケータの状態	79
インジケータを確認してもわからないとき	80
現象の確認	80
映像に関するトラブル	81
音に関するトラブル	84
投写開始時のトラブル	85
リモコンでのトラブル	85
操作パネルのトラブル	86
3Dでのトラブル	86
HDMIのトラブル	87
Android TVTM端末のトラブル	87
ネットワークに関するトラブル	88
Event ID について	89

メンテナンス

お手入れの方法	90
各部の掃除	90
エアフィルターの掃除	90
本体の掃除	92
レンズの掃除	92
消耗品の交換時期	92
エアフィルターの交換時期	92
消耗品の交換	92
エアフィルターの交換方法	92
液晶アライメント	94
ユニフォーミティー	96
PJLinkについて	98

付録

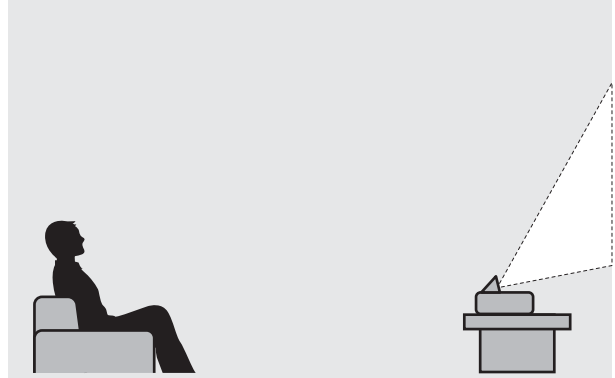
オプション・消耗品一覧	99
オプション品	99
消耗品	99
対応解像度一覧	100
PC	100
Unique Aspect	100
SD	100
HD	101
4K	101
3D	103
仕様一覧	106
EH-LS500W/EH-LS500B	106
外形寸法図	108
安全規格対応シンボルマークについて	109
レーザー製品を安全にお使いいただく ために	111
レーザー警告ラベル	112
用語解説	113
一般のご注意	114
商標について	116



本機の特長

壁際に置いて大画面表示

超短焦点レンズにより、テレビ代わりに壁際に置くだけで、大迫力の投写映像を楽しめます。👉 [p.17](#)



モバイルデバイスの画面を投写

Epson iProjectionを使うと、本機とスマートフォンやタブレット端末を無線で接続できます。Epson iProjectionはApp StoreまたはGoogle Playから無料でダウンロードできます。👉 [p.59](#)



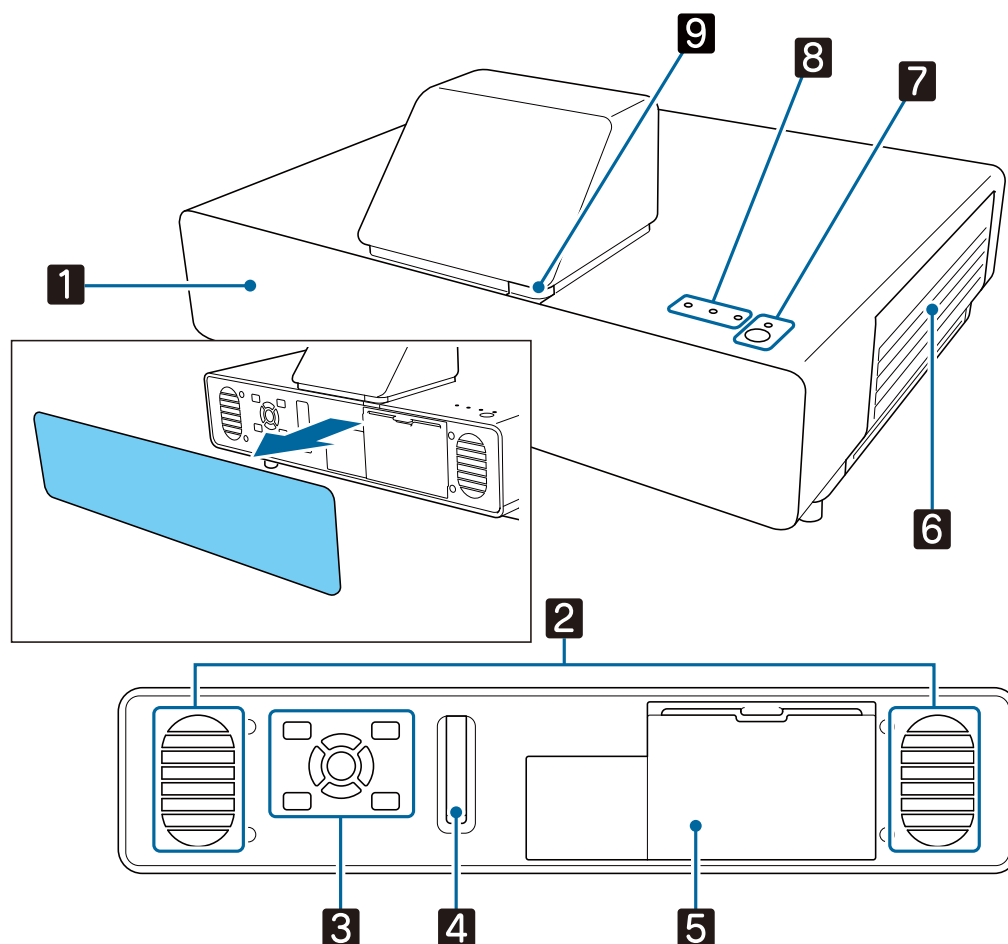
映像をより楽しむための機能

その他にも、次のような多彩な機能があります。

- 内蔵スピーカーで音声再生。外付けスピーカーがなくても音声を楽しめます。
- スマートフォンから遠隔操作。Epson iProjectionを使うと、スマートフォンやタブレット端末からプロジェクターを操作できます。👉 [p.60](#)

各部の名称と働き

前面/上面

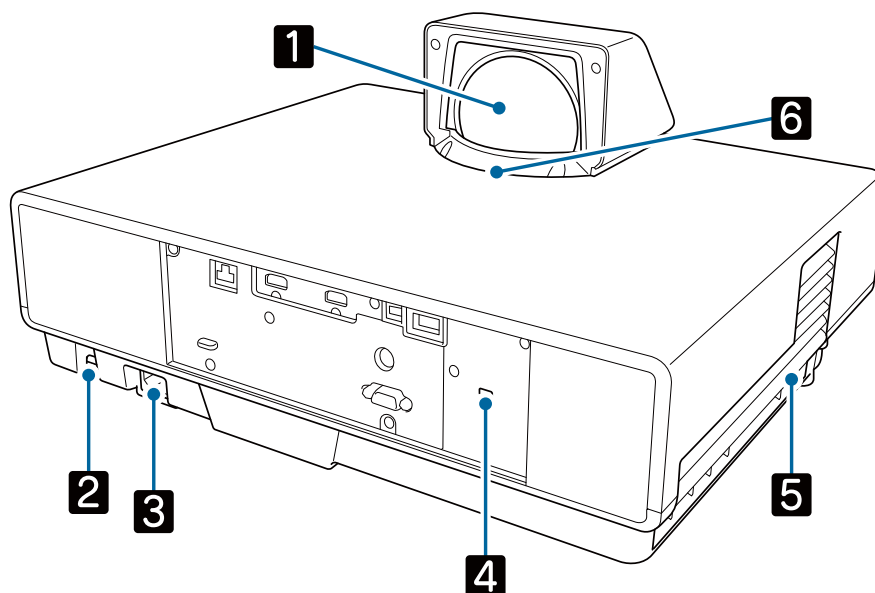


名称	機能
1 フロントカバー	Android TV™端末を接続するときおよび操作パネル、フォーカスレバーを操作するときにカバーを外します。
2 スピーカー	本機の内蔵スピーカーです。音声を再生します。
3 操作パネル	本機の操作をします。 ➡ p.13
4 フォーカスレバー	映像のピントを合わせます。 ➡ p.31
5 格納スペースカバー	Android TV™端末を接続するときにカバーを外します。 ➡ p.20
6 エアフィルターカバー	エアフィルターの掃除や交換時に、このカバーを開けてエアフィルターを取り出します。 ➡ p.90 、 p.92
吸気口	本機内部を冷却するための空気の吸い込み口です。
7 スタンバイボタン (スタンバイインジケーター)	プロジェクターの電源をオン/オフします。 ➡ p.27 プロジェクターに電源が供給されているときに点灯します。他のインジケーターとの組み合わせで、本機の状態を点灯・点滅で示します。 ➡ p.77
8 インジケーター	本機の状態を点灯・点滅で示します。 ➡ p.77
9 リモコン受光部	リモコン信号を受信します。 ➡ p.26



イルミネーション機能が「オフ」の場合は、正常な投写中にインジケーターがすべて消灯しています。☞ [拡張設定] - [動作設定] - [イルミネーション] p.68

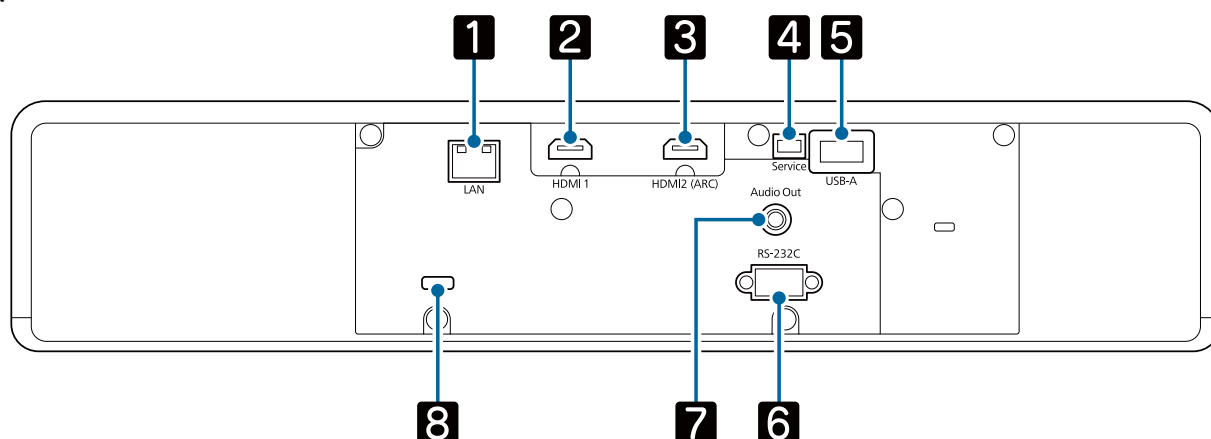
背面/上面



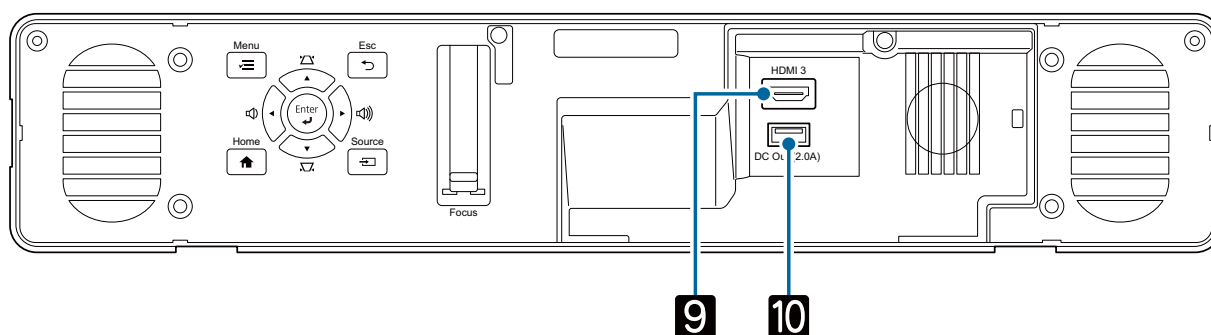
名称		機能
1	投写レンズ	ここから映像を投写します。
2	セキュリティーケーブル取付け部	市販の盗難防止用ワイヤーロックをこの部分に通して施錠します。
3	電源端子	電源コードを接続します。
4	セキュリティーロック(錠)	Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティーシステムに対応したセキュリティーロックです。詳細は、Kensington のホームページ http://www.kensington.com/ でご確認ください。
5	排気口	本機内部を冷却した空気の吐き出し口です。  注意 投写中は手や顔を排気口に近づけたり、変形など、熱による悪影響を受けるものを排気口の近くに置かないでください。排気口から温風が出るため、やけどや変形、事故の原因となります。
6	リモコン受光部	リモコン信号を受信します。☞ p.26

接続端子部

背面

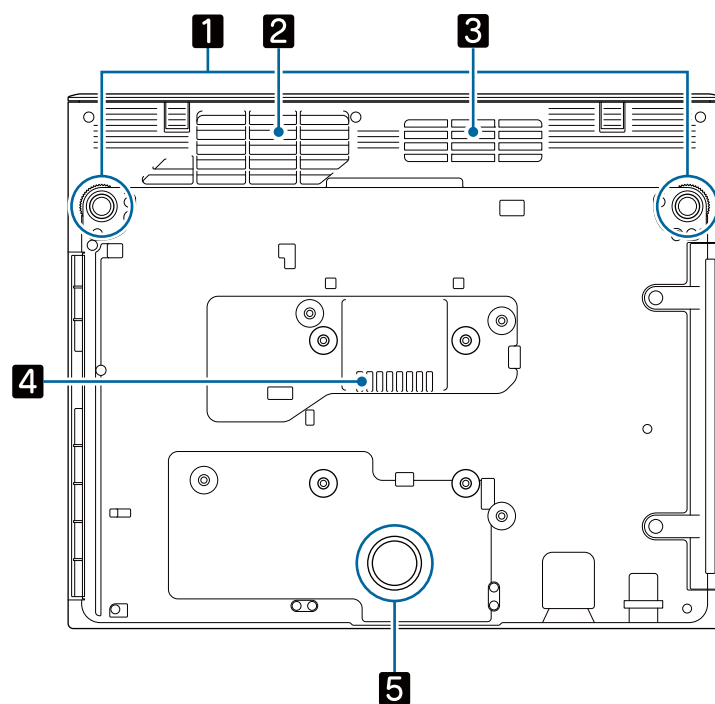


前面



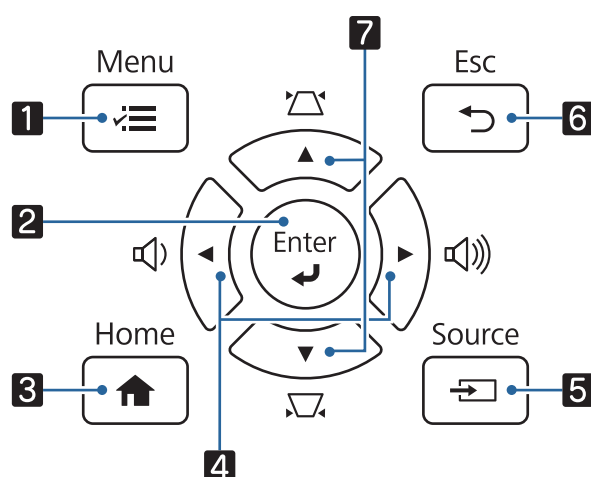
名称		機能
1	LAN端子	LANケーブルを接続して、ネットワークに接続します。☛ p.22
2	HDMI 1入力端子	HDMIに対応したビデオ機器やコンピューターを接続します。 ☛ p.22
3	HDMI 2 (ARC)入力端子	HDMIに対応したビデオ機器やコンピューターを接続します。 ☛ p.22 また、ARC対応AVアンプを接続して、音声を出力することもできます。 ☛ p.24
4	Service端子	サービス端子です。通常は使用しません。
5	USB-A入力端子	オプションの無線LANユニットと接続します。また、ファームウェアのアップデート時にも使用します。☛ p.23
6	RS-232C端子	本機を制御するときに、RS-232Cケーブルでコンピューターと接続します。制御用の端子で通常は使用しません。☛ p.106
7	Audio Out端子	再生中の音声を外部スピーカーに出力します。☛ p.23
8	ケーブルホルダー	ケーブル類を固定するための市販の結束バンド（ケーブルタイ）を通します。
9	HDMI 3入力端子	Android TV™端末の信号を入力します。☛ p.20
10	DC Out (2.0A)給電専用端子	Android TV™端末に電力を供給します。☛ p.20

底面



名称		機能
1	フロントフット	机上に設置したとき、フットを伸縮させて映像のタテ方向のゆがみを補正します。 p.32
2	吸気口	本機内部を冷却するための空気を取り込みます。
3	吸気口	Android TV™端末を冷却するための空気を取り込みます。
4	排気口	Android TV™端末を冷却するための空気の吐き出し口です。
5	リアフット	机上に設置したとき、本体を支えます。

操作パネル

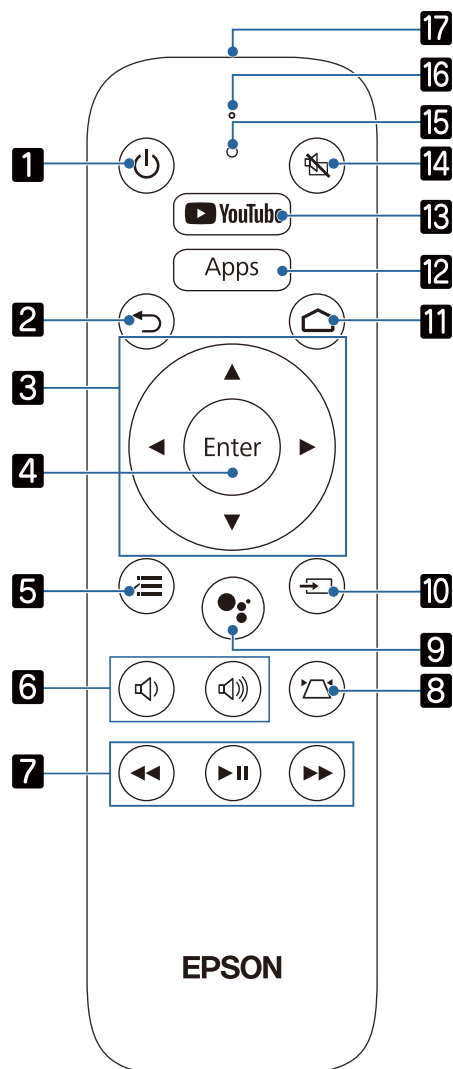


名称	機能
1 【Menu】 ボタン	環境設定メニューを表示/終了します。 環境設定メニューでは、映像、画質などの調整や設定を行うことができます。 ➡ p.62
2 【Enter】 ボタン	メニュー表示中に、項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。 ➡ p.62
3 【Home】 ボタン	プロジェクターのホーム画面を表示/終了します。 ➡ p.29
4 音量/左右ボタン	- 音量を調整します。 ➡ p.35 - メニュー表示中に押すと、メニュー項目や調整値を選択します。 ➡ p.62 - 台形補正画面の表示中は、投写映像の横方向のゆがみを調整します。 ➡ p.33
5 【Source】 ボタン	各入力端子からの映像に切り替えます。 ➡ p.28
6 【Esc】 ボタン	メニュー表示中に、1つ上の階層に戻ります。 ➡ p.62
7 台形補正/上下ボタン	- メニュー表示中に押すと、メニュー項目や調整値を選択します。 ➡ p.62 - 投写映像のゆがみを調整します。 ➡ p.33

リモコン

プロジェクターリモコン

プロジェクターと、同梱のAndroid TV™端末（ELPAP12）を操作できるリモコンです。本書では断りがない限り、プロジェクターリモコンでの操作を説明しています。

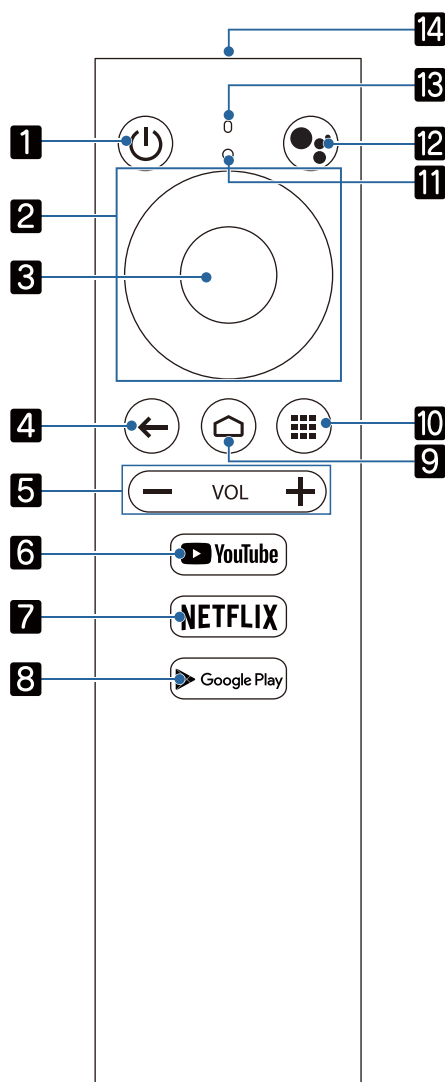


名称	機能
1 スタンバイボタン	プロジェクターの電源をオン/オフします。👉 p.27
2 戻るボタン	実行中の機能を終了します。メニューの表示中に押すと、前のメニュー階層に戻ります。👉 p.62
3 上下左右ボタン	メニュー項目や調整値を選択します。👉 p.62
4 【Enter】 ボタン	メニューの表示中に、項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。👉 p.62
5 メニューボタン	環境設定メニューを表示/終了します。 環境設定メニューでは、映像、画質などの調整や設定を行うことができます。👉 p.62
6 音量ボタン	音量を調整します。👉 p.35
7 再生操作ボタン	Android TV™端末やHDMI CEC規格対応のビデオ機器を操作します。👉 p.51

名称		機能
8	台形補正ボタン	映像のゆがみを補正します。👁️ p.33
9	マイクボタン	Android TV™を音声で操作します。ボタンを押すと、リモコンのマイクで音声を認識します。
10	入力検出ボタン	各入力端子からの映像に切り替えます。
11	ホームボタン	Android TV™のホーム画面を表示/終了します。
12	Appsボタン	Android TV™のアプリ一覧を表示します。
13	YouTubeボタン	YouTubeアプリを開きます。
14	A/Vミュートボタン	映像と音声を一時的に消す/再開します。👁️ p.35
15	インジケータ	リモコンを操作中に点灯します。
16	マイク部	マイクボタンが押されたときに、ここで音声を検出します。
17	リモコン発光部	リモコン信号を出力します。

Android TV™用リモコン

同梱のAndroid TV™端末（ELPAP12）を操作できるリモコンです。



名称		機能
1	スタンバイボタン	同梱のAndroid TV™端末の電源をオン/オフします。
2	上下左右ボタン	Android TV™のメニュー項目を選択します。
3	決定ボタン	Android TV™のメニューの項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。
4	戻るボタン	Android TV™の表示中に押すと、前のメニュー階層に戻ります。
5	音量ボタン	同梱のAndroid TV™端末の音量を調整します。
6	YouTubeボタン	YouTubeアプリを開きます。
7	Netflixボタン	Netflixアプリを開きます。Netflixでコンテンツを視聴するには、メンバーシップ登録が必要です。
8	Google Playボタン	Google Playに接続します。
9	ホームボタン	Android TV™のホーム画面を表示します。
10	アプリボタン	Android TV™のアプリ一覧を表示します。
11	インジケーター	リモコンを操作中に点灯します。
12	マイクボタン	Android TV™を音声で操作します。ボタンを押すと、リモコンのマイクで音声を認識します。
13	マイク部	マイクボタンが押されたときに、ここで音声を検出します。
14	リモコン発光部	リモコン信号を出力します。



設置しよう

投写映像と本機の設置位置

プロジェクターはリビングテーブルや低めの棚などに設置してください。

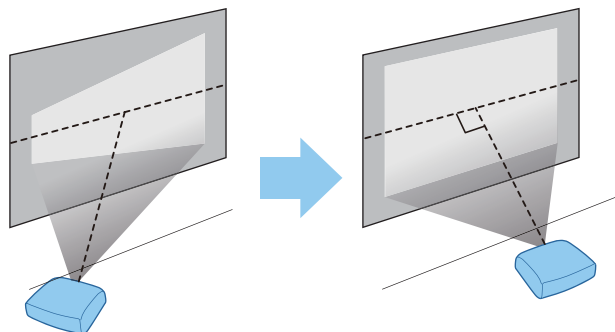


設置時は、以下のように設置してください。

■ 投写面に対して平行に設置する

スクリーンに対して本機を斜めに設置すると、投写映像が台形にゆがみます。

スクリーンと本機が平行になるよう設置位置を調整してください。

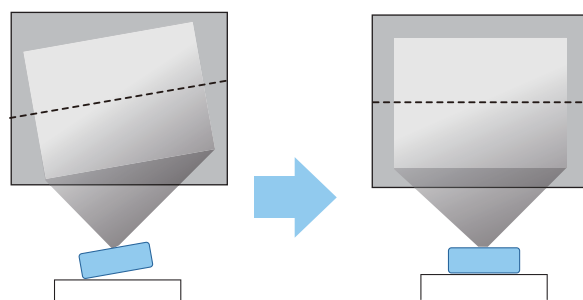


本機をスクリーンの正面に設置できないときは、投写映像の位置を調整します。👉 [p.31](#)

■ 本機の左右の高さを合わせ水平に設置する

本機を傾けて設置すると、投写映像も傾きます。

本機の高さが左右で水平になるよう設置してください。



⚠ 警告

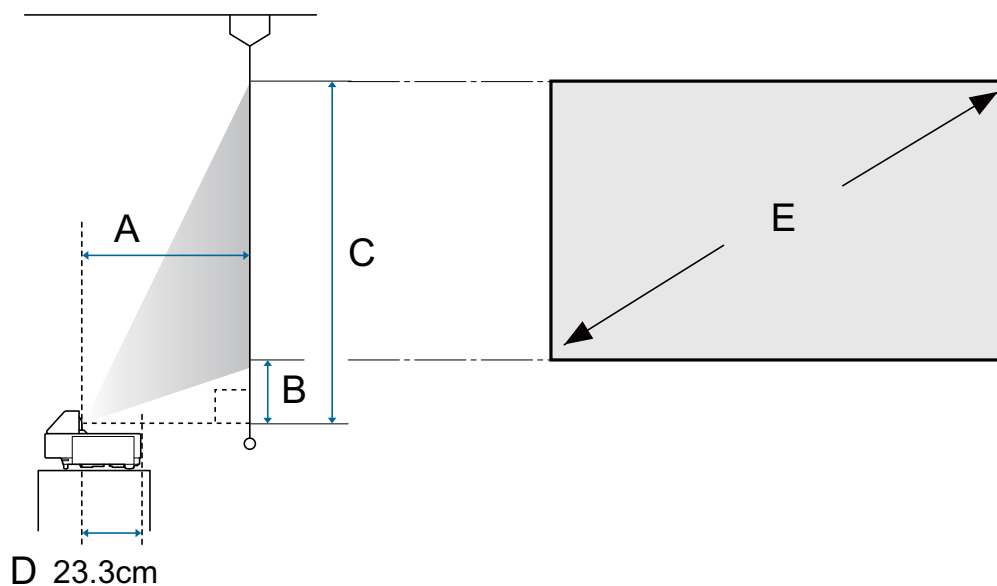
- 湿気やホコリの多い場所や、油煙や湯気が当たるような場所（調理場所、ご家庭のキッチン、加湿器のそばなど）にプロジェクターを設置しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 塩害が発生する場所や、温泉から出る硫黄ガスなどの、腐食性ガスが発生する所には設置しないでください。腐食による落下の原因になることがあります。また、本機の故障の原因になることがあります。
- 不安定な棚の上や荷重範囲を超える場所には設置しないでください。落下や転倒によりけがや事故の原因となります。
- 棚の上など高い位置に設置するときは、地震など、非常時の安全確保と事故防止のため、ワイヤーやベルトなどを用いて落下防止策を施してください。正しく設置しないと落下によりけがや事故の原因となります。
- 本機の吸気口・排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 本機の下に布や紙などを置かないでください。投写中に本機底面の吸気口に吸着され、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

注意

- 本機を縦向きに置いて投写しないでください。故障の原因となります。
- エアフィルターの掃除は20,000時間を目安に行ってください。ホコリの多い環境では、より短い周期で掃除を行ってください。 ➡ [p.90](#)

スクリーンサイズと投写距離

次の表を参考にして、映像が最適な大きさに映るように設置してください。値は目安です。



- A : 投写距離
- B : プロジェクターからスクリーン下端までの長さ
- C : プロジェクターからスクリーン上端までの長さ
- D : レンズの中心からプロジェクターの背面までの長さ
- E : 投写画面のサイズ

単位：cm

16:9 スクリーンサイズ		A	B	C
E	W x H	最短 (ワイド) ~ 最長 (テレ)	最短 (ワイド)	最短 (ワイド)
70型	155 x 87	43 - 59	12	99
80型	177 x 100	49 - 67	14	114
90型	199 x 112	56 - 76	16	128
100型	221 x 125	62※	17	142
110型	244 x 137	69※	19	156
120型	266 x 149	75※	21	170
130型	288 x 162	82※	23	185

※ ワイド (最大ズーム) で投写



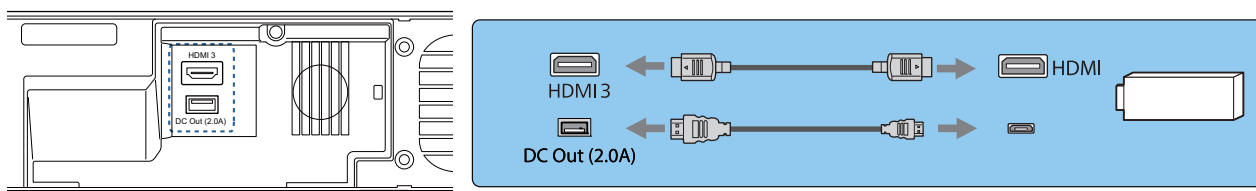
機器と接続しよう

注意

- 接続機器のケーブルを本機に接続してから本機の電源コードを接続してください。
- ケーブルのコネクター形状と端子の形状を確認して接続してください。向きや形状が異なっているものを無理に押し込むと、機器の破損や故障の原因になります。

Android TV™端末の接続

Android TV™端末の映像を投写するには、同梱のHDMI延長ケーブルおよびUSB給電ケーブルで接続します。



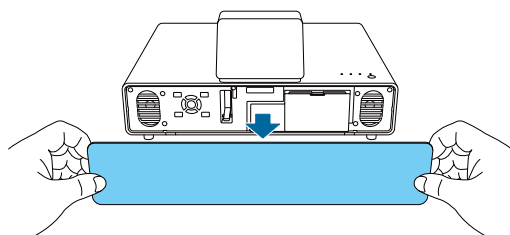
注意

同梱のAndroid TV™端末は本機専用です。接続する映像機器によっては正しく動作しないことがあります。

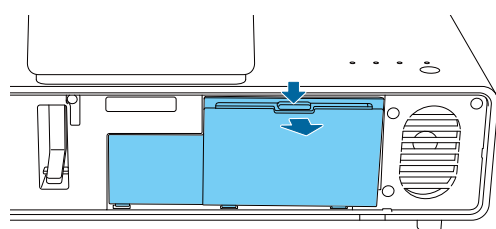


同梱のAndroid TV™端末を修理に出された場合、初期化してお返すことがあります。各種オンラインサービスのアカウント情報を必ずお控えの上、修理をご依頼ください。

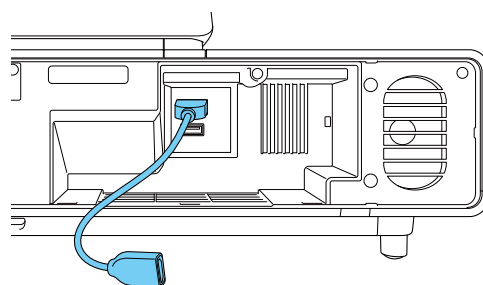
1 フロントカバーを外します。



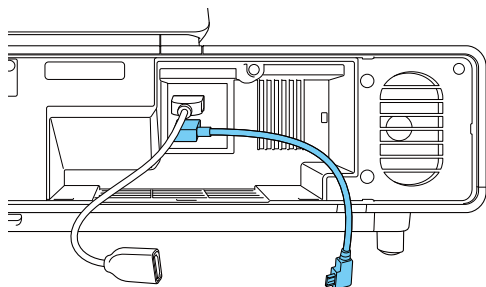
2 格納スペースカバーを取り外します。



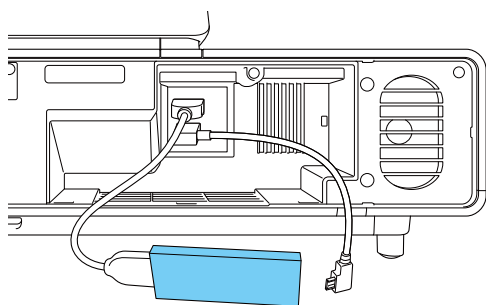
3 同梱のHDMI延長ケーブルをHDMI3入力端子に接続します。



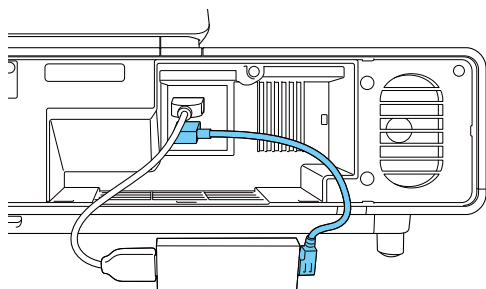
- 4 同梱のUSB給電ケーブルをDC Out (2.0A)給電専用端子に接続します。



- 5 Android TV™端末をHDMI延長ケーブルに接続します。

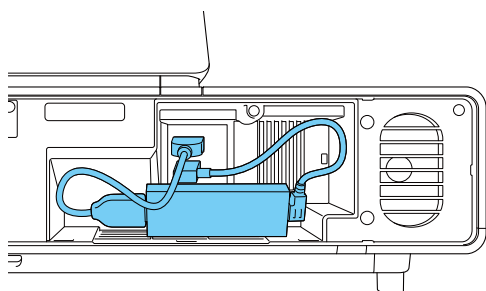


- 6 USB給電ケーブルをAndroid TV™端末のUSB端子 (Bタイプ) に接続します。

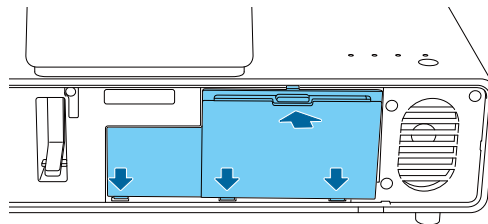


- 7 Android TV™端末を格納スペース内にセットします。

ケーブル類は、図のような位置に配置してください。



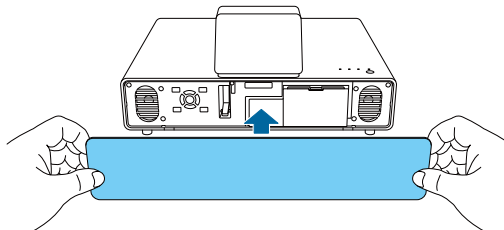
- 8 格納スペースカバーを取り付けます。



注意

ケーブル類がカバーに挟まれないようにしてください。ケーブルが挟まれた状態だとカバーが閉まりません。

- 9 フロントカバーを取り付けます。

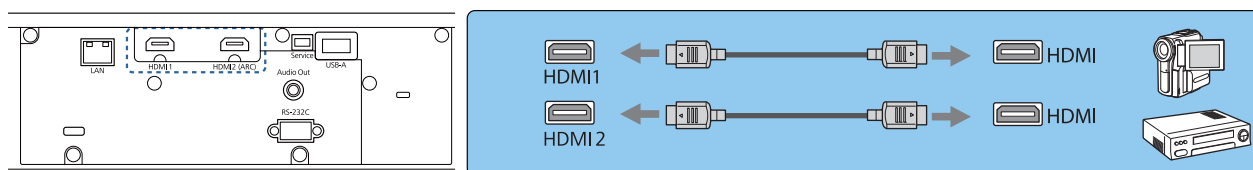


 同梱のAndroid TV™端末は、初回起動時にリモコンとペアリング（接続設定）する必要があります。画面の指示に従って、ペアリングをしてください。

 [p.25](#)

ビデオ機器の接続

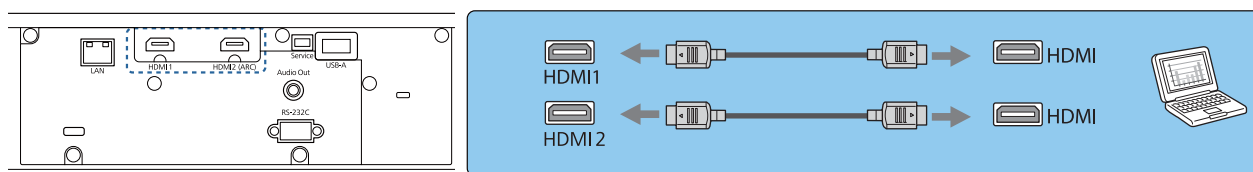
DVD/ブルーレイディスクプレーヤーやビデオなどの映像を投写するには、HDMIケーブル（市販品）で接続します。



- 4k60p 4:4:4などの18Gbps伝送帯域の信号を見る場合は、プレミアムHDMIケーブルを使用してください。適合していないケーブルを使用すると、正しく表示できないことがあります。もし、18Gbpsで表示の不具合が発生した場合は、EDIDを[標準]に切り替えてください。☞ [映像] - [アドバンスド] - [EDID] [p.65](#)
- 接続機器の音声は、お手持ちのAVアンプなどに接続してもお楽しみいただけます。

コンピューターの接続

コンピューターの映像を投写するには、HDMIケーブル（市販品）で接続します。



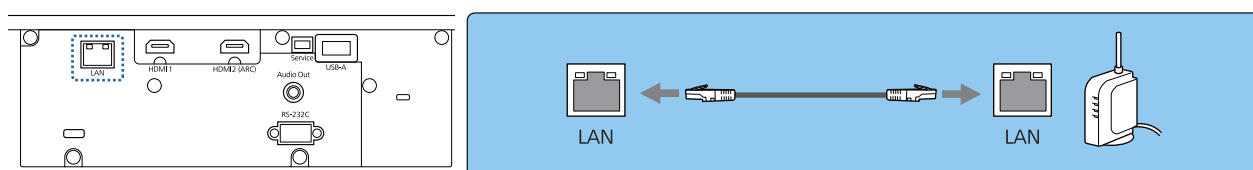
iPad/iPhoneの接続

iPad/iPhoneで動画を投写するときは、市販のLightening/HDMI変換アダプタ等を使用して有線で接続してください。

写真やファイル、Webサイトを投写するときはEpson iProjectionが利用できます。☞ [p.59](#)

LAN端子の接続

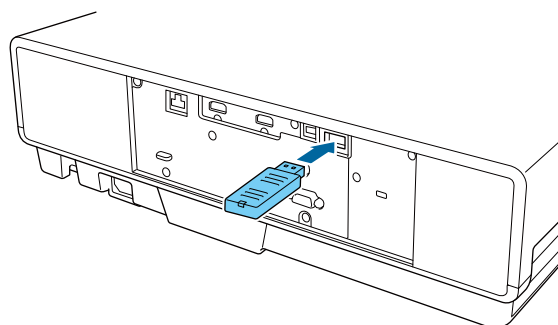
ネットワークルーターやハブなどに100BASE-TXまたは10BASE-TタイプのLANケーブルで接続します。ネットワーク経由で、コンピューターやスマートデバイスからプロジェクターを操作したり、状態を確認したりできます。



誤作動防止のために、LANケーブルはカテゴリ5以上のシールド付きをお使いください。

無線LANユニットの取り付け

無線LAN機能を使用する場合は、オプションの無線LANユニット（ELPAP10）をUSB-A入力端子に挿し込みます。



無線LAN経由で投写するには、以下の方法があります。詳細はダウンロード先にてご確認ください。

- **4画面を同時に投写**

Epson iProjection (Windows/Mac)を使うと、ネットワークにつながった最大50台のコンピュータの中から任意の4台までの画面を、プロジェクターで分割表示できます。

Epson iProjection (Windows/Mac)は以下のWebサイトからダウンロードしてください。

<https://www.epson.jp/download/>

- **携帯端末の映像をネットワーク経由で投写**

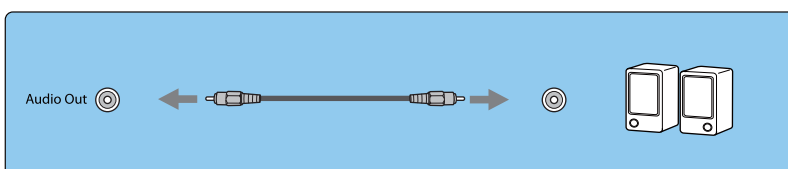
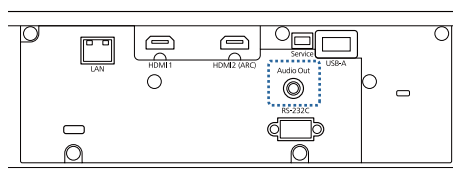
Epson iProjection (iOS/Android)をスマートフォンやタブレット端末にインストールすると、端末内のデータをワイヤレスで投写できます。☞ [p.59](#)



- 無線LANユニットを挿したままにしておく場合、無線LANを使用しないときは、[無線LAN電源] を [オフ] に設定してください。第三者からの不正アクセスを防ぐことができます。
☞ [p.71](#)
- [かんたんモード] でEpson iProjectionを使うときは、セキュリティーの設定をすることをお勧めします。☞ [p.74](#)

外部スピーカーの接続

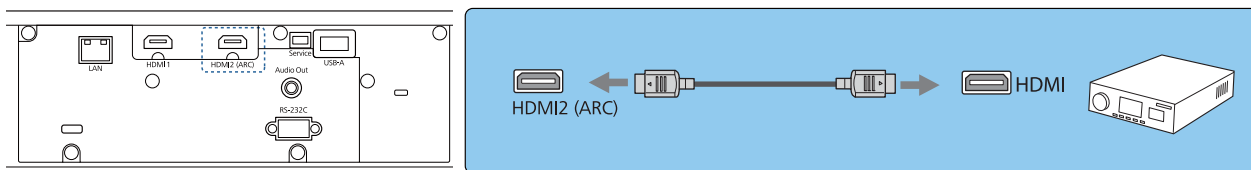
外部スピーカーから音声を出力するには、オーディオケーブル（市販品）で、外部スピーカーと本機のAudio Out端子を接続します。



- 外部スピーカーから音声を出力するときは、[音声出力機器] を [プロジェクター] に設定します。☞ [設定] - [HDMIリンク] - [音声出力機器] [p.66](#)
- [音声出力機器] が [AVアンプ] に設定されていても、アンプが接続されていなければ、音声は外部スピーカーから出力されます。

ARC対応AVアンプの接続

ARC対応AVアンプから音声を出力するには、HDMIケーブル（市販品）で、AVアンプと本機のHDMI2 (ARC)端子を接続します。



ARC対応AVアンプから音声を出力するときは、以下を設定します。

- [音声出力機器] を [AVアンプ] に設定します。☞ [設定] - [HDMIリンク] - [音声出力機器] [p.66](#)
- 本機にAVアンプを接続した状態で、[HDMIリンク] を [オン] に設定します。☞ [設定] - [HDMIリンク] [p.66](#)



リモコンを準備しよう

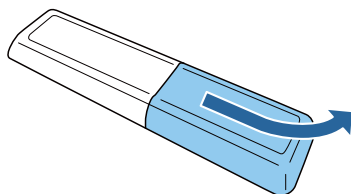
リモコンに電池をセットする

注意

- 電池ホルダー内の表示を確認し、(+) (−) を正しく入れてください。
- 単4形マンガンあるいはアルカリ乾電池以外の電池は使用しないでください。

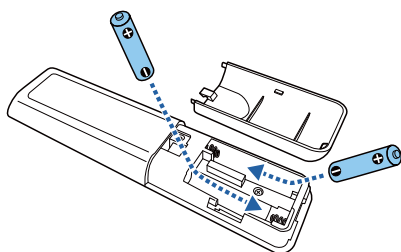
1 電池カバーを外します。

電池カバーのツメを押さえながら、上へ持ち上げます。



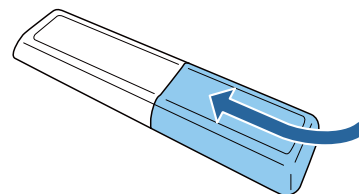
2 新しい電池と交換します。

(+) (−) の向きを確認して入れてください。



3 電池カバーを取り付けます。

カチッと音がするまでカバーを押し込みます。



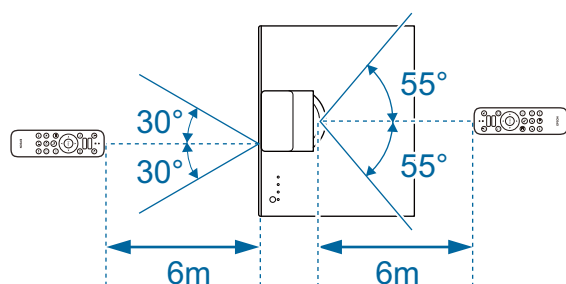
 リモコンの反応が遅くなったり、操作できなくなったときは電池の寿命が考えられます。新しい電池2本（単4形マンガンまたはアルカリ乾電池）と交換してください。

4 同梱のAndroid TV™端末を接続して本機のリモコンで操作するときは、ペアリング（接続設定）が必要です。画面の指示に従ってリモコンのホームボタンと【Enter】ボタンを同時に約3秒間長押ししてペアリングを行ってください。

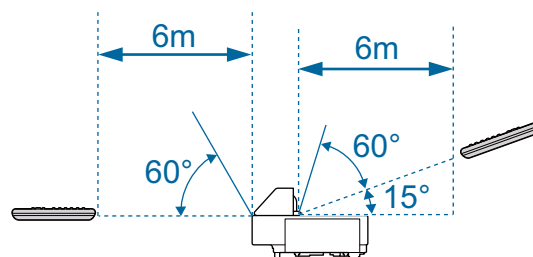
- 
- プロジェクターの [HDMIリンク] が [オフ] になっている場合は、[オン] に設定してください。👉 [p.51](#)
 - ペアリング中は、リモコンのインジケータが点滅します。

リモコンの操作範囲

■ 操作可能範囲（左右）



■ 操作可能範囲（上下）



映像を投写しよう

電源を入れる

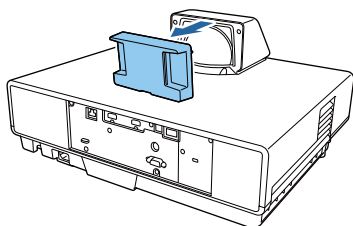
1 本機と接続機器を接続します。

2 同梱の電源コードを接続します。

警告

必ず接地接続を行ってください。
接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

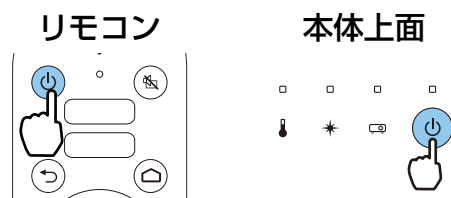
3 レンズキャップを外します。



注意

レンズキャップを付けたままの状態では本機の電源を入れると、投写光で熱せられたキャップが熱くなります。必ず、本機の電源を入れる前にキャップを取り外してください。

4 リモコンまたは本体上面のスタンバイボタンを押して電源を入れます。

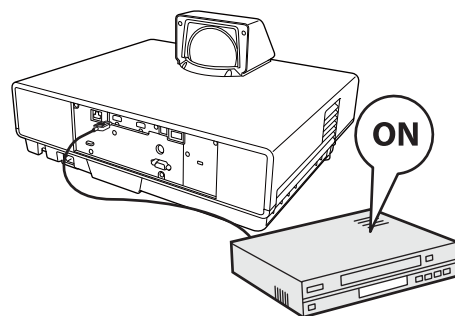


本機のステータスインジケータが青色に点滅します（ウォームアップ状態）。ウォームアップが終わると、スタンバイインジケータとステータスインジケータが青色に点灯します。



- [ダイレクトパワーオン] を [オン] にすると、ボタン操作をしなくても、本機に電源コードを接続するだけで投写を開始します。☛ [拡張設定] - [動作設定] - [ダイレクトパワーオン] [p.68](#)
- [拡張設定] メニューで [高速起動] をオンにすると、次の電源投入時には数秒で投写可能状態になります。☛ [拡張設定] - [動作設定] - [高速起動] [p.68](#)

5 接続機器の電源を入れます。



警告

- 投写中はレンズをのぞかないでください。強い光により視力障害などの原因となります。特にお子様の行動にご注意ください。
- 本機から離れた場所でリモコンを使って電源を入れるときは、レンズをのぞいている人がいないことを確認してください。
- 投写中はレンズの前に立たないでください。衣服が高温になり損傷する原因となります。



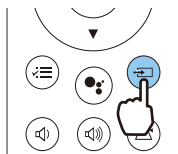
- 本機には、お子様が誤って電源を入れるのを防ぐチャイルドロック機能や、誤操作などを防ぐ操作ボタンロック機能があります。☛ [設定] - [ロック設定] - [チャイルドロック] / [操作ボタンロック] [p.66](#)
- 標高1500m以上でお使いの場合は、必ず[高地モード]を[オン]にしてください。☛ [拡張設定] - [動作設定] - [高地モード] [p.68](#)

目的の映像が映らない場合

映像が映らないときは、次の方法で入力ソースを切り替えます。

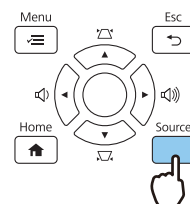
リモコン

入力検出ボタンを押して、目的の入力端子を選択します。



操作パネル

【Source】ボタンを押して、目的の入力端子を選択します。



操作パネルの【Home】ボタンを押してホーム画面からも設定できます。☛ [p.29](#)

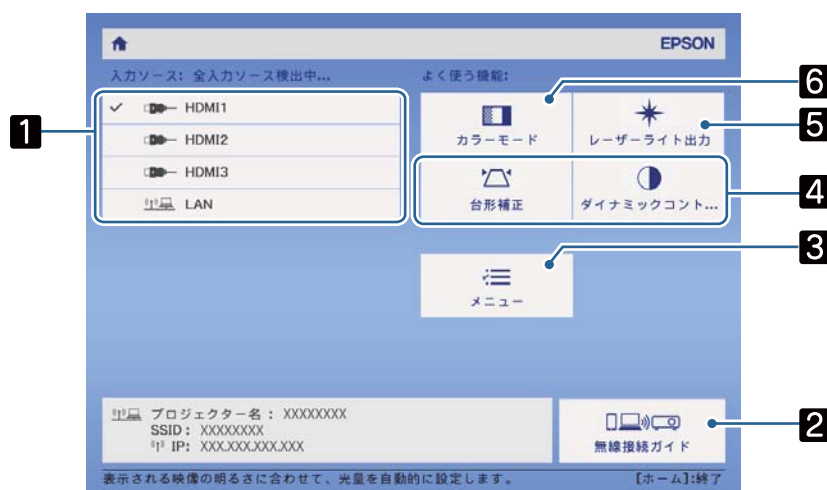
ホーム画面の使い方

ホーム画面を使うと、入力ソースの切り替えや、便利な機能の実行が簡単にできます。

ホーム画面を表示するには、操作パネルの【Home】ボタンを押します。

以下の条件を満たしているときは、本機の電源を入れるとホーム画面が自動で表示されます。

- [ホーム画面自動表示] が [オン] に設定されている ➡ [拡張設定] - [ホーム画面設定] - [ホーム画面自動表示] [p.68](#)
- すべての入力ソースが無信号状態



1	入力ソースを切り替えます。
2	無線接続ガイドを表示します。
3	環境設定メニューを表示します。 ➡ p.62
4	[ホーム画面設定] で [カスタム機能1]、[カスタム機能2] に割り当てた機能を実行します。 ➡ [拡張設定] - [ホーム画面設定] p.68
5	光源の明るさを設定します。 ➡ [画質] - [レーザーライト出力] p.63
6	[カラーモード] を切り替えます。 ➡ p.36 ➡ [画質] - [カラーモード] p.63

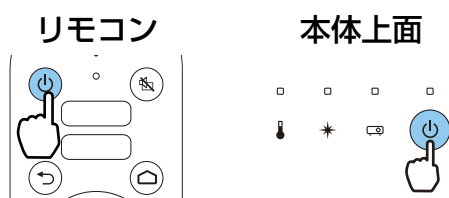


10分間操作がないと、ホーム画面は自動的に消えます。

電源を切る

1 接続している機器の電源を切ります。

2 リモコンまたは本体上面のスタンバイボタンを押します。



確認メッセージが表示されます。

3 もう一度スタンバイボタンを押します。

電源を切りますか？

はい : 電源ボタンを押す
いいえ: 他のボタンを押す

ステータスインジケータが点滅し、クールダウンを開始します。

 [スタンバイ確認] を [オフ] に設定しているときは、リモコンのボタンを一度押すだけで電源が切れます。 ➡ [拡張設定] - [表示設定] - [スタンバイ確認] [p.68](#)

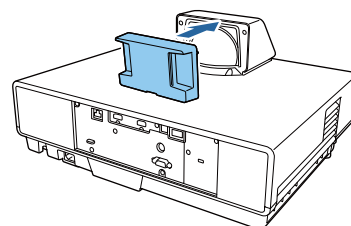
4 クールダウンが終了するのを待ちます。

クールダウンが終了すると、ステータスインジケータの点滅が止まります。

5 電源コードを抜きます。

- 電源コードを接続している状態では、動作していなくても電力を消費しています。
- 再度、電源コードを接続するときは十分な間隔をあけてください。

6 レンズキャップを取り付けます。



 [スタンバイ時USB給電] を [オン] に設定すると、本機がスタンバイ状態（電源オフ）のときもAndroid TV™端末に電力を供給するため、Android TV™端末の起動を早めます。 ➡ [拡張設定] - [動作設定] - [スタンバイ時USB給電] [p.68](#)

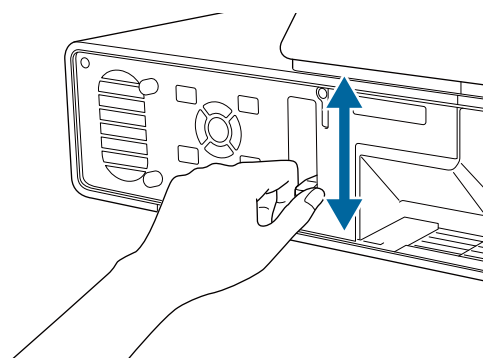
投写映像を調整しよう



プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しませんので、フォーカス/ズーム/レンズシフトの設定は、映像を投写し始めてから20分以上たってから行うことをお勧めします。

ピントを調整する（フォーカス調整）

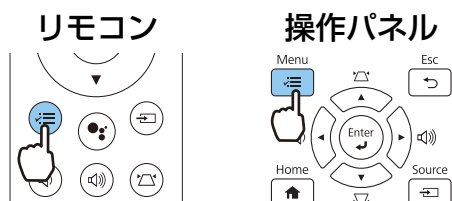
フォーカスレバーを上下してピントを調整します。



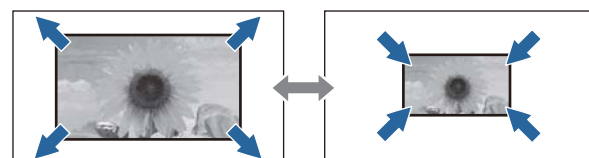
投写のサイズを調整する（ズーム調整）

ズーム機能で投写映像の大きさを調整します。

- 1 【Menu】 ボタンを押して、[設定] - [ズーム] の順でメニューを表示します。



- 2 左右ボタンで調整します。

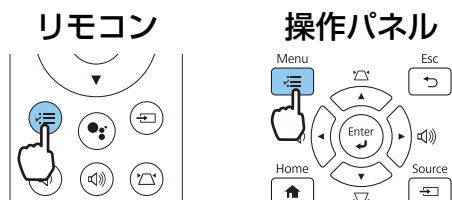


- 3 【Menu】 ボタンを押してメニューを終了します。

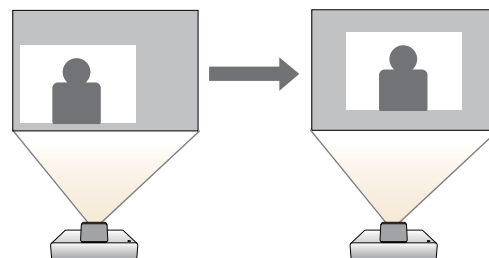
映像の位置を調整する（デジタル ピクチャーシフト）

本機を動かさずに映像の投写位置を調整します。☞ [設定] - [デジタル ピクチャーシフト] p.66

- 1 【Menu】 ボタンを押して、[設定] - [デジタル ピクチャーシフト] の順でメニューを表示します。



- 2 上下左右ボタンで映像の位置を調整します。



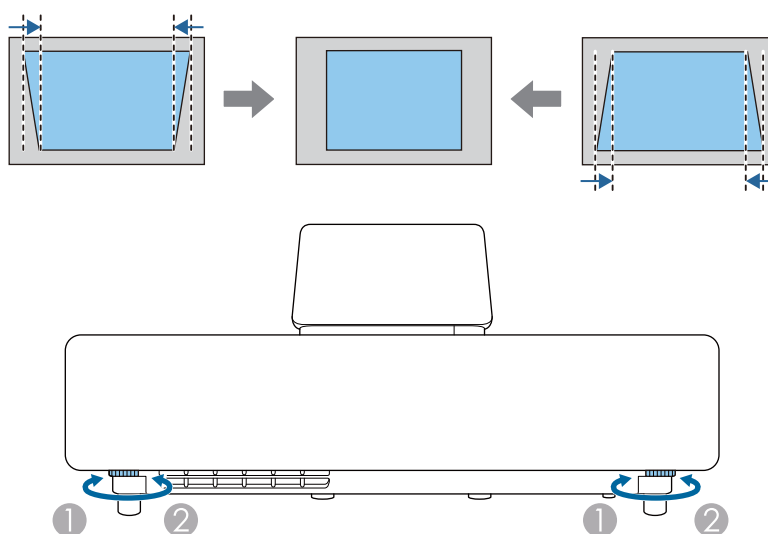
- 3 【Menu】 ボタンを押してメニューを終了します。



- ズームで映像の大きさを調整してからデジタル ピクチャーシフトで投写位置を調整してください。ズームをワイド側に最大にしているときは投写位置を調整できません。
- プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しません。投写位置の調整は、映像を投写し始めてから20分以上たってから行ってください。
- デジタル ピクチャーシフトの設定は電源を切っても記憶されています。本機の設置位置や角度を変えたときは、再度調整してください。

映像のタテ方向のゆがみを補正する

投写映像がタテ方向にゆがんでいるときは、フロントフットで映像とスクリーンが同じ角度になるように補正します。



- ① フットを縮める
- ② フットを伸ばす

台形ゆがみを補正する

スクリーンに対して斜めに本機を設置したり、上下に傾けて設置したりしたときは、映像の台形ゆがみを補正します。

補正には次の2つの方法があります。

- 縦方向、横方向のゆがみを補正する 🖱️ [p.33](#)
- 投写画面のコーナーの形状を個別に補正する 🖱️ [p.34](#)

■ 台形補正ボタンで補正する

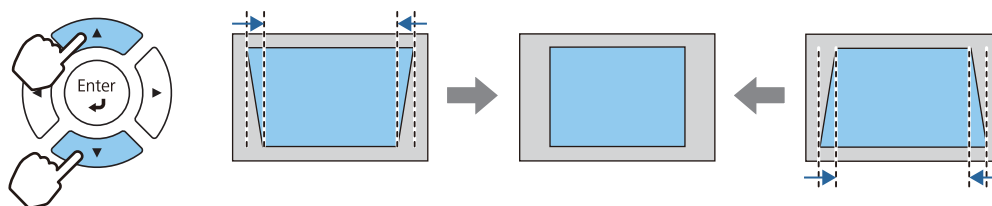
操作パネルまたはリモコンの上下/左右ボタンでタテヨコ方向のゆがみを補正します。

操作パネルの上下ボタンまたはリモコンの台形補正ボタンを押すと、タテ補正/ヨコ補正ゲージが表示されます。

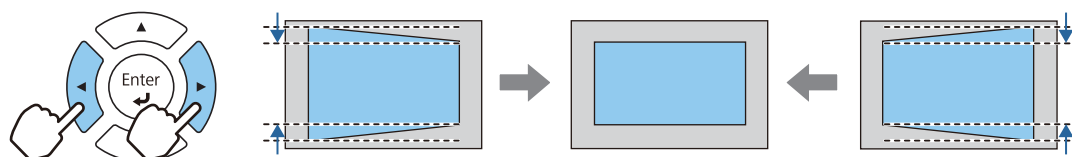
ゲージが表示された状態で、上下ボタンを押すと縦方向に、左右ボタンを押すと横方向に補正します。



上下のどちらかが広いとき



左右のどちらかが広いとき

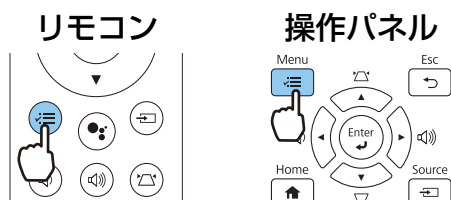


- 台形ゆがみを補正すると投写画面が小さくなります。目的のスクリーンサイズに合わせるときは、投写距離を長くしてください。
- タテヨコ補正は環境設定メニューからも設定できます。 🖱️ [設定] - [台形補正] - [タテヨコ] [p.66](#)
- 正しく補正できる範囲は、補正角度で上下左右約3°以下です。
- タテ補正/ヨコ補正ゲージが表示されていない状態で操作パネルの左右ボタンを押すと、音量を調整します。 🖱️ [p.35](#)

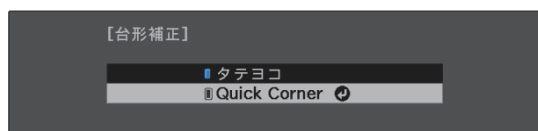
■ Quick Corner機能で補正する

Quick Corner機能を使用して、映像のゆがみと大きさを補正します。

- 1 【Menu】 ボタンを押して、[設定] - [台形補正] の順でメニューを表示します。

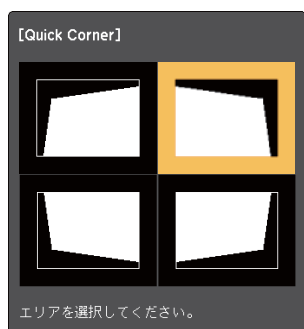


- 2 上下ボタンで [Quick Corner] を選択し、【Enter】 ボタンを押して決定します。必要に応じて 【Enter】 ボタンをもう一度押します。



エリア選択画面が表示されます。

- 3 上下/左右ボタンを押して、調整するコーナーを選択します。その後、【Enter】 ボタンを押します。



Quick Cornerで補正した結果を初期化するには、エリア選択画面が表示されているときに【Esc】ボタンを約2秒間押し、[はい]を選択します。

- 4 上下/左右ボタンを押して、映像の形状を調整します。【Enter】 ボタンを押すと、エリア選択画面に戻ります。

以下の画面で、グレーの三角形で示される方向にはこれ以上調整できません。



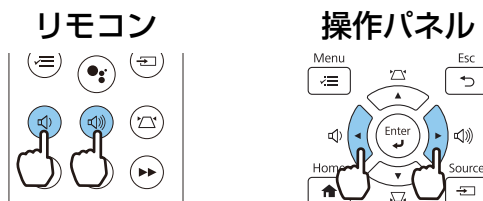
- 5 手順3と4を繰り返して、調整が必要なすべてのコーナーを調整します。

- 6 終了したら、【Esc】 ボタンを押します。

Quick Corner実行後は、[設定] メニューの [台形補正] が [Quick Corner] に設定されます。操作パネルの上下ボタンまたはリモコンの台形補正ボタンを押したときは、エリア選択画面が表示されます。

音量を調節する

リモコンまたは本体操作パネルの音量ボタンで音量を調節できます。



- 音量の調節は、環境設定メニューからも設定できます。👉 [設定] - [音量] [p.66](#)
- AVアンプの音量を調整するときは、本機にAVアンプを接続した状態で、[HDMIリンク] を [オン]、[音声出力機器] を [AVアンプ] に設定します。👉 [設定] - [HDMIリンク] [p.66](#)
- Android TV™用リモコンを使ってAndroid TV™端末の音量を最小に調整してある場合は、プロジェクターリモコンでは音量を上げることができません。Android TV™用リモコンで音量を上げてから調整してください。

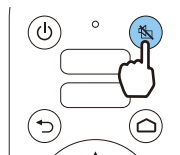


注意

初めから音量を上げすぎないでください。
突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります。電源を切る前に音量を下げておき、電源を入れた後で徐々に上げてください。

映像と音声を一時的に消す（A/Vミュート）

リモコンのA/Vミュートボタンを押すたびに映像を消す/映すが切り替わります。音声も連動します。



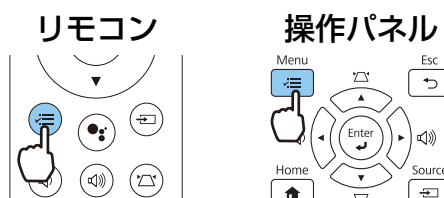
- 動画の場合は、A/Vミュート中も映像と音声は進んでいます。A/Vミュートボタンで映像を消したときの場面から投写を再開することはできません。
- AVアンプからの音声を操作するときは、本機にAVアンプを接続した状態で、[HDMIリンク] を [オン]、[音声出力機器] を [AVアンプ] に設定します。👉 [設定] - [HDMIリンク] [p.66](#)

画質の調整をしよう

映り具合を選ぶ（カラーモード）

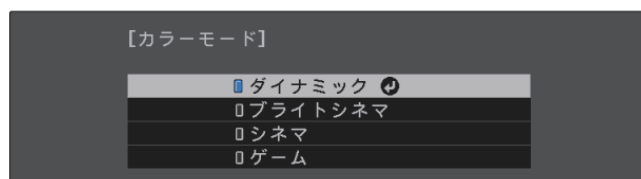
投写時の環境に応じて最適な画質で投写できます。モードによって投写の明るさが変わります。

- 1 【Menu】 ボタンを押して、[画質] - [カラーモード] の順でメニューを表示します。



 操作パネルの【Home】ボタンを押してホーム画面からも設定できます。  [p.29](#)

- 2 上下ボタンを押してモードを選択し、【Enter】ボタンを押して決定します。



モード名	使い方
ダイナミック	最も明るいモードです。明るさを優先したい場合に適しています。
ブライトシネマ	映像を明るく鮮やかに投写したい場合に適しています。
シネマ	映画などのコンテンツを楽しむのに適しています。
ゲーム	ゲームを楽しむのに適しています。

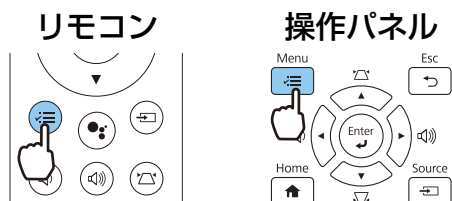
画面をフルやズームに切り替える（アスペクト）

入力信号の種類、縦横比、解像度にあわせて投写映像の「アスペクト」を切り替えます。

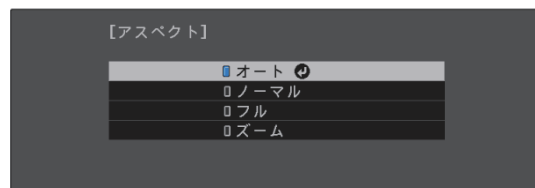
投写している映像の種類により選択できる設定が異なります。

 著作権法上で保護されている映像をアスペクト機能で圧縮、引き伸ばし、分割などを行い、営利目的で公衆に視聴させた場合は、著作権者の権利を侵害するおそれがあります。

- 1 【Menu】 ボタンを押して、[映像] - [アスペクト] の順でメニューを表示します。



- 2 上下ボタンでアスペクトモードを選択し、【Enter】 ボタンを押して決定します。



 入力ソースがLANのときは [アスペクト] の切り替えができません。また、入力ソースがHDMI1/HDMI2/HDMI3の場合も、入力信号によっては [アスペクト] の切り替えができない場合があります。

通常は [オート] に設定しておくことで入力信号に最適なアスペクトで表示されます。異なる比率で表示したいときに切り替えてください。

アスペクトモード	入力信号のアスペクト比		
	16:10	16:9	4:3
ノーマル			
フル			
ズーム			

 4K映像信号が入力されているときは、[ノーマル] のみ選択できます。

シャープネスの調整

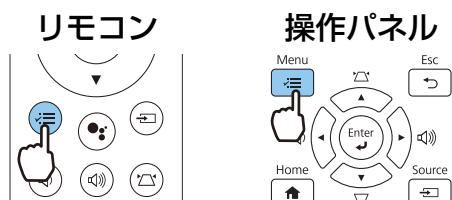
画像を強調します。

設定項目と設定手順は次のとおりです。

スタンダード	投写映像全体の輪郭が強調されます。[スタンダード] を調整すると、[高域強調] と [低域強調] の調整値も連動して調整されます。
高域強調	髪の毛や衣服の模様などの細かい部分が強調されます。
低域強調	被写体全体の輪郭や背景などの粗い部分が強調され、くっきりとした映像になります。

1

【Menu】 ボタンを押して、[画質] - [シャープネス] の順でメニューを表示します。

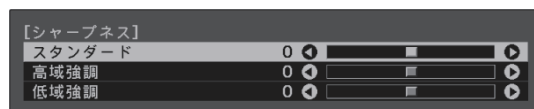


[シャープネス] の調整画面が表示されます。

2

上下ボタンで項目を選択し、左右ボタンで調整します。

+側（右側）にすると強調され、-側（左側）にするとソフトになります。



3

【Menu】 ボタンを押してメニューを終了します。

映像の解像感を調整する（イメージ強調）

イメージ強調機能を使って映像の解像感を調整します。

調整できる内容は次のとおりです。

4Kエンハンスメント※3	4Kエンハンスメントは、1画素を0.5画素斜めにシフトさせることで解像度を2倍にして投写する機能です。 高解像度の映像信号を精細に投写します。
イメージ強調プリセット	[ノイズリダクション]、[MPEGノイズリダクション]、[超解像]、[ディテール強調] の設定値としてあらかじめ用意された設定を選択します。
フレーム補間※1※2※3	動画をなめらかに再生します。🔊 p.40
プログレッシブ変換※1※2	映像に適した方法でインターレース信号をプログレッシブ信号に変換します。
ノイズリダクション※1※2※3※4	映像のざらつきを抑えます。
MPEGノイズリダクション※1※2※3※4	MPEG動画を投写したときに輪郭に生じる点状のノイズやブロック状のノイズを抑えます。
超解像※2	[高域] では、複雑な映像の明暗差や輪郭を強調します。 [低域] では、背景などののっぺりとした映像の明暗差や輪郭を強調します。
ディテール強調※2	映像の明暗差を強調し、質感や素材感を際立たせます。 [強度] では、値が大きいほど、明暗差がより強調されます。 [範囲] では、値が大きいほど、広い範囲にディテール強調がかかります。

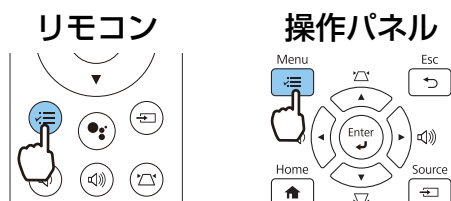
※1 [映像] - [アドバンスド] - [映像処理] が [きれい] の場合のみ設定できます。

※2 [イメージ強調プリセット] が [オフ] 以外の場合のみ設定できます。

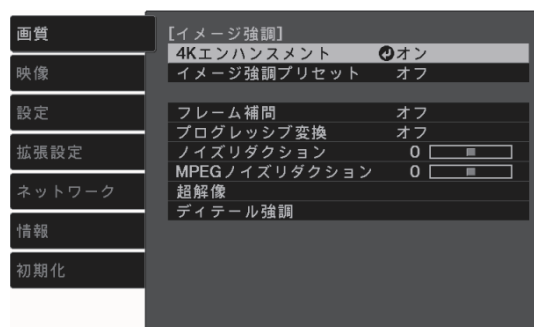
※3 4K信号入力時は設定できません。

※4 21:9の信号入力時は設定できません。

- 1 【Menu】 ボタンを押して、[画質] - [イメージ強調] の順でメニューを表示します。



- 2 上下ボタンで調整する項目を選択し、【Enter】 ボタンを押して決定します。



- 3** 左右ボタンで調整します。
別の項目を調整するときは、【Esc】ボタンを押します。

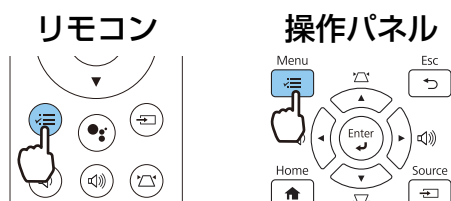


- 4** 【Menu】ボタンを押してメニューを終了します。

映像の光量を調整する

【ダイナミックコントラスト】を【オン】にすると、投写映像の光量を自動的に調整できます。光量を自動的に調整することで、映像の明るさに合わせてコントラストを改善します。

- 1** 【Menu】ボタンを押して、【画質】 - 【ダイナミックコントラスト】の順でメニューを表示します。



- 2** 上下ボタンで項目を選択し、【Enter】ボタンを押して決定します。



フレーム補間を設定する

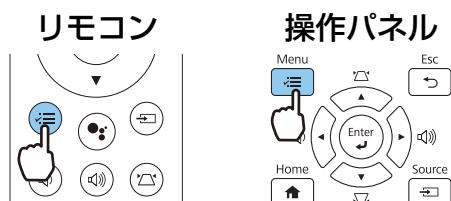
前後のフレームから中間のフレームを自動で生成して補間することで、動きの速い動画をなめらかに再生できます。

フレーム補間は以下の条件のときに有効です。

- ・【映像処理】が【きれい】に設定されている。 ➡ 【映像】 - 【アドバンスド】 - 【映像処理】 [p.65](#)
- ・入力ソースがHDMI1/HDMI2/HDMI3になっている。
- ・2D信号※または3D信号（1080p 24Hz）が入力されている。 ➡ [p.100](#)

※4K信号入力時は無効です。【4Kエンハンスメント】が【オン】に設定されているときは、1080p 24Hzの入力信号にのみ有効です。 ➡ 【画質】 - 【イメージ強調】 - 【4Kエンハンスメント】 [p.63](#)

- 1** 【Menu】ボタンを押して、【画質】 - 【イメージ強調】 - 【フレーム補間】の順でメニューを表示します。



- 2** 上下ボタンで項目を選択し、【Enter】ボタンを押して決定します。

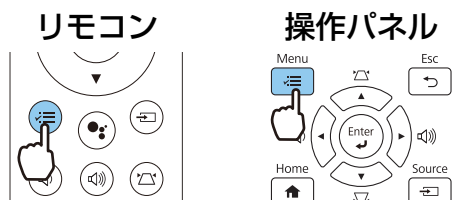


映像処理の速度を設定する

ゲームなどの動きの速い投写映像に対し、応答速度を向上させる処理をします。

HDMI1/HDMI2/HDMI3入力端子からのプログレッシブ信号で有効です。

- 1** 【Menu】 ボタンを押して、[映像] - [アドバンスト] - [映像処理] の順でメニューを表示します。



- 2** 上下ボタンで [きれい] / [速い] を切り替えます。



- 3D映像には対応していません。
- [映像処理] を [速い] に設定すると、[ノイズリダクション]、[フレーム補間]、[プログレッシブ変換]、[MPEGノイズリダクション] はオフに固定されます。

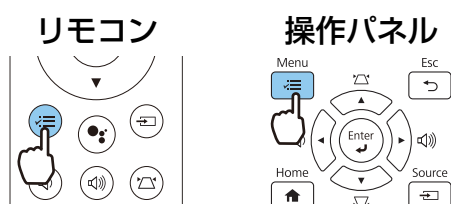


色を調整しよう

色温度を調整する

映像全体の色合いを調整します。映像の青みが強すぎる、赤みが強すぎるなどのときに調整します。

- 1 【Menu】 ボタンを押して、[画質] - [ホワイトバランス] - [色温度] の順でメニューを表示します。



- 2 左右ボタンで調整します。

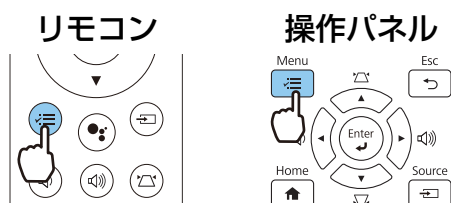
数値を大きくすると青みが強くなり、数値を小さくすると赤みが強くなります。



RGBを調整する（オフセット・ゲイン）

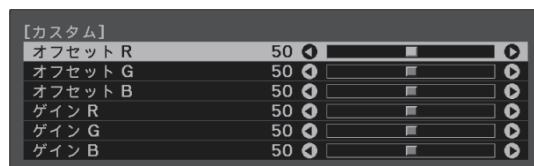
R（赤） G（緑） B（青）の各色について、暗い部分（オフセット）と明るい部分（ゲイン）の明度を調整します。

- 1 【Menu】 ボタンを押して、[画質] - [ホワイトバランス] - [カスタム] の順でメニューを表示します。



- 2 上下ボタンで項目を選択し、左右ボタンで調整します。

+側（右側）にすると明るく、-側（左側）にすると暗くなります。



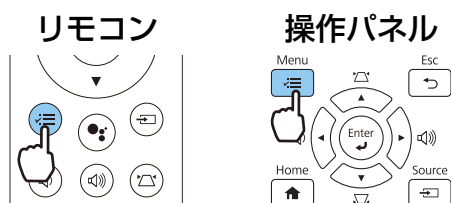
オフセット	明るくすると暗い部分の濃淡が表現されます。暗くするとメリハリのある見え方になりますが、暗い部分の濃淡がわからなくなります。
ゲイン	明るくすると明るい部分が白っぽくなり濃淡がわからなくなります。暗くすると明るい部分の濃淡が表現されます。

色相・彩度・明度の調整

R（赤） G（緑） B（青） C（シアン） M（マゼンタ） Y（イエロー）の各色について、色相、彩度、明度を調整します。

色相	映像全体の色味を、青系～緑系～赤系へと調整します。
彩度	映像全体の鮮やかさを調整します。
明度	映像全体の色の明るさを調整します。

- 1 【Menu】 ボタンを押して、[画質] - [アドバンスト] - [RGBCMY] の順でメニューを表示します。

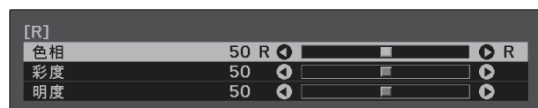


- 2 上下ボタンで調整する色を選択し、【Enter】 ボタンを押して決定します。



- 3 上下ボタンで [色相] [彩度] [明度] のいずれかを選択します。

- 4 左右ボタンで調整します。



別の色を調整するときは、【Esc】 ボタンを押します。

- 5 【Menu】 ボタンを押してメニューを終了します。

ガンマの調整

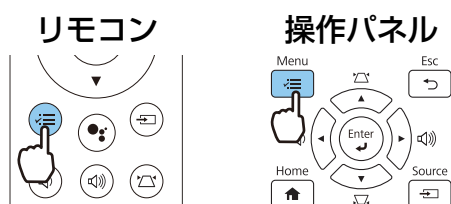
画像を表示するときに機器などの違いによって生じる微妙な発色を調整します。

設定方法は次の2つの方法があります。

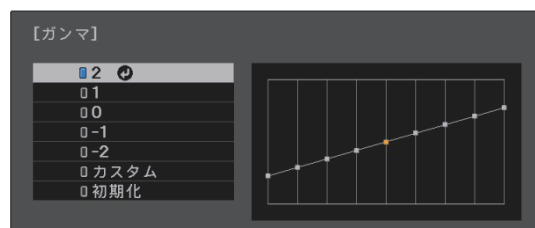
- 補正值を選んで調整する
- ガンマ調整グラフで調整する

■ 補正值を選んで調整する

- 1 【Menu】 ボタンを押して、[画質] - [アドバンスト] - [ガンマ] の順でメニューを表示します。



- 2 上下ボタンで補正值を選択し、【Enter】 ボタンを押して決定します。



数値が大きいほど、映像の暗い部分が明るくなりますが、明るい部分はつぶれぎみになります。ガンマ調整グラフは上側が膨らんだ形になります。

数値が小さいと、映像の明るい部分が暗くなります。ガンマ調整グラフは下側が膨らんだ形になります。

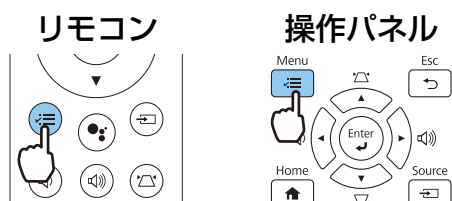


- ガンマ調整グラフの横軸は入力信号レベルを、縦軸は出力信号レベルを表します。
- 調整結果を初期値に戻すときは【初期化】を選択します。

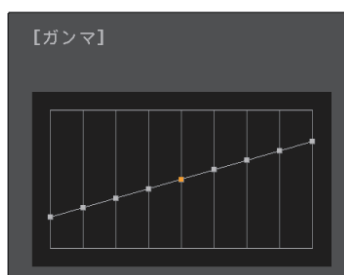
■ ガンマ調整グラフで調整する

グラフ上の諧調ポイントを選択して、調整します。

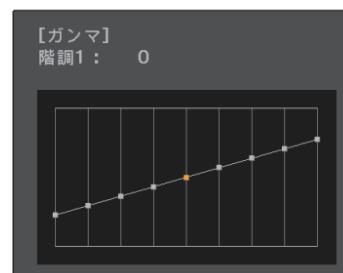
- 1 【Menu】 ボタンを押して、[画質] - [アドバンスド] - [ガンマ] - [カスタム] の順でメニューを表示します。



- 2 左右ボタンで調整したい諧調をグラフから選択します。



- 3 上下ボタンで明るさを調整し、【Enter】 ボタンを押して決定します。





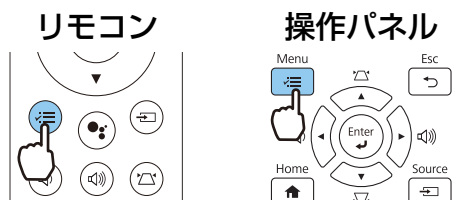
登録した画質で映像を見る（メモリー機能）

メモリーを登録する

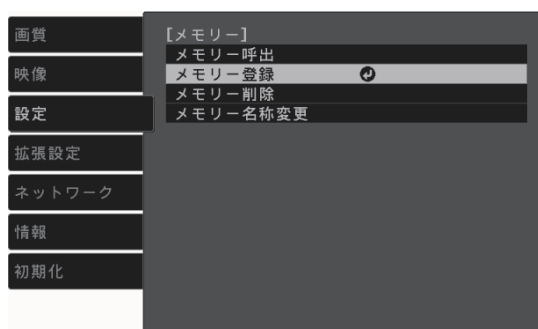
メモリー機能を使うと、環境設定メニューの「画質」の設定値を登録し、必要なときに呼び出せます。

1 登録したい設定または調整を行います。

2 【Menu】 ボタンを押して、[設定] - [メモリー] の順でメニューを表示します。



3 上下ボタンで【メモリー登録】を選択し、【Enter】 ボタンを押して決定します。



4 上下ボタンで登録するメモリー名を選択し、【Enter】 ボタンを押して決定します。



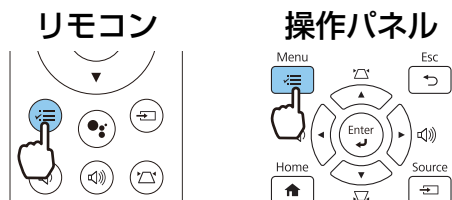
設定した状態がメモリーに登録されます。

メモリー名の左のマークが水色のときは登録済みです。登録済みのメモリー名を選択したときは、上書きを確認するメッセージが表示されます。[はい] を選択すると、以前の内容を消去し、現在の状態を登録します。

メモリーの呼び出し/削除/名称変更

登録したメモリーを呼び出したり、削除や名称変更ができます。

- 1** 【Menu】 ボタンを押して、[設定] - [メモリー] の順でメニューを表示します。



- 2** 表示された画面で目的の機能を選択します。

機能	説明
[メモリー呼出]	登録したメモリーを呼び出します。メモリー名を選択し【Enter】ボタンを押すと、表示中の映像の設定値が選択したメモリーの設定値に変更されます。
[メモリー削除]	登録したメモリーを削除します。メモリー名を選択し、【Enter】ボタンを押すとメッセージが表示されます。[はい] を選択し、【Enter】ボタンを押すと選択したメモリーが削除されます。
[メモリー名称変更]	メモリー名を変更します。変更するメモリー名を選択し、【Enter】ボタンを押します。ソフトキーボードでメモリー名を入力します。  p.72 入力が終了したらFinishにカーソルを合わせて、【Enter】ボタンを押します。

3D映像を楽しもう

3D映像を視聴するための準備

3D映像を視聴するには、市販の3Dメガネ（電波(RF/Bluetooth) 通信方式対応のアクティブシャッター方式）をあらかじめご用意ください。

3D映像を視聴する前に、以下を確認してください。

- 入力ソースがHDMI1/HDMI2/HDMI3になっている
- [3D表示] が [オート] または [3D] になっている
 [映像] - [3D設定] - [3D表示] [p.65](#)
- 3Dメガネがペアリングされている

本機は次の3Dフォーマットに対応しています。

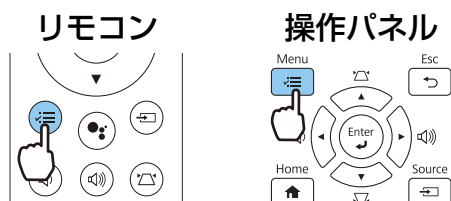
- フレームパッキング
- サイドバイサイド
- トップアンドボトム

3D映像が見えないときは

3Dフォーマットが判別できる映像信号を受信すると、自動的に3D映像を投写します。

3Dテレビ放送によっては、3Dフォーマットを判別する信号が含まれていないことがあります。その場合は、次の手順で3Dフォーマットを設定してください。

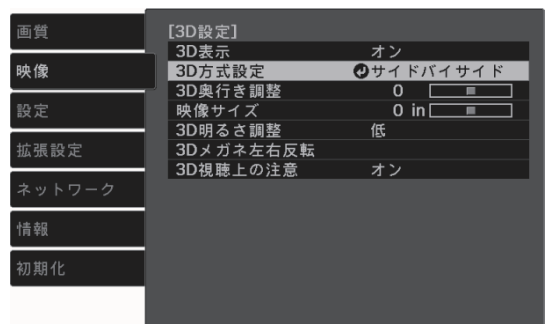
- 1 【Menu】 ボタンを押して、[映像] - [3D設定] の順でメニューを表示します。



- 2 [3D表示] を [3D] にします。

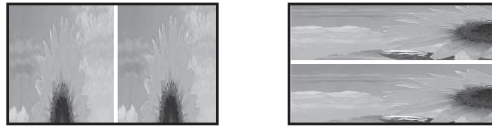
- 3 【Esc】 ボタンを押して前の画面に戻ります。

- 4 [3D方式設定] を選択して、AV機器側の3Dフォーマットを選択します。





- 3D非対応の機器やケーブルを使用すると、3D投写ができないことがあります。
- AV機器側の3Dフォーマットの設定については、AV機器の取扱説明書を参照してください。
- 3Dフォーマットが正しく設定されていないときは、以下のように映像が正しく表示されません。



- 3Dフォーマットを設定しても3D映像が正しく表示されないときは、3Dメガネの同期タイミングが逆になっていることがあります。[3Dメガネ左右反転]で同期タイミングを反転してください。☛ [映像] - [3D設定] - [3Dメガネ左右反転] [p.65](#)
- 3D効果の見え方には個人差があります。
- 3D映像の投写を開始したときに、視聴に関する注意が表示されます。注意を表示させたくないときは[3D視聴上の注意]を[オフ]にします。☛ [映像] - [3D設定] - [3D視聴上の注意] [p.65](#)
- 3D投写中は環境設定メニューの次の機能は変更できません。
4Kエンハンスメント、フレーム補間、アスペクト、オーバースキャン（オフ固定）、超解像、映像処理、アドバンスド-ダイナミックレンジ
- 環境温度によっては3D映像の見え方が変わることがあります。正常に投写されない場合は使用を控えてください。

3Dメガネを使用する

3D映像は、市販の3Dメガネ（電波（RF/Bluetooth）通信方式対応のアクティブシャッター方式）をかけて視聴します。

3D映像を視聴するために、はじめに3Dメガネと本機をペアリングする必要があります。詳しい操作については、お使いの3Dメガネの取扱説明書を参照してください。

3D映像視聴に関する注意

3D映像を視聴するときは、次のことに注意してください。



注意

視聴時間について

- 3D映像を視聴する場合は、定期的に適度な休憩をとってください。
長時間の視聴による目の疲れなどの原因となることがあります。
休憩に必要な長さや頻度は個人差がありますので、ご自身で判断ください。休憩をとっても、疲労感、不快感がとれない場合は、使用を中止してください。

注意

視聴方法について

- 3D映像の視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、使用を中止してください。そのまま使用しますと体調不良の原因となることがあります。
- 3D映像の視聴中は必ず3Dメガネを装着し、裸眼で3D映像を視聴しないでください。体調不良の原因となることがあります。
- 3Dメガネを使用するときには周囲に壊れやすい物を置かないでください。実際の物に間違えて体を動かし、周囲の物を破損してけがの原因となることがあります。
- 3Dメガネは3D映像視聴中のみ装着し、3Dメガネを装着したまま移動しないようにしてください。周りが暗くなり、転倒などによるけがのおそれがあります。
- スクリーンと（おおむね）水平な状態で視聴してください。傾いた状態で視聴を続けると、3D効果を感じにくくなったり、映像の色が変わったりすることにより、体調不良の原因となることがあります。
- 蛍光灯やLED照明などをお使いの部屋で視聴すると、部屋全体がちらついて見えることがあります。その場合は、ちらつきが消えるまで明かりを暗くしたり、照明を消して視聴してください。このちらつきによって、ごくまれに、けいれん発作や失神などの症状が起きることがあります。視聴中に体調の変化を感じた場合は視聴を中止してください。
- 画面の高さの3倍以上の視距離で視聴してください。
推奨距離は、画面80インチの場合3.0m以上、画面100インチの場合3.6m以上です。
推奨距離より近距離でのご使用は目の疲れの原因となることがあります。

注意

視聴者について

- 光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3D映像を視聴しないでください。症状悪化の原因になることがあります。

注意

視聴年齢について（お子様への注意）

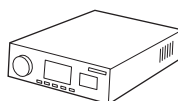
- 3D映像の視聴年齢については、6歳以上を目安にしてください。
- 6歳未満のお子様の3D視聴については、視覚が発達段階にあるため、必要に応じて医師にご相談ください。
- お子様が3Dメガネで視聴する場合は、必ず保護者が同伴してください。お子様が視聴する場合は、疲労感や不快感などに対する反応がわかりにくいいため、急に体調が悪くなることがありますので、保護者の方が、目の疲れがないかご注意ください。

-



HDMI

HDMI



HDMI

HDMI



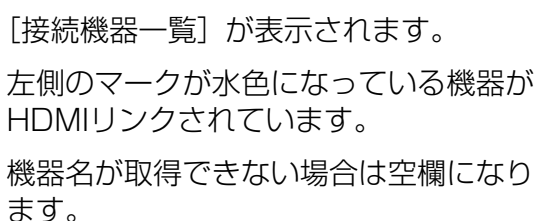
機能	説明
音声出力機器	音声出力先を設定します。 [プロジェクター]：本機の内蔵スピーカーまたはAudio Out端子に接続した外部スピーカーから音声を出力する場合に選択します。 [AVアンプ]：HDMI CEC規格に対応したAVアンプから音声を出力する場合に選択します。
電源オン連動	「電源オン連動」を設定すると、次のように操作が連動します。 ● 本機の電源を入れると、接続機器の電源が入ります。 ● 接続機器で電源を入れたりコンテンツを再生したりすると、本機の電源が入ります。

 HDMIリンクを使用するには、接続機器側の設定も必要です。詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。

接続する

接続機器一覧を表示する前に、[HDMIリンク] が [オン] になっていることを確認してください。

1 【Menu】 ボタンを押して、[HDMI
リンク] - [接続機器一覧] の順で
メニューを表示します。

[illegible]

- ケーブルがHDMIの規格に対応していないと動作しません。
 - HDMI CEC規格に対応していても動作しない接続機器や、動作しない機能があります。接続機器の取扱説明書などをご確認ください。

有線LAN経由で投写しよう

有線LAN経由でプロジェクターから映像を投写できます。

ネットワーク経由で投写するには、プロジェクターをネットワークに接続し、プロジェクターおよびコンピュータのネットワーク設定をします。

プロジェクターの接続とネットワーク設定が終わったら、以下のWebサイトから、Epson iProjection（Windows/Mac）をインストールします。

Epson iProjectionを使用すると、コンピュータの映像をネットワーク経由で投写できます。また、ネットワークに接続された複数のコンピュータの映像を同時に投写して、ミーティングをより活発にできます。詳しくは、『Epson iProjection操作ガイド (Windows/Mac)』をご覧ください。

<https://www.epson.jp/download/>

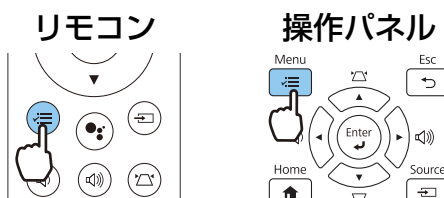
有線LANを設定する

ネットワーク経由でコンピュータの映像を投写するには、事前に関線LANユニット（ELPAP10）の接続およびプロジェクターのネットワーク設定が必要です。



設定の前に、LAN端子にLANケーブルを接続し、プロジェクターを有線LANに接続してください。

- 1 **【Menu】** ボタンを押して、**【ネットワーク】** - **【ネットワーク設定画面へ】** の順でメニューを表示します。



- 2 **【基本設定】** を選択し、必要に応じて以下を設定します。

- **【プロジェクター名】**：ネットワーク上で本機を識別するための名前を入力します。16文字以内の半角英数字を入力します。
- **【PJLinkパスワード】**：PJLink対応アプリケーションを使って本機を制御するときの認証用パスワードを設定します。半角英数字で32文字以内で入力します。
- **【Remoteパスワード】**：スマートフォンやタブレット端末から本機を操作するときに必要な、認証用パスワードを設定します。8文字以内の半角英数字を入力します。
- **【LAN情報表示】**：本機のネットワーク情報の表示形式を設定します。



名前、パスワード、およびキーワードの入力には、表示されたスクリーンキーボードを使用します。リモコンの上下左右ボタンを押して文字を選択し、**【Enter】** ボタンを押して入力します。

- 3 **【有線LAN】** を選択し、**【Enter】** ボタンを押します。

4 必要に応じて以下を設定します。

- DHCPを使用できるネットワークの場合は、[DHCP] を [オン] にします。
- DHCPを使用できないネットワークの場合は、[DHCP] を [オフ] にし、プロジェクターの [IP アドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス] を入力します。

5 設定が終わったら [設定完了] を選択し、画面の指示に従って設定を保存してメニューを終了します。

6 リモコンの入力検出ボタンまたは操作パネルの【Source】ボタンを押し、[LAN] を選択します。

LAN待機画面に正しいIPアドレスが表示されていれば、設定完了です。



IPアドレスがLAN待機画面やホーム画面に表示されないようにするには、[IPアドレス表示] を [オフ] に設定してください。☛ [ネットワーク] - [ネットワーク設定画面へ] - [有線LAN] [p.74](#)

無線LAN経由で投写しよう

スマートフォンやタブレット端末、コンピューターの映像を無線LAN経由でプロジェクターから投写できます。

無線LAN経由で投写するには、事前にプロジェクターおよび接続機器の無線ネットワーク設定をします。

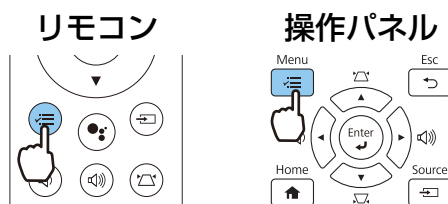
無線LAN経由で投写するには、Epson iProjectionを使用します。Epson iProjectionは以下の方法で無料でダウンロードできますが、通信料はお客様の負担となります。

- Epson iProjection (Windows/Mac) は、以下のWebサイトからダウンロードできます。
<http://www.epson.jp/download/>
- Epson iProjection (iOS/Android) は、App StoreまたはGoogle Playからダウンロードできます。

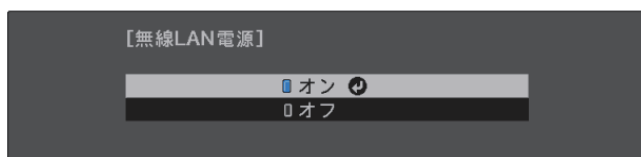
プロジェクターの無線LAN設定をする

無線LANネットワーク経由でプロジェクターに映像を投写するには、事前にプロジェクターのネットワーク設定が必要です。

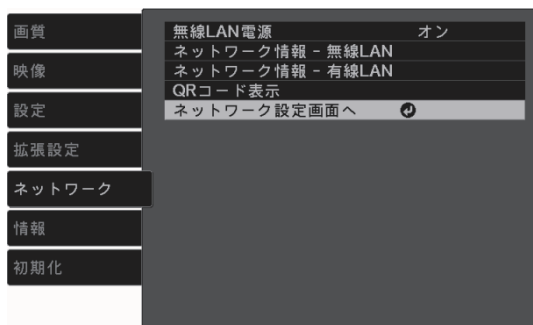
- 1 **【Menu】** ボタンを押して、**【ネットワーク】** - **【無線LAN電源】** の順でメニューを表示します。



- 2 上下ボタンで**【オン】**を選択し、**【Enter】** ボタンを押します。



- 3 **【ネットワーク設定画面へ】**を選択し、**【Enter】** ボタンを押します。



4

【基本設定】を選択し、必要に応じて以下を設定します。

- [プロジェクター名]：ネットワーク上で本機を識別するための名前を入力します。16文字以内の半角英数字を入力します。
- [PJLinkパスワード]：PJLink対応アプリケーションを使って本機を制御するときの認証用パスワードを設定します。半角英数字で32文字以内で入力します。
- [Remoteパスワード]：スマートフォンやタブレット端末から本機を操作するときに必要な、認証用パスワードを設定します。8文字以内の半角英数字を入力します。
- [LAN情報表示]：本機のネットワーク情報の表示形式を設定します。



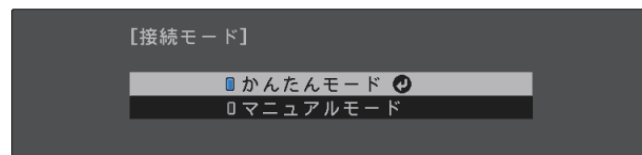
名前、パスワード、およびキーワードの入力には、表示されたスクリーンキーボードを使用します。リモコンの上下/左右ボタンを押して文字を選択し、【Enter】ボタンを押して入力します。

5

【無線LAN】を選択し、【Enter】ボタンを押します。

6

【接続モード】を選択します。



- [かんたんモード]：スマートフォンやタブレット端末、コンピューターと無線で直接接続できます。[かんたんモード]を選択したときは、手順10へ進みます。
- [マニュアルモード]：無線LANアクセスポイント経由でスマートフォンやタブレット端末、コンピューターと接続できます。[マニュアルモード]を選択したときは、手順7へ進みます。

7

【ネットワーク設定画面へ】 - 【無線LAN】 - 【アクセスポイント検索】の順に選択して、接続する無線LANアクセスポイントを選択します。



SSIDを手動で割り当てるときは、[SSID]を選択してSSIDを入力します。また、[セキュリティ]メニューでセキュリティを設定します。➡ [p.58](#)

8

必要に応じてプロジェクターにIPアドレスを割り当てます。

- DHCPを使用できるネットワークの場合は、[IP設定] を選択し、[DHCP] を [オン] にします。
- DHCPを使用できないネットワークの場合は、[IP設定] を選択して [DHCP] を [オフ] にし、プロジェクターの [IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス] を入力します。

9

設定が終わったら [設定完了] を選択し、画面の指示に従って設定を保存してメニューを終了します。

10

リモコンの入力検出ボタンまたは操作パネルの【Source】ボタンを押し、[LAN] を選択します。

LAN待機画面に正しいIPアドレスが表示されていれば、設定完了です。

無線LAN設定が完了したら、接続機器の無線LAN設定をしてください。アプリケーションを起動して、無線LAN経由で映像を投写します。



SSIDとIPアドレスがLAN待機画面やホーム画面に表示されないようにするには、[SSID表示] と [IPアドレス表示] を [オフ] に設定してください。☛ [ネットワーク] - [ネットワーク設定画面へ] - [無線LAN] [p.73](#)

コンピューターの無線LAN設定をする

コンピューターとプロジェクターをマニュアルモードで接続するには、コンピューターで無線LAN設定をします。

■ Windowsで無線LANを設定する

- 1 Windowsタスクバーのネットワークアイコンをダブルクリックし、無線ユーティリティソフトウェアを起動します。
- 2 プロジェクターが接続しているネットワークのネットワーク名（SSID）を選択します。
- 3 [接続] をクリックします。

■ OS Xで無線LANを設定する

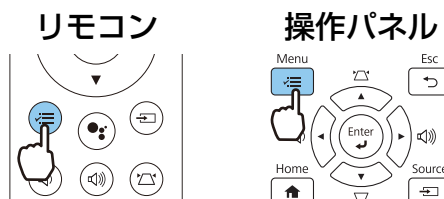
- 1 画面上部にあるメニューバーのAirMacアイコンをクリックします。
- 2 AirMacがオンに設定されていることを確認し、プロジェクターが接続しているネットワークのネットワーク名（SSID）を選択します。

無線LANのセキュリティを設定する

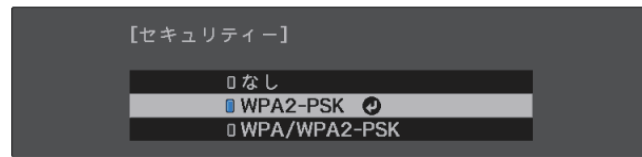
プロジェクターの無線通信に使うセキュリティを設定できます。無線LANの[接続モード]に応じて、次のいずれかのセキュリティを設定します。

- WPA2セキュリティ
- WPA/WPA2セキュリティ

- 1 【Menu】 ボタンを押して、[ネットワーク] - [ネットワーク設定画面へ] - [セキュリティ] の順でメニューを表示します。



2 セキュリティー設定をします。



3 設定が終わったら「設定完了」を選択し、画面の指示に従って設定を保存してメニューを終了します。

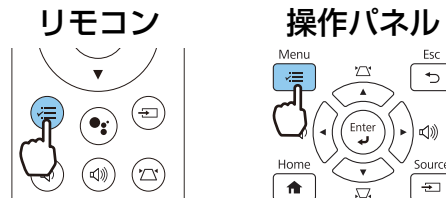
Epson iProjection (iOS/Android)で投写する

投写画面に表示したQRコードをEpson iProjection (V3.2.0以降) で読み取ると、スマートフォンやタブレット端末内のデータを簡単に投写することができます。



- Epson iProjectionは、App StoreまたはGoogle Playから無料でダウンロードできます。App Store、Google Playへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。
- 「かんたんモード」でEpson iProjectionを使うときは、セキュリティの設定をすることをお勧めします。👉 [p.58](#)

1 【Menu】 ボタンを押して、[ネットワーク] - [QRコード表示] の順でQRコードを表示します。



- 操作パネルの【Home】ボタンを押してホーム画面の無線接続ガイドからもQRコードを表示できます。👉 [p.29](#)
- QRコードを非表示にしたいときは、【Esc】ボタンを押してください。

2 スマートフォンまたはタブレット端末でEpson iProjectionを起動します。

3 投写されているQRコードをスマートフォンまたはタブレット端末で読み取ります。

QRコードがガイドに収まるようにスクリーンの正面から読み取ってください。スクリーンから離れすぎると読み取れないことがあります。

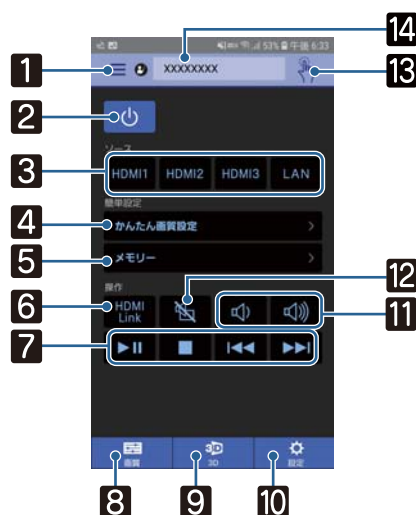
接続が完了したら、 から「コンテンツ」メニューを選択し、投写するファイルを選択してください。

■ スマートフォンを使って操作する（リモコン機能）

Epson iProjectionを使って、スマートフォンやタブレット端末からプロジェクターを操作できます。
Epson iProjectionで  をタップすると、ドロワーメニューが表示されます。
ドロワーメニューで [リモコン] をタップすると、以下の画面が表示されます。



Remoteパスワードを設定しているときは、パスワードの入力が必要です。一度パスワードが認識されたら、2回目以降はパスワードの入力が不要です。



ボタン		機能
1		ドロワーメニューを表示します。
2		本機の電源をオン/オフします。
3		各入力端子からの映像に切り替えます。  p.28
4		ナビゲーションに沿って画質を設定します。
5		メモリーの登録・呼出・削除・名称変更をします。  p.46
6		HDMIリンクをオン/オフします。  p.51
7		HDMIリンクがオンのときに、映像の再生/停止/早送り/巻き戻し/チャプター送り/チャプター戻し/一時停止を操作します。
8		[カラーモード]、[フレーム補間]、[イメージ強調]、[映像処理]、[ダイナミックコントラスト]、[レーザーライト出力]、[ホワイトバランス]、[ガンマ]、[RGBCMY] を設定します。
9		[3D表示]、[3D方式設定]、[3D奥行き調整]、[映像サイズ]、[3D明るさ調整] を設定します。
10		[アスペクト]、[台形補正]、[全初期化]、[メモリー初期化]、[テストパターン]、[ズーム]、[デジタル ピクチャーシフト] を設定します。
11		HDMIリンクがオンのときに音量を調整します。

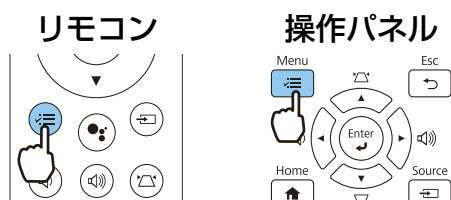
ボタン		機能
12		HDMIリンクがオンのときに映像と音声を一時的に遮断/解除します。 ➡ p.35
13		タッチパッド画面が開きます。 タッチパッドをタッチして、プロジェクターのメニュー画面を操作します。
14	XXXXXXXX	操作したいプロジェクターを選択します。

環境設定メニューの機能

環境設定メニューの操作

環境設定メニューでは、映像、画質、入力信号などの調整や設定を行うことができます。

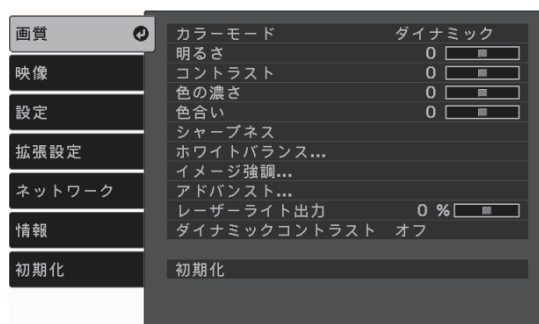
1 【Menu】 ボタンを押します。



環境設定メニューが表示されます。

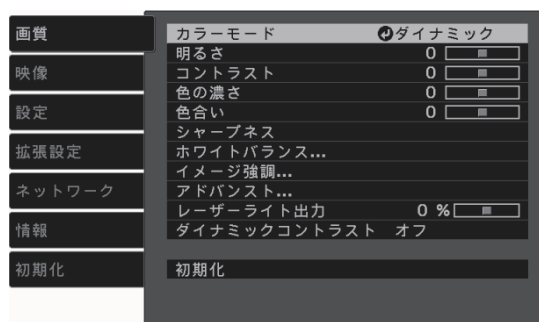
2 上下ボタンで左側のトップメニューを選択し、【Enter】 ボタンを押して決定します。

左側のトップメニューを選択すると、右側のサブメニューが切り換わります。



下の1行は操作ガイドです。

3 上下ボタンで右側のサブメニューを選択し、【Enter】 ボタンを押して決定します。



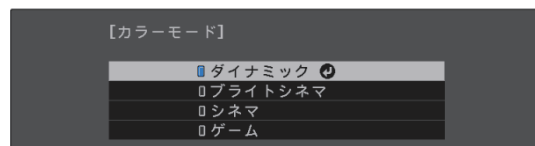
選択した機能の調整画面が表示されます。

4 上下/左右ボタンで設定値を調整します。

例) 調整バー



例) 選択肢



⌚ が表示されている項目で【Enter】 ボタンを押すと、その項目の選択画面に移行します。

一階層戻るときは【Esc】 ボタンを押します。

5 【Menu】 ボタンを押してメニューを終了します。

環境設定メニュー一覧

映像信号が入力されていないときは、環境設定メニューの「画質」と「映像」の項目は調整できません。また、「画質」、「映像」、「情報」は、投写している映像信号によって表示される項目が異なります。

■ 画質メニュー

機能	メニュー/設定値		説明
カラーモード	ダイナミック、ブライトシネマ、シネマ、ゲーム		投写する環境や映像に合わせて、色調整を選択します。  p.36
明るさ			映像が暗く感じるときに調整します。
コントラスト			映像の明暗の差を調整します。コントラストを上げるとメリハリのある映像になります。
色の濃さ			映像の色の濃さを調整します。
色合い			映像の色合いを調整します。
シャープネス			映像のシャープ感を調整します。
ホワイトバランス	色温度		映像全体の色合いを調整します。高い値にすると青みがかった映像になり、低い値にすると赤みを帯びた映像になります。
	G-M補正		+側に設定すると緑がかった色になり、-側に設定すると赤みのある色合いになります。
	カスタム		R/G/Bごとにオフセットとゲインを調整します。
	グレースケール	調整レベル、赤、緑、青、明るさ	選択した調整レベルに対して、赤、緑、青、明るさの補正を行います。

機能	メニュー/設定値				説明
イメージ強調 ※1	4Kエンハンスメント		オン、オフ		解像度を2倍にして投写します。
	イメージ強調プリセット		オフ、プリセット1～プリセット5		[フレーム補間]、[プログレッシブ変換]、[ノイズリダクション]、[MPEGノイズリダクション]、[超解像]、[ディテール強調] の設定値としてあらかじめ用意された設定を選択します。
	フレーム補間		オフ、弱、標準、強		映像の動きの滑らかさを調整します。
	プログレッシブ変換		オフ、ビデオ、フィルム/オート		([映像処理] が [きれい] に設定されている場合および、HDMI1/HDMI2/HDMI3入力端子から480i、576i、1080i信号入力時のみ設定可能) 映像に適した方法でインターレース (i) 信号をプログレッシブ (p) 信号に変換します。 • [オフ]：動きの大きい映像に適しています。 • [ビデオ]：一般のビデオ映像に適しています。 • [フィルム/オート]：フィルム映画、CG、アニメーション映像など入力信号に応じて最適な変換を行います。
	ノイズリダクション				映像のざらつきを調整します。
	MPEGノイズリダクション				MPEG形式の映像のざらつきを抑えます。
	超解像		高域、低域		複雑な映像や背景の強調度合いを調整します。
	ディテール強調		強度、範囲		映像の質感や素材感を際立たせます。
	ガンマ		2、1、0、-1、-2、カスタム※2、初期化		ガンマ調整をします。数値を選択する方法と、カスタムで調整する方法があります。  p.44
アドバンスト	RGBCMY	R/G/B/C/M/Y	色相、彩度、明度		R/G/B/C/M/Yごとに色相、彩度、明度を調整します。  p.43
					光源の明るさを設定します。
ダイナミックコントラスト	オフ、標準、高速				映像の明るさに合わせて投写時の光量を調整します。  p.40
初期化	はい、いいえ				現在のカラーモードで設定した [画質] の調整値を初期値に戻します。

※1 HDMI1/HDMI2/HDMI3映像信号入力時のみ。

※2 入力ソースやカラーモードごとに設定値が保存されます。

映像メニュー

LAN映像信号入力時には映像メニューは設定できません。

機能	メニュー/設定値		説明
3D設定	3D表示	オート、3D、2D	3D映像を視聴するときは、[オート] または [3D] に設定します。  p.48
	3D方式設定	サイドバイサイド、トップアンドボトム	入力信号の3D方式を設定します。
	3D奥行き調整	-10～10	3D映像の奥行き感を設定します。
	映像サイズ	60～300	3D映像の投写サイズを設定します。実サイズに合わせることで、適切な3D効果になります。
	3D明るさ調整	低、中、高	3D映像の明るさを設定します。
	3Dメガネ左右反転		3Dメガネの左右のシャッターと左右映像との同期タイミングを反転します。映像で3Dの効果が正しく表示されない場合に設定します。
	3D視聴上の注意	オン、オフ	3D視聴に関する注意を表示するかどうかを切り替えます。
アスペクト※1	オート※2、ノーマル、フル、ズーム		アスペクトモードを選択します。  p.36
オーバースキャン※1	オート、オフ、4%、8%		出画率（投写する映像の範囲）を変更できます。 • [オフ]、[4%]、[8%]：映像の範囲を設定します。[オフ] はすべての範囲を投写します。映像信号によっては上下にノイズが入る場合があります。 • [オート]：入力信号によって自動的に [オフ] または [8%] に設定されます。
カラースペース	オート、BT.709、BT.2020		色空間の変換方式を設定します。
ダイナミックレンジ	ダイナミックレンジ	オート、SDR、HDR10、HLG	映像の暗部、明部の表示できる範囲を切り替えることができます。
	映像信号	-	映像信号を表示します。
	HDR10 設定	1 ～ 16	HDR PQ方式でのダイナミックレンジのPQカーブを切り替えます。
	HLG 設定	1 ～ 16	HDR HLG方式でのダイナミックレンジのHLGカーブを切り替えます。

機能	メニュー/設定値		説明
アドバンスト	ビデオレンジ※1	オート、リミテッド(16-235)、フル(0-255)	[オート] に設定すると、本機のHDMI1/HDMI2/HDMI3入力端子へのDVD入力信号のビデオレベルを自動判別し設定します。 [オート] に設定していて映像に黒つぶれや白とびが生じるときは、DVD/ブルーレイディスクプレイヤーのビデオレベルの設定に合わせて本機のビデオレベルを設定します。プレイヤー側の設定では、Normal (リミテッド)、Expand (フル) となっていることがあります。
	EDID	拡張、標準、21:9	EDIDを切り替えることができます。 [拡張] は3840x2160 60Hz、[標準] は3840x2160 30Hz、[21:9] は2560x1080 60Hzに対応しています。
	映像処理	きれい、速い	ゲームなどの動きの速い投写映像に対し、応答速度を向上させる処理をします。
初期化	はい、いいえ		[映像] のうち、[映像サイズ]、[3D視聴上の注意]、[アスペクト] 以外のすべての調整値を初期値に戻します。

※1 入力ソースや信号の種類ごとに設定値が保存されます。

※2 入力ソースや信号の種類によっては選択できないことがあります。

■ 設定メニュー

機能	メニュー/設定値			説明
設置ガイド	-			設置時の位置調整のためのガイドを表示します。
台形補正	タテヨコ	タテ補正	-12~12	台形ゆがみを補正します。👉 p.33 • タテヨコ：縦方向、横方向のゆがみを補正します。👉 p.33 • Quick Corner：投写画面のコーナーの形状を個別に補正します。👉 p.34
		ヨコ補正	-12~12	
	Quick Corner	-		
ブラッキング				映像の一部にブラंक（黒い画面）を被せます。映像の上下左右に設定できます。
ズーム				映像の大きさを調整します。👉 p.31
デジタル ピクチャーシフト	-			本機を動かさずに映像の投写位置を調整します。👉 p.32
音量				音量を調整します。

機能	メニュー/設定値		説明
HDMIリンク	接続機器一覧	-	HDMI1/HDMI2/HDMI3入力端子に接続している機器の一覧を表示します。
	HDMIリンク	オン、オフ	HDMIリンク機能の有効/無効を切り替えます。
	音声出力機器	プロジェクター、AVアンプ	音声出力先を設定します。🔊 p.51
	電源オン連動	オフ、双方向、接続機器→PJ、PJ→接続機器	電源オンの連動機能を設定します。 - 接続機器での操作に連動して本機の電源を入れるときは、[双方向] または [接続機器→PJ] を選択します。 - 本機の電源オンに連動して接続機器の電源を入れるときは、[双方向] または [PJ→接続機器] を選択します。
	電源オフ連動	オン、オフ	本機の電源オフに連動して、接続機器の電源を切るかどうかを設定します。
	リンクバッファ	オン、オフ	HDMIリンクが正しく機能しないときは設定を変更すると改善される場合があります。
ロック設定	チャイルドロック	オン、オフ	お子様が、誤って電源を入れないように、操作パネルのスタンバイボタンでの電源オンをロックします。ロック時は、スタンバイボタンを約3秒間押し続けると電源が入ります。スタンバイボタンでの電源オフやリモコンでの操作は通常どおり行えます。設定を変更した場合は、電源を切ってクールダウンが終了した後に、設定が有効になります。 [ダイレクトパワーオン] を [オン] に設定しているときは、[チャイルドロック] を [オン] に設定している場合も、本機に電源コードを接続するだけで投写が開始されますので、注意してください。
	操作ボタンロック	全ロック、操作ロック、オフ	[全ロック]：操作パネルのすべてのボタン操作が無効になります。 [操作ロック]：操作パネルのスタンバイボタン以外のボタン操作が無効になります。 ロック中にボタン操作を行うと画面上に🔒が表示されます。解除するには、本体操作パネルの【Enter】ボタンを約7秒以上押します。 設定を変更した場合は、環境設定メニューの表示終了後に、設定が有効になります。

機能	メニュー/設定値		説明
メモリー	メモリー呼出	Memory1～Memory10	メモリー登録した設定値を呼び出して映像を調整します。
	メモリー登録	Memory1～Memory10	〔画質〕で設定した設定値をメモリーとして登録します。
	メモリー削除	Memory1～Memory10	登録したメモリーを削除します。
	メモリー名称変更	Memory1～Memory10、デフォルト、DVD、VCR、SDTV、HDTV、Cinema、Sports、Music、Anime、Game、カスタム	メモリーの登録名を変更します。
初期化	はい、いいえ		〔台形補正〕、〔ブラッキング〕、〔音量〕、〔HDMIリンク〕、〔ロック設定〕の調整値を初期値に戻します。

■ 拡張設定メニュー

機能	メニュー/設定値		説明
ホーム画面設定	ホーム画面自動表示	オン、オフ	〔オン〕に設定すると、本機の電源を入れたときにホーム画面を自動で表示します。電源投入時に、映像信号がある入力ソースを選択しているときは、ホーム画面は表示されません。
	カスタム機能1	ダイナミックコントラスト、台形補正、情報、設置ガイド	ホーム画面に割り当てる機能を選択します。
	カスタム機能2		

機能	メニュー/設定値			説明
表示設定	メッセージ表示	オン、オフ		次のメッセージ表示をする（オン）/しない（オフ）を設定します。 • 映像信号やカラーモード、アスペクトの項目名表示 • 映像信号が入力されていないときや未対応信号の場合、内部温度上昇時
	背景表示	黒、青、ロゴ		映像信号が入力されていないときなどの画面の状態を選択します。
	スタートアップスクリーン	オン、オフ		スタートアップスクリーン（投写開始時に投写される映像）を表示する（オン）/しない（オフ）を設定します。設定を変更した場合は、電源を切ってクールダウンが終了した後に、設定が有効になります。
	スタンバイ確認	オン、オフ		スタンバイ確認メッセージを表示する(オン)/しない(オフ)を設定します。👉 p.30
	型番表示モード	オン、オフ		プロジェクターの型番を表示します。
	液晶アライメント	-		👉 p.71
	ユニフォーミティー	ユニフォーミティー	オン、オフ	ユニフォーミティーの有効/無効を切り替えます。
		調整レベル		白 - グレー - 黒まで8つのレベルがあります。それぞれのレベルに対して調整を行います。
		調整開始	赤、緑、青	ユニフォーミティーの調整を開始します。
		初期化	はい、いいえ	ユニフォーミティーの調整値、設定値をすべて初期値に戻します。
設置モード	フロント、フロント・上下反転			設置状況に応じた投写方法を選択します。

機能	メニュー/設定値		説明
動作設定	ダイレクト パワーオン	オン、オフ	本機に電源コードを接続するだけで、ボタン操作なしに投写できるよう設定できます。 [オン] に設定しているときは、停電復旧時などに、電源コードが接続されていると、投写が開始されますので注意してください。
	スリープモード	オン、オフ	一定時間映像信号の入力がないときに、自動的に電源をオフにして、スタンバイ状態になります。スタンバイ状態になっているときは、リモコンの電源ボタンまたは操作パネルのスタンバイボタンを押すと投写を再開します。
	スリープモード時間	1～30分	[スリープモード] で電源が自動的に切れるまでの時間を設定します。
	イルミネーション	オン、オフ	部屋を暗くして映画などを鑑賞中に操作パネルのインジケータの点灯が気になるときは、本設定を [オフ] にします。
	高地モード	オン、オフ	標高約1500m以上でお使いの場合は [オン] にします。
	高速起動	オフ、20分、60分、90分	高速起動モードを維持する時間を設定します。本機の電源を切ると高速起動モードに入ります。高速起動モード中に電源ボタンを押すと、数秒で投写できます。 高速起動モード中は、待機時消費電力が大きくなります。
	スタンバイ時USB給電 (一部の国と地域のみ)	オン、オフ	[オン] に設定すると、本機がスタンバイ状態（電源オフ）のときも、USB給電ケーブルからAndroid TV™端末に電力を供給します。本機の内部が高温になると、電力の供給が自動で停止することがあります。
	ログ保存先	内部メモリー、USBおよび内部メモリー	ログの保存先を指定します。
待機モード	通信オフ、通信オン		[通信オン] に設定すると、スタンバイ状態でもネットワーク経由で本機の状態が監視できます。
言語	-		表示する言語を選択します。
初期化	はい、いいえ		[拡張設定] のうち、[メモリー]、[設置モード]、[高地モード]、[待機モード]、[スタンバイ時USB給電]、[言語] 以外のすべての調整値を初期値に戻します。

液晶アライメントのメニュー

メニュー/設定値			説明
液晶アライメント	液晶アライメント	オン、オフ	液晶アライメントの有効/無効を切り替えます。
	調整色	R、B	補正する色を選択します。
	パターン色	R/G/B、R/G、G/B	補正時に使用するパターンを選択します。
	調整開始	-	液晶アライメントを開始します。 🖱️ p.94
	メモリー	液晶アライメント呼出	Memory1、Memory2、Memory3 液晶アライメント登録で登録した設定値を呼び出します。
		液晶アライメント登録	Memory1、Memory2、Memory3 液晶アライメントで設定した設定値をメモリーとして登録します。
		液晶アライメント削除	Memory1、Memory2、Memory3 登録した液晶アライメントのメモリーを削除します。
		液晶アライメント名称変更	Memory1、Memory2、Memory3 液晶アライメントのメモリーの登録名を変更します。
	初期化	はい、いいえ	補正值を初期化します。

■ ネットワークメニュー

機能	メニュー/設定値	説明
無線LAN電源	オン、オフ	無線LAN電源の有効/無効を切り替えます。
ネットワーク情報 - 無線LAN	-	以下のネットワークの設定状況を表示します。 • 接続モード • 無線LAN方式 • アンテナレベル • プロジェクター名 • SSID • DHCP • IPアドレス • サブネットマスク • ゲートウェイアドレス • MACアドレス • 地域コード

機能	メニュー/設定値	説明
ネットワーク情報 - 有線LAN	-	以下のネットワークの設定状況を表示します。 • プロジェクター名 • DHCP • IPアドレス • サブネットマスク • ゲートウェイアドレス • MACアドレス
QRコード表示	-	本機のネットワーク情報をQRコードで表示します。
ネットワーク設定画面へ	-	ネットワークの設定メニューへ移行します。  p.73

ネットワークメニュー操作上のご注意

基本的な操作は環境設定メニューと同様に行います。

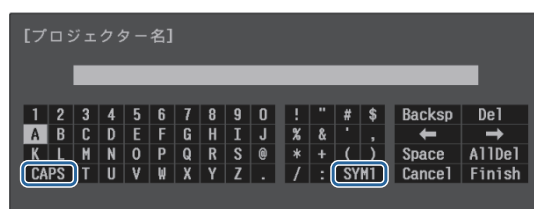
ただし、終了する際には必ず「設定完了」メニューを選択し、設定を保存してください。



- 【はい】：** 設定を保存してネットワークメニューを終了します。
【いいえ】： 設定を保存しないでネットワークメニューを終了します。
【キャンセル】： ネットワークメニューを続けます。

ソフトキーボードの操作

ネットワークメニューでは英数字を入力して設定するときに、ソフトキーボードが表示されます。リモコンまたは操作パネルの上下/左右ボタンでキーを選択し、【Enter】ボタンを押して入力します。Finishを選択すると入力が確定し、Cancelを選択すると入力は取り消されます。



- CAPSキー：** アルファベットキーの大文字/小文字を切り替えます。
SYM1/2キー： 記号キーを切り替えます。

基本設定メニュー

機能	メニュー/設定値	説明
プロジェクター名	16文字以内の半角英数字	ネットワーク上で本機を識別するための個別の名前を入力します。
PJLinkパスワード	32文字以内の半角英数字	PJLink対応アプリケーションソフトを使って本機にアクセスするときの認証用パスワードを設定します。 ☞ p.98
Remoteパスワード	8文字以内の半角英数字	スマートフォンやタブレット端末から本機を操作するときに必要な、認証用パスワードを設定します。
LAN情報表示	テキストとQRコード、テキスト	本機のネットワーク情報の表示形式を設定します。

無線LANメニュー

機能	メニュー/設定値	説明
接続モード	かんたんモード、マニュアルモード	無線LANの接続方法を設定します。 [かんたんモード]：Epson iProjectionを使用して、スマートフォンやタブレット端末、コンピューターと無線で直接接続できます。本機が簡易アクセスポイントになります。（プロジェクターに接続する機器の数は、6台以下を目安としてください。目安を超えると投写映像の更新が遅くなることがあります。） [マニュアルモード]：無線LANアクセスポイント経由でスマートフォンやタブレット端末、コンピューターと接続できます。
チャンネル設定※1	1ch、6ch、11ch	無線LANで使用する周波数の帯域を選択します。
SSID※2	32文字以内の半角英数字	SSIDを入力します。本機が参加する無線LANシステムでSSIDが定められているときは、そのSSIDを入力します。
アクセスポイント検索※2	検索画面へ移動	無線LANアクセスポイントを検索します。 📶は現在接続中のアクセスポイントを表します。🔒はセキュリティが設定されているアクセスポイントを表します。 セキュリティが設定されているアクセスポイントを選択するとセキュリティメニューに移行します。 ☞ p.74

機能	メニュー/設定値	説明
IP設定※2	DHCP	DHCPを使用する（オン）/しない（オフ）を設定します。[オン] に設定すると以降のアドレスの設定はできなくなります。
	IPアドレス	本機のIPアドレスを入力します。 以下のIPアドレスは使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255（xは0～255の数字）
	サブネットマスク	本機のサブネットマスクを入力します。 以下のサブネットマスクは使用できません。 0.0.0.0、255.255.255.255
	ゲートウェイアドレス	本機のゲートウェイのIPアドレスを入力します。 以下のゲートウェイアドレスは使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255（xは0～255の数字）
SSID表示	オン、オフ	LAN待機画面とホーム画面上にSSIDを表示する（オン）/しない（オフ）を設定します。
IPアドレス表示	オン、オフ	LAN待機画面とホーム画面上にIPアドレスを表示する（オン）/しない（オフ）を設定します。

※1 [接続モード] が [かんたんモード] の場合のみ設定できます。

※2 [接続モード] が [マニュアルモード] の場合のみ設定できます。

セキュリティメニュー

機能	メニュー/設定値	説明
セキュリティ	なし、WPA2-PSK、WPA/WPA2-PSK	セキュリティを設定します。 [かんたんモード] 時は [WPA2-PSK]、[マニュアルモード] 時は [WPA2-PSK]、[WPA/WPA2-PSK] を選択できます。
パスフレーズ	8～32文字の半角英数字	パスフレーズを入力します。 セキュリティを確保するために、定期的に変更することをお勧めします。

有線LANメニュー

機能	メニュー/設定値	説明
DHCP	オン、オフ	DHCPを使用する（[オン]）/しない（[オフ]）を設定します。ここで [オン] に設定すると以降のアドレスの設定はできなくなります。
IPアドレス	0～255の数字	本機に割り当てるIPアドレスを入力します。 アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255（xは0～255の数字）

機能	メニュー/設定値	説明
サブネットマスク	0～255の数字	本機のサブネットマスクを入力します。 アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のサブネットマスクは使用できません。 0.0.0.0、255.255.255.255
ゲートウェイアドレス	0～255の数字	本機のゲートウェイのIPアドレスを入力します。 アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のゲートウェイアドレスは使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255 (xは0～255の数字)
IPアドレス表示	オン、オフ	[ネットワーク情報 - 有線LAN] の画面にIPアドレスを表示させないときは、オフに設定します。

その他メニュー

機能	メニュー/設定値	説明
PJLink通知	オン、オフ	PJLinkの通知機能を使うときは [オン] に設定します。
通知先IPアドレス	0～255の数字	PJLinkの通知機能により本機の動作状態を通知するコンピューターのIPアドレスを入力します。 0～255の数字を入力します。以下のIPアドレスは使用できません。 127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255 (xは0～255の数字)
AMX Device Discovery	オン、オフ	AMX Device Discoveryによる本機の検出を有効にしたいときは [オン] に設定します。AMX社のコントローラーやAMX Device Discoveryで制御する環境に接続していないときは、[オフ] に設定してください。
Control4 SDDP	オン、オフ	Control4 SDDPによる本機の検出を有効にしたいときは、[オン] に設定します。Control4社のコントローラーやControl4 SDDPで制御する環境に接続していないときは、[オフ] に設定してください。

初期化メニュー

機能	説明
ネットワーク設定を初期化します。	[ネットワーク] のすべての調整値を初期値に戻します。

■ 情報メニュー

機能	メニュー/設定値	説明
プロジェクター情報	使用時間	プロジェクターの電源をオンにしてからの使用時間を表示します。
	入力ソース	現在の入力ソースを表示します。
	入力信号※	現在の入力ソースの入力信号方式を表示します。
	入力解像度※	入力解像度を表示します。
	走査方式※	走査方式を表示します。
	リフレッシュレート※	リフレッシュレートを表示します。
	3D方式※	3D映像投写時に入力されている信号の3D方式（サイドバイサイド/トッパンドボトム）を表示します。
	同期情報※	映像信号の情報を表示します。 お問い合わせ時に、この値を確認することがあります。
	色深度※	色深度と色差フォーマットを表示します。
	カラーフォーマット※	カラースペースとダイナミックレンジの情報を表示します。
	ステータス	本機に発生した異常についての情報です。 お問い合わせ時に、この値を確認することがあります。
	シリアル番号	本機のシリアル番号を表示します。
	Event ID	アプリケーションエラーログを表示します。  p.89
光源情報	光源使用時間	光源の使用時間を表示します。
バージョン	Main	本機のファームウェアのバージョンを表示します。
	Video2	

※ LAN映像信号入力時には表示されません。

■ 初期化メニュー

機能	説明
メモリー初期化	[メモリー] のすべての項目を初期設定に戻します。
全初期化	環境設定メニューの全項目を初期設定に戻します。 [ズーム]、[デジタル ピクチャーシフト]、[メモリー]、[液晶アライメント]、[ユニフォーミティー]、[使用時間]、[言語] と [ネットワーク設定] メニューの調整値は初期値に戻りません。

故障かなと思ったら

トラブルの対処方法

プロジェクターが正しく動作しないときは、一度電源を切り、電源コードを差し直してから再度電源を入れます。

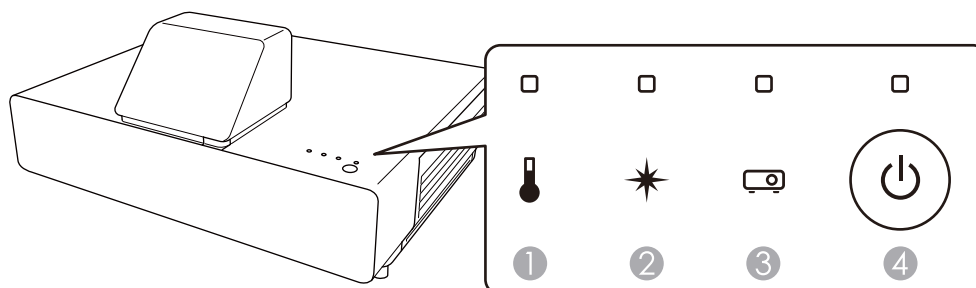
問題が解決しないときは、以下を確認します。

- インジケーターで本機の状態を確認する。
- 本書のトラブル一覧で対処方法を確認する。

問題が解決しないときは、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

インジケーターの見方

本機の状態は、操作パネルのインジケーターの点灯や点滅で確認できます。

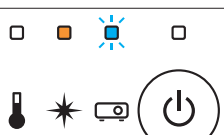


- ① 温度インジケーター
- ② レーザーインジケーター
- ③ ステータスインジケーター
- ④ スタンバイインジケーター

次の表でインジケーターの状態と対処方法を確認してください。

■ 異常/警告時のインジケータの状態

■:点灯 ■:点滅 ■:状態依存 □:消灯

インジケータ	状態	対処方法
	高温警告	このまま投写を続けられます。さらに高温になると投写を自動的に停止します。 - エアフィルター・排気口がふさがれていないか、周辺の物や壁で通気が妨げられていないか確認します。 - エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換します。☛ p.90、p.92 - 吸気口付近がふさがれていないか、また、吸気口付近の温度が高すぎないか確認してください。☛ p.106
	内部異常	本体の故障です。 電源コードを抜き、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。☛ 『お問い合わせ先』
	ファン異常 センサー異常	
	レーザー警告	レーザー警告です。 電源コードを抜き、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。☛ 『お問い合わせ先』
	レーザー異常	レーザー異常です。 電源コードを抜き、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。☛ 『お問い合わせ先』
	内部高温異常 (オーバーヒート)	内部が高温になっています。 - 自動的に消灯し投写できなくなります。約5分間そのままの状態待ちます。ファンが停止したら、電源コードを抜きます。 - エアフィルター・排気口がふさがれていないか、周辺の物や壁で通気が妨げられていないか確認します。 - エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換します。☛ p.90、p.92 - 吸気口付近がふさがれていないか、また、吸気口付近の温度が高すぎないか確認してください。☛ p.106 - 電源を入れ直しても改善されない場合は、ご使用をやめ、電源コードを抜いてください。お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。☛ 『お問い合わせ先』 - 標高1500m以上でお使いの場合は、必ず[高地モード]を[オン]にしてください。☛ [拡張設定] - [動作設定] - [高地モード] p.68

■ 正常動作時のインジケータの状態

■:点灯 ■:点滅 ■:状態依存 □:消灯

インジケータ	状態	対処方法
□ □ □ □ ■ ■ ■ (●)	スタンバイ状態	リモコンの電源ボタンまたは操作パネルのスタンバイボタンを押すと、しばらくして投写を開始します。 [待機モード] の設定が [通信オン] の場合は、スタンバイ状態でもスタンバイインジケータは点灯します。
□ □ ■ ■ ■ ■ ■ (●)	ウォームアップ中	ウォームアップの時間は約30秒です。 ウォームアップ中は電源オフの操作は無効になります。
	クールダウン中	クールダウン中はすべての操作は無効になります。
□ □ ■ ■ ■ ■ ■ (●)	投写中	通常動作中です。



- 正常動作時は温度インジケータとレーザーインジケータは消灯しています。
- [イルミネーション] 機能が [オフ] の場合は正常な投写中にインジケータがすべて消灯しています。 ➡ [拡張設定] - [動作設定] - [イルミネーション] [p.68](#)

インジケータを確認してもわからないとき

■ 現象の確認

下記の表のうち、どのトラブルに該当するかを確認し、参照先をご覧ください。

現象		ページ
映像に関するトラブル	映像が表示されない 投写を開始しない・真っ黒の映像になる・青い映像になるなど...	p.81
	動画が表示されない	p.81
	「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される	p.82
	「映像信号が入力されていません。」と表示される	p.82
	投写映像が台形にゆがむ	p.82
	ぼやける、ピントが合わない	p.82
	ノイズが入る・乱れる	p.83
	映像の一部が切れる（大きい）、小さい	p.83
	色合いが違う 赤紫がかっている・緑色がかっている・モノクロになる・色がくすむなど... ※	p.83
	暗い	p.84
	自動的に投写が消える	p.84
音に関するトラブル	音が出ない、小さい	p.84
投写開始時のトラブル	電源が入らない	p.85
リモコンでのトラブル	リモコンで操作できない	p.85
操作パネルのトラブル	本体パネルで操作できない	p.86
3Dでのトラブル	3Dで正しく投写できない	p.86
HDMIのトラブル	HDMIリンクで操作できない	p.87
	接続機器一覧に機器名が表示されない	p.87
Android TV™端末のトラブル	Android TV™端末の映像が視聴できない	p.87
ネットワークに関するトラブル	無線LANでネットワーク接続ができない	p.88
	Epson iProjectionのリモコン機能を使って設定を変更できない	p.88
	ネットワーク経由で投写した映像が乱れる	p.88

※ コンピューターのモニターや液晶画面とは色の再現性が異なるため、本機での投写映像とモニターでの表示の色合いは必ずしも一致しませんが、異常ではありません。

映像に関するトラブル

映像が表示されない

確認	対処法
電源を入れましたか？	リモコンの電源ボタンまたは操作パネルのスタンバイボタンを押します。
電源コードを接続していますか？	電源コードを接続してください。
インジケーターがすべて消灯していませんか？	本機の電源コードを抜いて、接続し直します。接続後、電源ボタンを押して電気が供給されているか確認します。
映像信号は入力されていますか？	接続している機器の電源が入っているか確認します。環境設定メニューの「メッセージ表示」を「オン」に設定すると映像信号に関するメッセージが表示されます。☛ [拡張設定] - [表示設定] - [メッセージ表示] p.68
AVアンプの電源が切れていませんか？	AVアンプを接続しているときは、AVアンプの電源も確認してください。
機器から映像信号が送られていますか？	接続している機器から映像信号が送られていることを確認してください。
環境設定メニューの設定が間違っていますか？	全初期化してみてください。☛ [初期化] - [全初期化] p.76
(コンピューター映像信号投写時のみ) 接続の作業を、本機やコンピューターの電源が入っている状態で行いましたか？	電源を入れた状態で接続を行うと、コンピューターの映像信号を外部に切り替えるFn（ファンクション）キーが使えないことがあります。接続しているコンピューターと本機の電源を入れ直してください。
Android TV™端末は給電されていますか？	Android TV™端末から投写するときは、USB給電ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
Wi-Fi接続できる環境にありますか？	オンラインコンテンツを視聴するには、インターネットへの接続が必要です。Wi-Fi接続できることを確認してください。
Android TV™端末の電源が切れていませんか？	Android TV™用リモコンを使って、Android TV™端末の電源を入れます。

動画が表示されない

確認	対処法
(コンピューター映像信号投写時のみ) コンピューターの映像信号が外部と液晶モニター両方同時に出力されるように設定されていませんか？	コンピューターの仕様により映像を外部と液晶モニターに同時表示させると動画が表示されないことがあります。映像信号が外部のみに出力されるように切り替えてください。コンピューターの仕様はコンピューターの取扱説明書を参照してください。

「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される

確認	対処法
(コンピューター映像信号投写時のみ) 映像信号の周波数や解像度が対応するモードですか？	環境設定メニューの「入力解像度」で入力中の映像信号を確認し、本機の解像度に対応しているか確認してください。 ☛ [情報] - [プロジェクター情報] p.76 ☛ 「対応解像度一覧」 p.100

「映像信号が入力されていません。」と表示される

確認	対処法
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☛ p.20
接続した映像入力端子を正しく選択していますか？	リモコンの各入力ソースのボタンで映像を切り替えます。 ☛ p.28
接続している機器の電源は入っていますか？	機器の電源を入れます。
(コンピューター映像信号投写時のみ) プロジェクターに映像信号が出力されていますか？	映像信号がコンピューターの液晶モニター以外（外部）にも出力されるように切り替えます。外部に映像信号を出力すると、液晶モニターに表示されないモデルもあります。コンピューターの仕様はコンピューターの取扱説明書を参照してください。 本機やコンピューターの電源を入れた状態で接続を行うと、コンピューターの映像信号を外部に切り替えるFn（ファンクション）キーが使えないことがあります。本機およびコンピューターの電源を入れ直してください。

投写映像が台形にゆがむ

確認	対処法
台形ゆがみは補正範囲内で調整していますか？	補正可能範囲よりも外の位置から投写を行うと、台形ゆがみを十分に補正できない場合があります。できるだけスクリーンの正面に水平・平行に設置して、デジタル ピクチャーシフトを使って投写位置を調整してください。☛ p.17

ぼやける、ピントが合わない

確認	対処法
フォーカスを調整しましたか？	フォーカス調整を行います。☛ p.31
レンズキャップが付いていませんか？	レンズキャップを外します。
投写距離は最適ですか？	投写距離の推奨範囲を確認してください。☛ p.19

確認	対処法
レンズが結露していませんか？	寒い部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだり、急激に暖房したときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。ご使用になる1時間くらい前に使用する部屋に設置するようにします。結露してしまったときは、本機の電源を切り、電源コードを抜いてしばらく放置してください。

ノイズが入る、乱れる

確認	対処法
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。👉 p.20
ケーブルを延長していませんか？	ケーブルを延長するとノイズが入ることがあります。
(コンピューター映像信号投写時のみ) 解像度の選択は正しいですか？	本機に対応する信号にコンピューターを合わせてください。 👉 p.100
ARC非対応のAVアンプを接続していますか？	ARC非対応のAVアンプをHDMI2 (ARC)端子に接続すると、映像が乱れることがあります。

映像の一部が切れる (大きい)、小さい

確認	対処法
[アスペクト] は正しく選択していますか？	環境設定メニューの [アスペクト] で、入力信号に合ったアスペクトモードを選択してください。👉 [映像] - [アスペクト] p.65
(コンピューター映像信号投写時のみ) 解像度の選択は正しいですか？	本機に対応する信号にコンピューターを合わせてください。 👉 p.100

色合いが違う

確認	対処法
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。👉 p.20
コントラストは正しく調整されていますか？	環境設定メニューの [コントラスト] を調整してください。 👉 [画質] - [コントラスト] p.63
適切に色の調整がされていますか？	環境設定メニューの [アドバンスト] を調整してください。 👉 [画質] - [アドバンスト] p.63
(ビデオ機器の映像信号投写時のみ) 色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？	環境設定メニューの [色の濃さ] / [色合い] を調整してください。👉 [画質] - [色の濃さ] / [色合い] p.63

暗い

確認	対処法
映像の明るさは正しく設定されていますか？	環境設定メニューの「明るさ」を設定してください。 ☛ 「画質」 - 「明るさ」 p.63
コントラストは正しく調整されていますか？	環境設定メニューの「コントラスト」を調整してください。 ☛ 「画質」 - 「コントラスト」 p.63

自動的に投写が消える

確認	対処法
「スリープモード」が有効になっていませんか？	一定時間映像信号の入力がないときに、レーザーが自動的に消灯し、スタンバイ状態になります。リモコンの電源ボタンまたは操作パネルのスタンバイボタンを押すと電源が入ります。「スリープモード」を無効にするときは、設定を「オフ」にします。☛ 「拡張設定」 - 「動作設定」 - 「スリープモード」 p.68

■ 音に関するトラブル

音が出ない、小さい

確認	対処法
オーディオケーブルは正しく接続されていますか？	Audio Out端子からケーブルを抜いて差し直してください。
音量調整が最小になっていませんか？	聞こえる音量に調整してください。☛ p.35
オーディオケーブルの仕様は「抵抗なし」となっていますか？	市販のオーディオケーブルを使う場合は「抵抗なし」と表記されているものをお使いください。
HDMIケーブルで接続していますか？	HDMIケーブルで接続していて音が出ないときは、接続先の機器の設定をPCM出力にしてください。
「音声出力機器」の設定は正しいですか？	環境設定メニューで「音声出力機器」の設定が正しいことを確認してください。☛ 「設定」 - 「HDMIリンク」 - 「音声出力機器」 p.66
Android TV™端末、ビデオ機器を接続していますか？	Android TV™端末、ビデオ機器の音量が大きくなっているか、音声出力が正しく設定されているか確認してください。
ARC対応AVアンプを接続していますか？	ARC対応AVアンプがHDMI2端子に接続されているか確認してください。 環境設定メニューで以下の設定が正しいことを確認してください。 「音声出力機器」を「AVアンプ」に設定します。☛ 「設定」 - 「HDMIリンク」 - 「音声出力機器」 p.66 - 本機にAVアンプを接続した状態で、「HDMIリンク」を「オン」に設定します。☛ 「設定」 - 「HDMIリンク」 p.66

■ 投写開始時のトラブル

電源が入らない

確認	対処法
電源を入れましたか？	リモコンの電源ボタンまたは操作パネルのスタンバイボタンを押します。
[チャイルドロック] を [オン] に設定していませんか？	環境設定メニューの [チャイルドロック] を [オン] に設定している場合は、操作パネルのスタンバイボタンを約3秒間押し続けるか、リモコンで操作します。☛ [設定] - [ロック設定] - [チャイルドロック] p.66
電源コードを触ると、インジケータが点いたり消えたりしませんか？	本機の電源を切り、電源コードを抜いてから差し直します。それでも直らないときは、ご使用をやめ、電源コードを抜き、お買い上げの販売店またはプロジェクターインフォメーションセンターにご相談ください。☛ 『お問い合わせ先』

■ リモコンでのトラブル

リモコンで操作できない

確認	対処法
リモコンの発光部をプロジェクターのリモコン受光部に向けて操作していますか？	リモコン受光部に向かって操作してください。また、操作可能範囲を確認してください。☛ p.26
プロジェクターから離れすぎていませんか？	操作可能範囲を確認してください。☛ p.26
リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか？	強い光などがリモコン受光部にあたる場所を避けて設置してください。
乾電池が消耗していたり、乾電池の向きを間違えてセットしていませんか？	新しい乾電池を正しい向きでセットします。☛ p.25
Android TV™端末とペアリングできていますか？	• ペアリング画面が表示されているときは、リモコンの Enter ボタンとホームボタンを同時に約3秒間長押しして、ペアリングを実行してください。☛ p.25 • ペアリング画面が表示されていないときは、プロジェクターとAndroid TV™端末が起動していることを確認してから、リモコンの戻るボタンと右ボタンを約7秒間長押ししてください。その後、ペアリング画面が表示されたらペアリングを実行してください。☛ p.25
Android TV™用リモコンを使って、操作していませんか？	Android TV™用リモコンを使用していないことを確認します。プロジェクターリモコンを使用してください。

■ 操作パネルのトラブル

本体パネルで操作できない

確認	対処法
[操作ボタンロック] を [全ロック] または [操作ロック] に設定していませんか？	環境設定メニューの [操作ボタンロック] を [全ロック] に設定していると、操作パネルのすべてのボタン操作が、[操作ロック] に設定していると、操作パネルのスタンバイボタン以外のボタン操作が無効になります。リモコンで操作してください。☛ [設定] - [ロック設定] - [操作ボタンロック] p.66

■ 3Dでのトラブル

3Dで正しく投写できない

確認	対処法
3Dメガネの電源が入っていますか？	3Dメガネの電源を入れてください。
3Dメガネは十分に充電されていますか？	3Dメガネを充電してください。
3D映像が投写されていますか？	本機が2D映像を投写しているときや、本体側のエラーなどで3D映像を投写していないときは3Dメガネをかけても3D映像を視聴できません。
入力映像が3Dに対応していますか？	入力映像が3Dに対応しているか確認してください。テレビ放送の多くは、3Dフォーマットの識別信号が含まれていないため、手動で設定する必要があります。
[3D表示] を [2D] に設定していませんか？	環境設定メニューの [3D表示] を [2D] に設定していると、3D入力信号で自動的に3Dに切り替わりません。[3D表示] を [3D] または [オート] に設定してください。☛ [映像] - [3D設定] - [3D表示] p.65
[3D方式設定] は正しく設定されていますか？	AV機器の3Dフォーマットと本機の [3D方式設定] が合っていないと映像の一部が切れて表示されます。AV機器の3Dフォーマットと本機の [3D方式設定] が合っていることを確認してください。☛ [映像] - [3D設定] - [3D方式設定] p.65 [3D方式設定] を変更するときは、事前に [3D表示] を [3D] に設定してください。
受信範囲で視聴していますか？	プロジェクターと3Dメガネの距離が10mを超えると、接続が途切れることがあります。3Dメガネをプロジェクターに近づけてください。
ペアリングは正常にできていますか？	お使いの3Dメガネの取扱説明書を参照して、ペアリングを実施してください。
電波干渉を引き起こす機器が周囲にありますか？	他のBluetooth通信機器や無線LAN (IEEE802.11b/g)、電子レンジなどの周波数帯 (2.4GHz) と同時に使用すると、電波干渉が発生し、映像が途切れたり接続ができないことがあります。本機をこれらの機器の近くで使用しないでください。

■ HDMIのトラブル

HDMIリンクで操作できない

確認	対処法
HDMI規格に準拠したケーブルを使用していますか？	HDMI規格に適合していないケーブルでは動作しません。
HDMI CEC規格に対応した機器を接続していますか？	接続機器にHDMI端子がついていてもHDMI CEC規格に対応していないと操作できません。接続機器の取扱説明書などをご確認ください。 また、環境設定メニューの[接続機器一覧]で利用可能かどうか確認してください。🔊 [設定] - [HDMIリンク] - [接続機器一覧] p.52
ケーブル類が正しく接続されていますか？	HDMIリンクを使うために必要なケーブル類が確実に接続されているか確認します。🔊 p.51
接続しているアンプやDVDレコーダーなどの電源は入っていますか？	それぞれの機器の電源をスタンバイ状態にします。接続機器の取扱説明書などをご確認ください。 スピーカーなどを接続しているときは、接続先の機器の設定をPCM出力にしてください。
新しく機器を接続したり、接続を変更しましたか？	新しく機器を接続したり接続を変更した後に操作できないときは、接続機器のCEC機能を設定し直したり、再起動が必要な場合があります。
プレイヤーを何台も接続していませんか？	HDMI CEC規格で、同時に接続できるプレイヤーは3台までです。

接続機器一覧に機器名が表示されない

確認	対処法
接続機器がHDMI CEC規格に対応していますか？	接続機器がHDMI CEC規格に対応していないと表示されません。接続機器の取扱説明書などをご確認ください。

■ Android TV™端末のトラブル

Android TV™端末の映像が視聴できない

確認	対処法
Android TV™端末が正しく接続されていますか？	同梱のHDMI延長ケーブルとUSB給電ケーブルを使ってAndroid TV™端末がHDMI3入力端子に正しく接続されているか確認します。
インターネットに接続していますか？	オンラインコンテンツをご視聴いただくには、インターネットへの接続が必要です。Wi-Fiサービスを利用できる環境が確認してください。

■ ネットワークに関するトラブル

無線LANでネットワーク接続ができない

確認	対処法
[無線LAN電源] を [オフ] に設定していませんか？	環境設定メニューで [無線LAN電源] を [オン] に設定してください。すでに [オン] に設定されているときは、一度 [無線LAN電源] を [オフ] に設定し、再度 [オン] に設定してください。☛ [ネットワーク] - [無線LAN電源] p.71
パスフレーズは正しいですか？	パスフレーズは大文字小文字を区別するので、注意してください。設定したパスフレーズが不明な場合は設定し直してください。☛ [ネットワーク] - [ネットワーク設定画面へ] - [セキュリティ] - [パスフレーズ] p.74
Event IDは確認しましたか？	Event IDの番号を確認し、次の対処法に従ってください。 ☛ [情報] - [プロジェクター情報] - [Event ID] p.76 ☛ p.89

Epson iProjectionのリモコン機能を使って設定を変更できない

確認	対処法
接続しているネットワーク機器の電源は入っていますか？	プロジェクターの [待機モード] が [通信オン] のスタンバイ状態のとき、接続しているネットワーク機器の電源が入っていることを確認します。ネットワーク機器の電源を入れた後、プロジェクターを一度起動してください。☛ [拡張設定] - [待機モード] p.68

ネットワーク経由で投写した映像が乱れる

確認	対処法
アクセスポイントと接続機器の間に障害物がありますか？	アクセスポイントとモバイルデバイス、プロジェクターの間に障害物がないかを確認し、電波状況がよくなるようにそれらの位置を変更してください。
アクセスポイントと接続機器の距離が離れすぎていませんか？	アクセスポイントとモバイルデバイス、プロジェクターが離れすぎているときは、近づけて接続してください。
周囲にBluetooth機器や電子レンジがありませんか？	映像の表示が遅いときや、映像にノイズが入るときは、Bluetoothを使用する機器や電子レンジなどからの干渉がないか確認し、干渉の可能性のある機器を遠ざけるか、無線帯域を確保してください。
接続機器の数が多すぎませんか？	映像の表示が遅いときは、接続している機器の数を減らしてください。

Event ID について

番号を確認して以下のとおり対処してください。問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。

☛ 『お問い合わせ先』

Event ID	要因	対処法
0022 0027 0028 0029 0030 0031 0035 0434 0481 0482 0485	ネットワークの通信状態が不安定です。	ネットワークの通信状態を確認して、しばらくしてから再接続してください。
0432 0435	ネットワークソフトウェアの起動に失敗しました。	プロジェクターを再起動してください。
0433	転送された画像を再生できません。	ネットワークソフトウェアを再起動してください。
0484	コンピューターから通信が切断されました。	
04FE	ネットワークソフトウェアが予期せず終了しました。	ネットワークの通信状態を確認して、プロジェクターを再起動してください。
0479 04FF	プロジェクターにシステムエラーが発生しました。	プロジェクターを再起動してください。
0891	同じSSIDのアクセスポイントが見つかりません。	コンピューターやアクセスポイントとプロジェクターを同じSSIDに設定してください。
0892	WPA/WPA2の認証方式が一致しません。	無線LANセキュリティの設定が正しいか確認してください。
0894	不正なアクセスポイントに接続したため通信が切断されました。	ネットワーク管理者に確認して指示に従ってください。
0898	DHCPの取得に失敗しました。	DHCPサーバーが正しく動作しているか確認してください。DHCPを使用しないときは、DHCPの設定をオフにしてください。 ☛ [ネットワーク] - [ネットワーク設定画面へ] - [無線LAN] - [IP設定] - [DHCP] p.73
0020 0026 0032 0036 0037 0038 0899	その他、接続に関するエラー	プロジェクターまたはネットワークソフトウェアを再起動しても問題が解決しない場合は、次に記載の連絡先にお問い合わせください。☛ 『お問い合わせ先』

お手入れの方法

各部の掃除

本体が汚れたり、映像の映りが悪くなったら掃除をしてください。

警告

- 本機のレンズやエアフィルターなどに付着したゴミ・ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。本機内部ではレーザーが高温になっているため、引火による火災の原因となります。
- エアダスターや殺虫剤などの可燃性ガスおよび爆発性ガスなどが大気中に存在するおそれのある場所で使用しないでください。
本機内部ではレーザーが高温になっています。
エアダスターや殺虫剤、消臭剤などに含まれる可燃成分がプロジェクター内部に吸いこまれ、引火による火災ややけどの原因となります。プロジェクターの周囲で可燃性スプレーを使用した場合は、十分に換気を行ってからプロジェクターをご利用ください。

■ エアフィルターの掃除

エアフィルターにホコリがたまっていたり、次のメッセージが表示されたときは、エアフィルターを掃除してください。

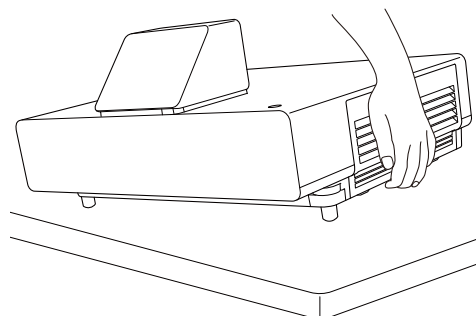
「内部温度が上昇しています。吸排気口付近の障害物を取り除き、エアフィルターの掃除、または交換をしてください。」

注意

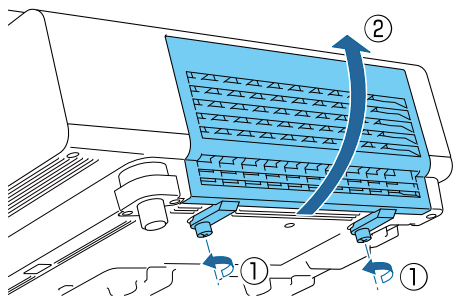
- エアフィルターにホコリがたまると、本機内部の温度が上昇して故障や光学部品の早期劣化の原因となります。エアフィルターの掃除は20,000時間を目安に行ってください。ホコリの多い環境でお使いの場合は、より短い周期で掃除を行ってください。
- エアフィルターは水洗いできません。洗剤や溶剤も使わないでください。
- 軽くなでるように掃除をしてください。強くこするとホコリがエアフィルター内部に入り込み取れなくなります。
- エアダスターは使用しないでください。可燃性の物質が残留したり、精密部分にホコリが入り込むおそれがあります。

1 リモコンまたは操作パネルのスタンバイボタンを押して電源を切り、電源コードを抜きます。

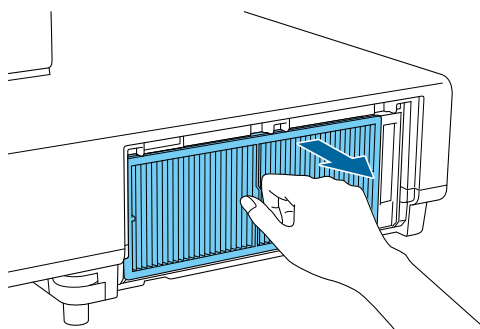
2 本体のエアフィルター側を少し上げて傾けます。



- 3** 固定ネジをゆるめて、エアフィルターカバーを開けます。

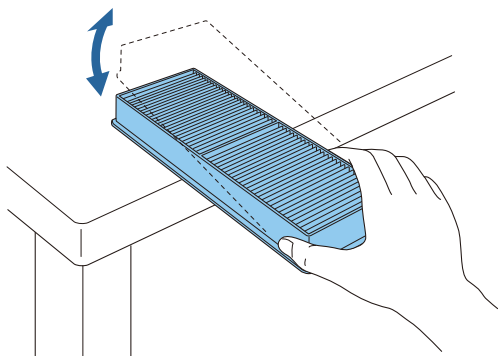


- 4** エアフィルターを取り出します。
中央のつまみを持ってエアフィルターを取り出します。



- 5** エアフィルターの表面を下にして、4～5回たたいてホコリを落とします。

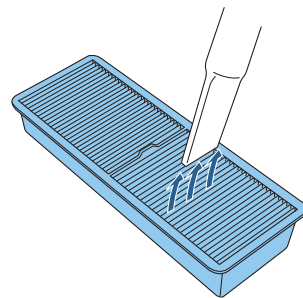
持ち替えて手に持っていた方も同様にたたいてホコリを落とします。



注意

エアフィルターを強くたたきすぎると、変形したり割れたりして使用できなくなります。

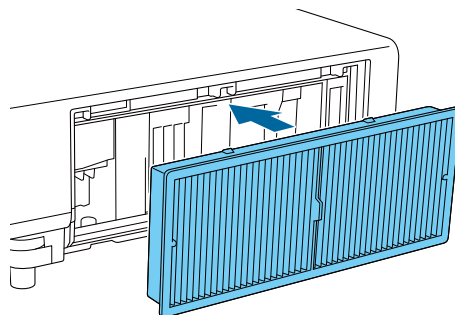
- 6** 掃除機でエアフィルターに残ったホコリを表側から吸い取ります。



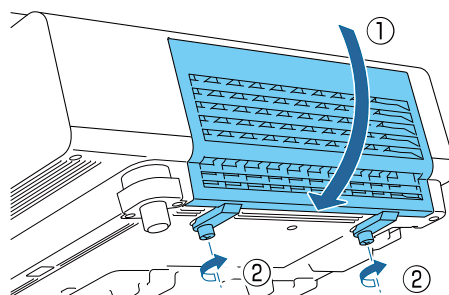
注意

- エアフィルターは水洗いできません。洗剤や溶剤も使わないでください。
- エアダスターは使用しないでください。可燃性の物質が残留したり、精密部分にホコリが入り込むおそれがあります。

- 7** エアフィルターを取り付けます。
中央のつまみを持ってエアフィルターを、まっすぐに差し込んで取り付けます。



- 8** エアフィルターカバーを閉めて、固定ネジを締めます。



■ 本体の掃除

必ずはじめに電源アダプターをコンセントから抜いてください。

本体の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。

汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

注意

ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものや台所用洗剤を使わないでください。外装ケースが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

■ レンズの掃除

必ずはじめに電源アダプターをコンセントから抜いてください。

レンズの汚れは、メガネ拭きなどで軽くふき取ってください。

注意

- レンズの表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、乱暴に扱わないでください。
- エアダスターは使用しないでください。可燃性の物質が残留したり、精密部分にホコリが入り込むおそれがあります。

消耗品の交換時期

■ エアフィルターの交換時期

エアフィルターの掃除を行っても交換メッセージが表示されるとき  [p.90](#)

消耗品の交換

■ エアフィルターの交換方法



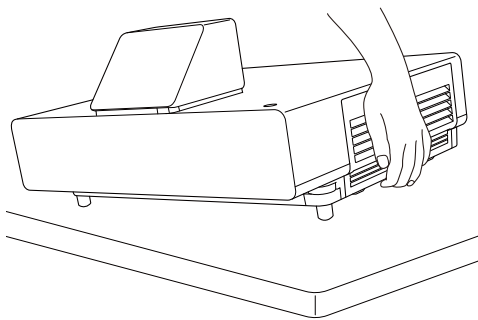
使用済みのエアフィルターは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。

- フィルターの枠：ポリプロピレン
- フィルター：ポリプロピレン

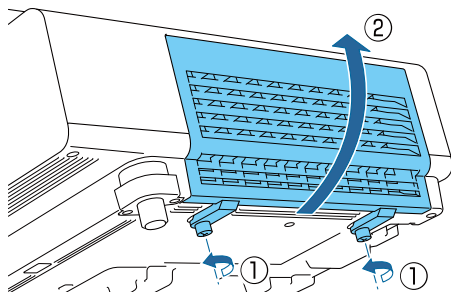
1

リモコンまたは操作パネルのスタンバイボタンを押して電源を切り、電源コードを抜きます。

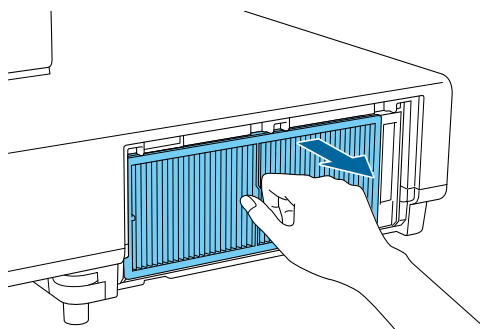
- 2** 本体のエアフィルター側を少し上げて傾けます。



- 3** 固定ネジをゆるめて、エアフィルターカバーを開けます。

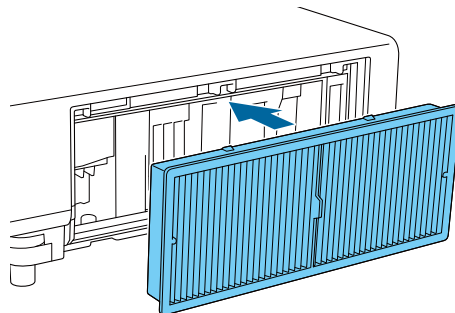


- 4** 古いエアフィルターを取り外します。
中央のつまみを持ってエアフィルターを取り出します。

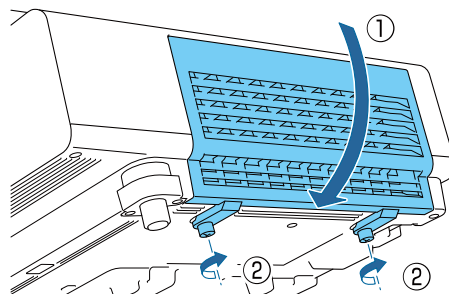


- 5** 新しいエアフィルターを取り付けます。

中央のつまみを持ってエアフィルターをまっすぐに差し込んで取り付けます。



- 6** エアフィルターカバーを閉めて、固定ネジを締めます。



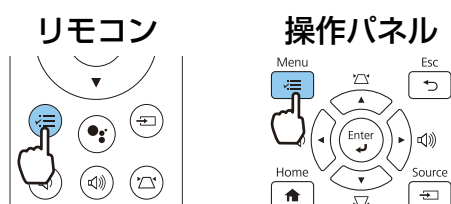
液晶アライメント

液晶パネルの画素の色ずれを調整します。水平方向、垂直方向に0.125画素ずつ、それぞれ±3画素の範囲内で調整できます。

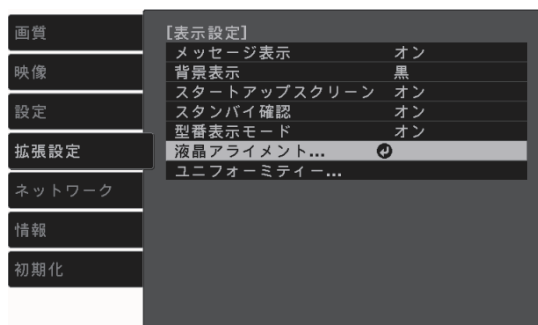


- 液晶アライメントで調整後は映像が劣化する場合があります。
- 画面からはみ出した画素分の映像は表示されません。

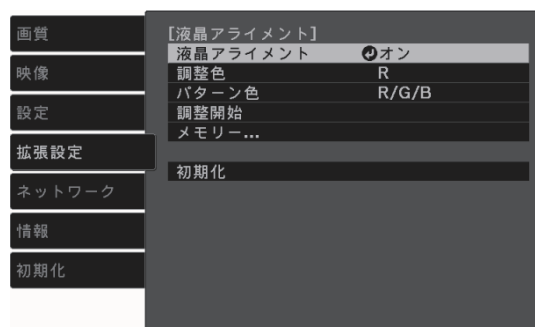
- 1 投写中に【Menu】ボタンを押して、[拡張設定] から [表示設定] を選択します。



- 2 [液晶アライメント] を選択し、【Enter】ボタンを押します。



- 3 [液晶アライメント] を有効にします。



- (1) [液晶アライメント] を選択し、【Enter】ボタンを押します。
- (2) [オン] を選択し、【Enter】ボタンを押します。
- (3) 【Esc】ボタンを押して前の画面に戻ります。

- 4 調整する色を選びます。

- (1) [調整色] を選択し、【Enter】ボタンを押します。
- (2) [R] (赤)、[B] (青) のいずれかを選択し、【Enter】ボタンを押します。
- (3) 【Esc】ボタンを押して前の画面に戻ります。

5 [パターン色] で調整時に表示する格子の色を選びます。

- (1) [パターン色] を選択し、【Enter】ボタンを押します。
- (2) 格子の色をR（赤）、G（緑）、B（青）の組み合わせで選びます。

[R/G/B]：R、G、Bの3色で表示します。実際の格子の色は白になります。

[R/G]：[調整色] を [R] にしているときに選択できます。R、Gの2色で表示します。実際の格子の色は黄色になります。

[G/B]：[調整色] を [B] にしているときに選択できます。G、Bの2色で表示します。実際の格子の色はシアンになります。

- (3) 【Esc】ボタンを押して前の画面に戻ります。

6 [調整開始] を選択し、【Enter】ボタンを押します。

はじめに「画面全体をシフトする」を選択して、液晶パネル全体の調整をします。開始確認のメッセージが表示されたら、【Enter】ボタンを押して調整を開始します。



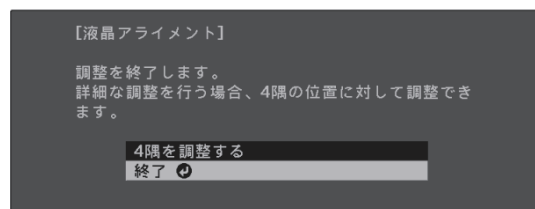
調整中は映像がゆがむ場合があります。調整を終了すると、もとに戻ります。

7 上下/左右ボタンで調整し、【Enter】ボタンを押します。

8 より詳細な調整を行う場合は、[4隅を調整する] を選択し【Enter】ボタンを押して決定します。

9 上下/左右ボタンで調整し、【Enter】ボタンを押して次の調整ポイントへ進みます。

10 4隅の調整後、[終了] を選択し、【Enter】ボタンを押します。



4点での調整が不十分の場合は、[交点を選択して調整] を選択して調整を続けます。

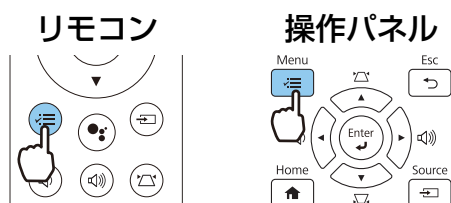
ユニフォーミティー

投写画面に色むらがあるときは、[ユニフォーミティー] で画面全体の色味を補正します。



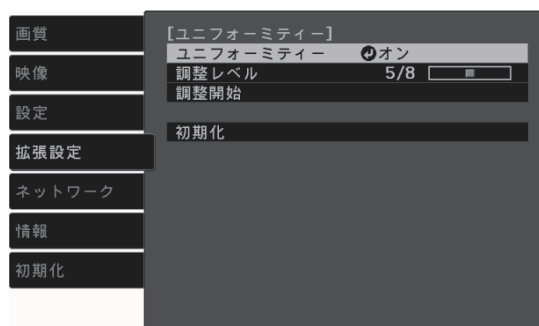
ユニフォーミティーを調整後も色味が均一にならない場合があります。

- 1 投写中に【Menu】ボタンを押して、[拡張設定] から [表示設定] を選択します。



- 2 [ユニフォーミティー] を選択し、【Enter】ボタンを押します。

以下の画面が表示されます。



[ユニフォーミティー]：ユニフォーミティーをオン/オフします。

[調整レベル]：白 - グレー - 黒まで8つのレベルがあります。それぞれのレベルに対して調整を行います。

[調整開始]：ユニフォーミティーの調整を開始します。

[初期化]：[ユニフォーミティー] の調整値、設定値をすべて初期値に戻します。



[ユニフォーミティー] を調整中は映像がゆがむ場合があります。調整を終了すると、もとに戻ります。

- 3 [ユニフォーミティー] を選択し、【Enter】ボタンを押します。

- 4 [オン] に設定し、【Esc】ボタンを押します。

- 5 [調整レベル] を選択し、【Enter】ボタンを押します。

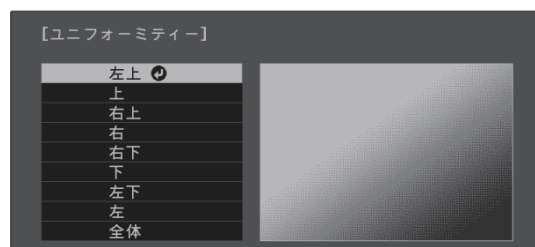
- 6 左右ボタンで調整レベルを設定します。

- 7 【Esc】ボタンを押して前の画面に戻ります。

- 8 [調整開始] を選択し、【Enter】ボタンを押します。

- 9 調整する箇所を選択し、【Enter】ボタンを押します。

先に周囲を調整してから、最後に画面全体を調整してください。



- 10 上下ボタンで調整する色を選び、左右ボタンで調整します。

左ボタンを押すと色味が弱くなります。
右ボタンを押すと色味が強くなります。



- 11 手順5に戻り、それぞれのレベルで調整を行います。

- 12 調整を終了するには、【Menu】ボタンを押します。



PJLinkについて

JBMA（一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会）によりネットワーク対応プロジェクターの制御用プロトコルの標準化が進められ、制御用標準プロトコルPJLink が策定されました。

本機は、JBMAが策定したPJLink Class2の規格に適合しています。

PJLink の検索機能で使用するポート番号は4352（UDP）です。

PJLinkを使うにはネットワーク設定が必要です。ネットワーク設定については以下をご覧ください。

☛ [p.71](#)

PJLink Class2で定義されているコマンドのうち、以下の内容を除く全コマンドに対応しており、PJLink 規格適合性検証で適合を確認しています。

URL：<https://pjlink.jbmia.or.jp/>

• 非対応コマンド

機能		PJLinkコマンド
ミュート設定	映像ミュート設定	AVMT 11
	音声ミュート設定	AVMT 21

• 入力端子名称および入力ソース番号の対応表

入力端子名称	入力ソース番号
HDMI1	32
HDMI2	33
HDMI3	36
LAN	52

• 「メーカー名問合せ」で表示するメーカー名

EPSON

• 「機種情報問合せ」で表示する機種名

EPSON LS500B/LS500W



オプション・消耗品一覧

下記のオプション・消耗品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。これらのオプション・消耗品類は2019年6月現在のものです。予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

オプション品

名称	型番	説明
無線LANユニット	ELPAP10	本機と外部機器を無線LANで接続して投写するときに使います。

消耗品

名称	型番	説明
エアフィルター	ELPAF56	使用済みのエアフィルターと交換します。(エアフィルター1枚)



対応解像度一覧

プロジェクターのパネル解像度より大きな解像度の信号を入力したときは、画質が劣化する場合があります。

チェックマークが入っている信号に対応しています。

PC

信号フォーマット	解像度 (Dot)		V Sync (Hz)	Dotclk (MHz)	HDMI							
					RGB		YCbCr					
							4:4:4		4:2:2		4:2:0	
					8	10, 12	8	10, 12	8	10, 12	8	10, 12
VGA60	640	480	60	25.175	✓							

Unique Aspect

信号フォーマット	解像度 (Dot)		V Sync (Hz)	Dotclk (MHz)	HDMI							
					RGB		YCbCr					
							4:4:4		4:2:2		4:2:0	
					8	10, 12	8	10, 12	8	10, 12	8	10, 12
21:9	2560	1080	60	198.000	✓							

SD

信号フォーマット	解像度 (Dot)		V Sync (Hz)	Dotclk (MHz)	HDMI							
					RGB		YCbCr					
							4:4:4		4:2:2		4:2:0	
					8	10, 12	8	10, 12	8	10, 12	8	10, 12
SDTV (480i)	720	480	59.94	13.500	✓	✓	✓	✓	✓	✓		
SDTV (576i)	720	576	50	13.500	✓	✓	✓	✓	✓	✓		
SDTV (480p)	720	480	59.94	27.000	✓	✓	✓	✓	✓	✓		
SDTV (576p)	720	576	50	27.000	✓	✓	✓	✓	✓	✓		

HD

信号フォーマット	解像度 (Dot)		V Sync (Hz)	Dotclk (MHz)	HDMI							
					RGB		YCbCr					
							4:4:4		4:2:2		4:2:0	
					8	10, 12	8	10, 12	8	10, 12	8	10, 12
HDTV (720p)	1280	720	50	74.250	✓	✓	✓	✓	✓	✓		
HDTV (720p)	1280	720	59.94	74.176	✓	✓	✓	✓	✓	✓		
HDTV (720p)	1280	720	60	74.250	✓	✓	✓	✓	✓	✓		
HDTV (1080i)	1920	1080	50	74.250	✓	✓	✓	✓	✓	✓		
HDTV (1080i)	1920	1080	59.94	74.176	✓	✓	✓	✓	✓	✓		
HDTV (1080i)	1920	1080	60	74.250	✓	✓	✓	✓	✓	✓		
HDTV (1080p)	1920	1080	23.98	74.176	✓	✓ ※	✓	✓ ※	✓	✓ ※		
HDTV (1080p)	1920	1080	24	74.250	✓	✓ ※	✓	✓ ※	✓	✓ ※		
HDTV (1080p)	1920	1080	29.97	74.176	✓	✓ ※	✓	✓ ※	✓	✓ ※		
HDTV (1080p)	1920	1080	30	74.250	✓	✓ ※	✓	✓ ※	✓	✓ ※		
HDTV (1080p)	1920	1080	50	148.500	✓	✓ ※	✓	✓ ※	✓	✓ ※		
HDTV (1080p)	1920	1080	59.94	148.352	✓	✓ ※	✓	✓ ※	✓	✓ ※		
HDTV (1080p)	1920	1080	60	148.500	✓	✓ ※	✓	✓ ※	✓	✓ ※		

※ HDRに対応しています。(HDRはHDR10とHLGをサポートします。)

4K

信号フォーマット	解像度 (Dot)		V Sync (Hz)	Dotclk (MHz)	HDMI							
					RGB		YCbCr					
							4:4:4		4:2:2		4:2:0	
					8	10, 12	8	10, 12	8	10, 12	8	10, 12
4K (3840x2160)	3840	2160	23.98	296.703	✓	✓ ※	✓	✓ ※	✓	✓ ※		

信号フォーマット	解像度 (Dot)		V Sync (Hz)	Dotclk (MHz)	HDMI							
					RGB		YCbCr					
							4:4:4		4:2:2		4:2:0	
					8	10, 12	8	10, 12	8	10, 12	8	10, 12
4K (3840x2160)	3840	2160	24	297.000	✓	✓ ※	✓	✓ ※	✓	✓ ※		
4K (3840x2160)	3840	2160	25	297.000	✓	✓ ※	✓	✓ ※	✓	✓ ※		
4K (3840x2160)	3840	2160	29.97	296.703	✓	✓ ※	✓	✓ ※	✓	✓ ※		
4K (3840x2160)	3840	2160	30	297.000	✓	✓ ※	✓	✓ ※	✓	✓ ※		
4K (3840x2160)	3840	2160	50	297.000							✓	✓ ※
4K (3840x2160)	3840	2160	59.94	296.703							✓	✓ ※
4K (3840x2160)	3840	2160	60	297.000							✓	✓ ※
4K (3840x2160)	3840	2160	50	594.000	✓		✓		✓	✓ ※		
4K (3840x2160)	3840	2160	59.94	593.407	✓		✓		✓	✓ ※		
4K (3840x2160)	3840	2160	60	594.000	✓		✓		✓	✓ ※		
4K(4096x2160) (SMPTE)	4096	2160	23.98	296.703	✓	✓ ※	✓	✓ ※	✓	✓ ※		
4K(4096x2160) (SMPTE)	4096	2160	24	297.000	✓	✓ ※	✓	✓ ※	✓	✓ ※		
4K(4096x2160) (SMPTE)	4096	2160	25	297.000	✓	✓ ※	✓	✓ ※	✓	✓ ※		
4K(4096x2160) (SMPTE)	4096	2160	29.97	296.703	✓	✓ ※	✓	✓ ※	✓	✓ ※		

信号フォーマット	解像度 (Dot)		V Sync (Hz)	Dotclk (MHz)	HDMI							
					RGB		YCbCr					
							4:4:4		4:2:2		4:2:0	
					8	10, 12	8	10, 12	8	10, 12	8	10, 12
4K(4096x2160) (SMPTE)	4096	2160	30	297.000	✓	✓ ※	✓	✓ ※	✓	✓ ※		
4K(4096x2160) (SMPTE)	4096	2160	50	297.000							✓	✓ ※
4K(4096x2160) (SMPTE)	4096	2160	59.94	296.703							✓	✓ ※
4K(4096x2160) (SMPTE)	4096	2160	60	297.000							✓	✓ ※
4K(4096x2160) (SMPTE)	4096	2160	50	594.000	✓		✓		✓	✓ ※		
4K(4096x2160) (SMPTE)	4096	2160	59.94	593.407	✓		✓		✓	✓ ※		
4K(4096x2160) (SMPTE)	4096	2160	60	594.000	✓		✓		✓	✓ ※		

※ HDRに対応しています。(HDRはHDR10とHLGをサポートします。)

3D

信号フォーマット	解像度 (Dot)		V Sync (Hz)	Dotclk (MHz)	3Dフォーマット	HDMI					
						RGB		YCbCr			
								4:4:4		4:2:2	
						8	10, 12	8	10, 12	8	10, 12
HDTV (720p)	1280	720	60	148.500	フレームパッキング	✓	✓	✓	✓	✓	✓
				74.250	サイドバイサイド	✓	✓	✓	✓	✓	✓
				74.250	トップアンドボトム	✓	✓	✓	✓	✓	✓

信号フォーマット	解像度 (Dot)		V Sync (Hz)	Dotclk (MHz)	3Dフォーマット	HDMI					
						RGB		YCbCr			
								4:4:4		4:2:2	
						8	10, 12	8	10, 12	8	10, 12
HDTV (720p)	1280	720	59.94	148.500	フレームパッキング	✓	✓	✓	✓	✓	✓
				74.250	サイドバイサイド	✓	✓	✓	✓	✓	✓
				74.250	トップアンドボトム	✓	✓	✓	✓	✓	✓
HDTV (720p)	1280	720	50	148.500	フレームパッキング	✓	✓	✓	✓	✓	✓
				74.250	サイドバイサイド	✓	✓	✓	✓	✓	✓
				74.250	トップアンドボトム	✓	✓	✓	✓	✓	✓
HDTV (1080i)	1920	1080	60	148.500	フレームパッキング						
				74.250	サイドバイサイド	✓	✓	✓	✓	✓	✓
				74.250	トップアンドボトム						
HDTV (1080i)	1920	1080	59.94	148.500	フレームパッキング						
				74.250	サイドバイサイド	✓	✓	✓	✓	✓	✓
				74.250	トップアンドボトム						
HDTV (1080i)	1920	1080	50	148.500	フレームパッキング						
				74.250	サイドバイサイド	✓	✓	✓	✓	✓	✓
				74.250	トップアンドボトム						
HDTV (1080p)	1920	1080	24	148.500	フレームパッキング	✓	✓	✓	✓	✓	✓
				74.250	サイドバイサイド	✓	✓	✓	✓	✓	✓
				74.250	トップアンドボトム	✓	✓	✓	✓	✓	✓

信号フォーマット	解像度 (Dot)		V Sync (Hz)	Dotclk (MHz)	3Dフォーマット	HDMI					
						RGB		YCbCr			
								4:4:4		4:2:2	
						8	10, 12	8	10, 12	8	10, 12
HDTV (1080p)	1920	1080	23.98	148.500	フレームパッキング	✓	✓	✓	✓	✓	✓
				74.250	サイドバイサイド	✓	✓	✓	✓	✓	✓
				74.250	トップアンドボトム	✓	✓	✓	✓	✓	✓
HDTV (1080p)	1920	1080	60	297.000	フレームパッキング						
				148.500	サイドバイサイド	✓	✓	✓	✓	✓	✓
				148.500	トップアンドボトム						
HDTV (1080p)	1920	1080	59.94	297.000	フレームパッキング						
				148.500	サイドバイサイド	✓	✓	✓	✓	✓	✓
				148.500	トップアンドボトム						
HDTV (1080p)	1920	1080	50	297.000	フレームパッキング						
				148.500	サイドバイサイド	✓	✓	✓	✓	✓	✓
				148.500	トップアンドボトム						



仕様一覧

EH-LS500W/EH-LS500B

下記の仕様は2019年6月現在のものです。予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

商品名		EH-LS500W/EH-LS500B
外形寸法		458（幅） x 209.5（高さ） x 375（奥行き） mm （フット含まず）
パネルサイズ		0.61型
表示方式		ポリシリコンTFTアクティブマトリクス
画素数		横1920 x 縦1080 x 3
フォーカス調整		手動
ズーム調整		1 - 1.35（デジタル）
光源		レーザーダイオード
光源出力		最大104.5 W
波長		449 - 461 nm
光源寿命※1		約20,000時間
電源		100 - 240 V AC±10%、50/60 Hz、3.8 - 1.7 A
消費電力	100 - 120 V リア	動作時（レーザーライト出力が100%のとき）：381W 動作時（レーザーライト出力が50%のとき）：236W
	220 - 240 V リア	動作時（レーザーライト出力が100%のとき）：366W 動作時（レーザーライト出力が50%のとき）：230W
待機時消費電力		通信オン：2.0W 通信オフ：0.5W
動作高度		標高0～3048 m
動作温度範囲※2		+5～+35℃（結露しないこと）（標高0～2286 m） +5～+30℃（結露しないこと）（標高2287～3048 m）
保存温度範囲		－10～+60℃（結露しないこと）
質量		約9.3 kg
スピーカー		10 W x 2

※1 光源の明るさが半減するまでの目安時間です。

（大気中に含まれる粒子物質が0.04～0.2mg/m³の環境下での使用を想定しています。使用条件や使用環境によって目安時間は変動します。）

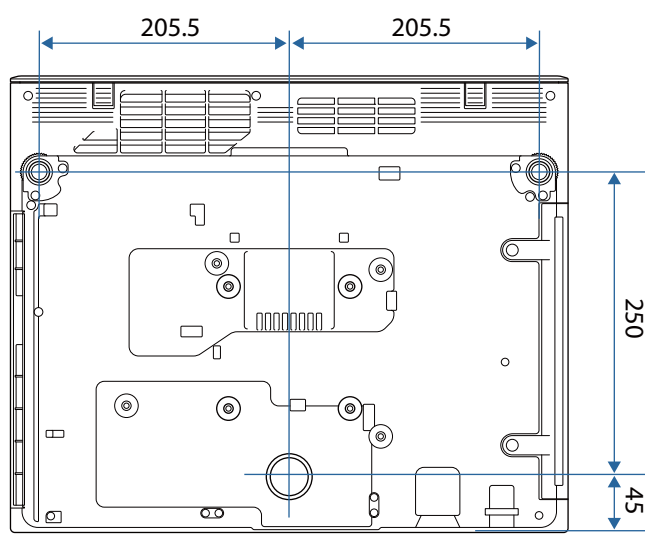
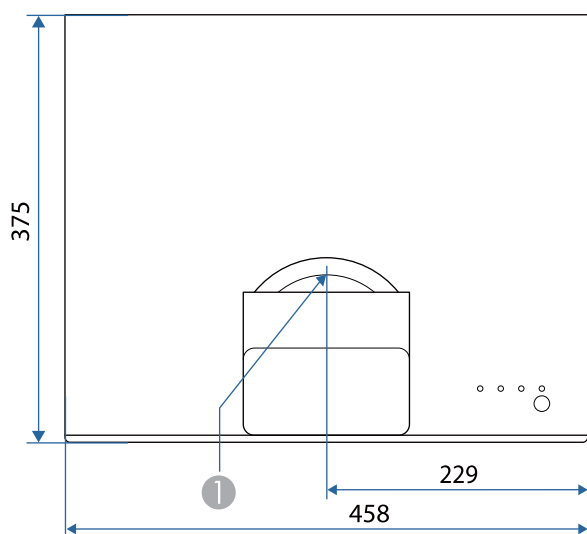
※2 本機を標高1,500m以上の場所で使用するときは、[高地モード] を [オン] にして、本機の内部温度が適切に調節されるようにしてください。👉 [p.68](#)

接続端子	HDMI入力端子	3系統	HDMI HDCP2.2対応、CEC信号対応、3D信号対応、リニアPCM対応、Deep Color
	USB端子※	1系統	USBコネクタ（Aタイプ）USB2.0に対応
	DC Out (2.0A)給電専用端子※	1系統	USBコネクタ（Aタイプ）
	Audio Out端子	1系統	ステレオミニピンジャック（3.5Φ）
	RS-232C端子	1系統	D-sub 9pin（オス）
	LAN端子	1系統	RJ-45
	Service端子※	1系統	USBコネクタ（Bタイプ）USB2.0に対応

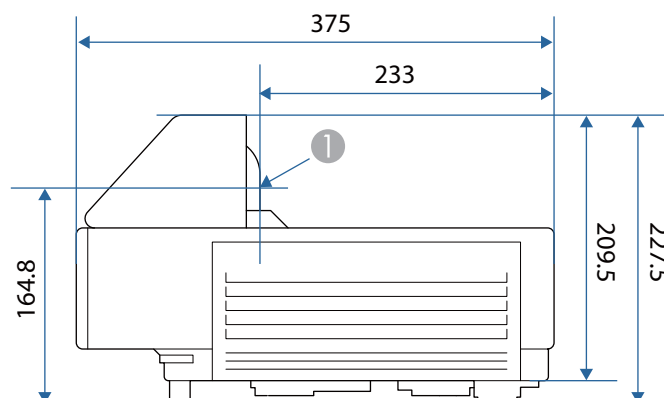
※ USB対応機器すべての動作を保証するものではありません。

外形寸法図

単位：mm



① レンズ中心



安全規格対応シンボルマークについて

製品上に以下のシンボルマークが表示されている場合は、それぞれ以下の意味を持っています。

シンボルマーク	対応規格	意味
	IEC60417 No.5007	電源 ON 電源への接続を示す。
	IEC60417 No.5008	電源 OFF 電源からの切り離しを示す。
	IEC60417 No.5009	スタンバイ 機器・装置の一部だけを通电状態にし、機器・装置を待機状態にするためのスイッチまたはその位置を示す。
	ISO7000 No.0434B IEC3864-B3.1	注意 製品取扱時の全般的な注意を示す。
	IEC60417 No.5041	注意（高温） 高温の可能性があり、不注意に触れない方がよい箇所であることを示す。
	IEC60417 No.6042 ISO3864-B3.6	注意（感電危険） 感電（電撃）の危険性がある機器・装置であることを示す。
	IEC60417 No.5957	屋内専用 屋内使用専用を目的とする電気機器・装置であることを表す。
	IEC60417 No.5926	直流電源コネクタ極性 直流電源を接続してもよい機器のプラス及びマイナス電極の接続を示す。

	IEC60417 No.5001B	電池(一般) 電池を電源とする機器・装置に使用する。電池装着部分のカバーまたは接続端子を示す。
	IEC60417 No.5002	電池の向き 電池ケース本体および電池ケース内での向きを示す。

	IEC60417 No.5019	保護接地 障害発生時の電撃（感電）保護用外部導体への接続端子または保護接地極の端子であることを示す。
	IEC60417 No.5017	アース Ⓛ の使用が明示的に要請されない場合の接地（アース）端子であることを示す。

シンボルマーク	対応規格	意味
	IEC60417 No.5032	交流 交流専用の機器・装置であり、交流に対応する端子であることを示す。
	IEC60417 No.5031	直流 直流専用の機器・装置であり、直流に対応する端子であることを示す。
	IEC60417 No.5172	クラスⅡ機器 JIS C 9335-1/JIS C 8105-1でクラスⅡ機器と規定した安全性要求事項に適合する機器・装置であることを示す。
	ISO 3864	一般的な禁止 特定しない一般的な禁止通告を示す。
	ISO 3864	接触禁止 機器の特定の場所に触れることによって傷害が起こる可能性がある場合の禁止通告を示す。
	---	プロジェクター動作中の投写レンズ覗きこみ禁止を示す。
	---	プロジェクターの上に物を置いてはならないことを示す。
	ISO3864 IEC60825-1	注意(レーザー放射) 製品上に注意が必要なレベルのレーザ放射部があることを示す。
	ISO 3864	分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止通告を示す。
	IEC60417 No.5266	待機、一部待機 機器・装置の一部が準備状態であることを示す。
	ISO3864 IEC60417 No.5057	注意(可動部品) 保護規定上、可動部品から離れなければならないことを示す。
	IEC 60417-6056	注意(可動ファンのブレード) 保護規定上、可動ファンのブレードから離れなければならないことを示す。
	IEC 60417-6043	注意(鋭利な角) 保護規定上、鋭利な角には触れてはいけないことを示す。
	--	プロジェクター動作中の投写レンズ覗きこみ禁止を示す。
	ISO7010 No. W027 ISO 3864	警告、光放射(UV、可視光、IRなど) 光放射の近くにいるときは、目や肌に負傷を与えないように注意することを示す。
	IEC60417 No.5109	居住区域使用禁止 居住区域での使用に適さない電気機器・装置であることを示す。



レーザー製品を安全にお使いいただくために

本機はJIS C 6802:2014/IEC60825-1に適合したクラス1レーザー製品です。以下の注意事項を必ず守ってご使用ください。

警告

- 本機のケースを開けないでください。内部に高出力レーザー製品が組み込まれています。
- 本機の光源を直接見ないでください。強い光が視力障害などの原因となります。
- 本機に異常が発生したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。そのまま使用を続けると、感電や火災の原因だけでなく、視力障害の原因にもなります。

注意

本機を廃棄する場合は分解しないでください。国や地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。



- 本機の光源はレーザーを使用しています。レーザーには以下のような特性があります。
- 使用環境によって、光源の輝度が低下します。温度が高くなるほど、輝度の低下が大きくなります。
- 光源のホワイトバランスや明るさレベルのずれを補正するために、電源オフ時に光源キャリブレーション処理が行われることがあります。

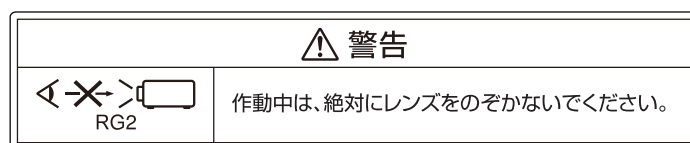
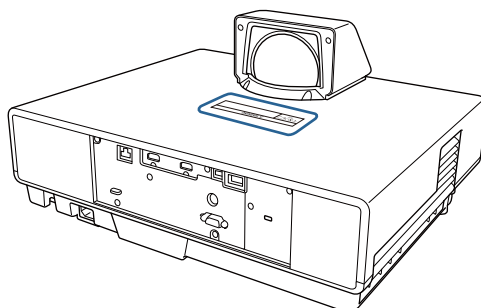
レーザー警告ラベル

本機の内部および側面にはレーザー警告ラベルが貼られています。

内部



外部



投写中は、投写レンズから放射されるビームをのぞかないでください。(RG2 IEC/EN 62471-5:2015に準拠)



用語解説

本書で使用している用語で、本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明します。詳細については市販の書籍などを利用してください。

4K	画面を構成する画素数が3840×2160画素で高画質の映像のことです。
HDCP	High-bandwidth Digital Content Protectionの略で、DVIやHDMI端子を経由して送受信するデジタル信号を暗号化し、不正なコピーを防止する著作権保護技術です。本機のHDMI入力端子はHDCPに対応しているため、HDCP技術で保護されたデジタル映像を投写できます。ただし、HDCPの規格変更等が行われたときは、変更後の規格で保護されたデジタル映像を投写できなくなる場合があります。
HDMI™	High Definition Multimedia Interfaceの略で、HD映像と、マルチチャンネルオーディオ信号をデジタル伝送する規格のことをいいます。 HDMI™はデジタル家電やコンピューターをターゲットにした規格であり、デジタル信号を圧縮せず高品質のまま転送でき、デジタル信号の暗号化機能もあります。
HDTV	High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。 • 垂直解像度720p、1080i以上（pはプログレッシブ走査、iはインターレース走査） • 画面のアスペクトは16：9・ドルビーデジタル音声の受信、再生（あるいは出力）
SDTV	Standard Definition Televisionの略で、HDTVの条件を満たさない標準テレビ放送のことです。
SVGA	画面サイズの規格で、横800ドットx縦600ドットのことを呼びます。
SXGA	画面サイズの規格で、横1,280ドットx縦1,024ドットのことを呼びます。
VGA	画面サイズの規格で、横640ドットx縦480ドットのことを呼びます。
XGA	画面サイズの規格で、横1,024ドットx縦768ドットのことを呼びます。
YCbCr	SDTV用のコンポーネント映像信号で、Yが輝度、Cb、Crが色差を表します。
YPbPr	HDTV用のコンポーネント映像信号で、Yが輝度、Pb、Prが色差を表します。
アスペクト比	画面の横と縦の比率をいいます。横：縦の比率が16：9の、HDTVなどの画面をワイド画面といいます。 SDTVや、一般的なコンピューターのディスプレイのアスペクト比は、4：3です。
インターレース	1つの画面を作り出す情報を上から下へひとつ飛ばしに伝送します。1フレームの表示が1ラインおきとなるため、ちらつき（フリッカー）が出やすくなります。
ペアリング	Bluetooth機器で接続するとき、相互に通信できるよう、あらかじめ機器を登録することです。



一般のご注意

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(「お問い合わせ先」参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

本機を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源コードは販売国の電源仕様にに基づき同梱されています。本機を販売国以外でお使いになるときは、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源コードを現地にてお求めください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお薦めします。

JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

Japan

本製品を正しく使用するために、はじめにマニュアルをお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。

 警告

- 心臓ペースメーカーに電磁妨害をおよぼし、誤作動の原因となることがあります。お使いの前に、心臓ペースメーカーを使用した人が近くにいないことを確認してください。
- 医療機器に電磁妨害をおよぼし、誤作動の原因となることがあります。お使いの前に、医療機器が近くにないことを確認してください。
- 無線通信機能は、自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しないでください。電波が機器に影響を及ぼしたり、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
- 本機を継続して使用するときは、人体から20cm以上離れた場所でご使用ください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- (1) この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- (2) 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、弊社インフォメーションセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談して下さい。
- (3) その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社インフォメーションセンターへお問い合わせ下さい。

2.4 FH 4



Ⓡ 201-125241 左記認証無線機器を内蔵

商標について

「EPSON」はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。「EXCEED YOUR VISION」はセイコーエプソン株式会社の登録商標または商標です。

iPad、iPhone、Mac、OS X、iOS、は、Apple Inc.の商標です。

Windows、Windows ロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia InterfaceはHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標、または登録商標です。 

Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、セイコーエプソン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

Bluetopia® is provided for your use by Stonestreet One, LLC® under a software license agreement. Stonestreet One, LLC® is and shall remain the sole owner of all right, title and interest whatsoever in and to Bluetopia® and your use is subject to such ownership and to the license agreement. Stonestreet One, LLC® reserves all rights related to Bluetopia® not expressly granted under the license agreement and no other rights or licenses are granted either directly or by implication, estoppel or otherwise, or under any patents, copyrights, mask works, trade secrets or other intellectual property rights of Stonestreet One, LLC®.

© 2000-2012 Stonestreet One, LLC® All Rights Reserved.

WPA™、WPA2™はWi-Fi Allianceの登録商標です。

App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。

Netflixは、Netflix, Inc.の登録商標です。 **NETFLIX**

Google、Android TV™、Chromecast、Google Assistant、YouTubeおよびGoogle Playは、Google LLCの商標です。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

©SEIKO EPSON CORPORATION 2021. All rights reserved.



数字・アルファベット

3D明るさ調整	65
3D映像	48
3D設定	65
3D表示	65
3D方式設定	65
3Dメガネ	49
3Dメガネ左右反転	65
4Kエンハンスメント	64
A/Vミュート	35
AMX Device Discovery	75
Android TV端末の接続	20
Android TV用リモコン	15
ARC対応AVアンプの接続	24
Control4 SDDP	75
DHCP	74
EDID	66
Event ID	89
G-M補正	63
HDMIリンク	51, 67
iPad/iPhoneの接続	22
IPアドレス	74
IPアドレス表示	75, 74
IP設定	74
LAN情報表示	73
LAN端子の接続	22
MPEGノイズリダクション	39, 64
PJLink	98
QRコード表示	72
Quick Corner	34, 66
Remoteパスワード	73
RGBCMY	43, 64
RGBの調整	42
SSID	73
SSID表示	74

ア

明るさ	63
アクセスポイント検索	73
アスペクト	36, 65
アドバンスト	64, 66
イメージ強調	39, 64
イルミネーション	70
色合い	63
色温度	42, 63
色深度	76
色の濃さ	63
インジケーター	9, 77
エアフィルター	90, 92
エアフィルターカバー	9
映像処理	41, 66
映像の位置調整	32

映像メニュー	65
液晶アライメント	69, 71, 94
オーバースキャン	65
オフセット	42, 63
音量	35, 66

カ

外形寸法	108
外部スピーカーの接続	23
拡張設定メニュー	68
格納スペースカバー	9
画質	36
画質メニュー	63
型番表示モード	69
カラースペース	65
カラーフォーマット	76
カラーモード	36, 63
環境設定メニュー	62
ガンマ	44, 64
基本設定メニュー	73
吸気口	9, 12
クールダウン	30
グレースケール	63
ゲイン	42, 63
ゲートウェイアドレス	74, 75
言語	70
光源情報	76
高地モード	70
コントラスト	63
コンピューターの接続	22

サ

彩度	43, 64
サブネットマスク	74, 75
色相	43, 64
シャープネス	38, 63
仕様一覧	106
情報メニュー	76
消耗品の交換	92
初期化	64, 66, 68, 70
初期化メニュー	75, 76
ズーム	31, 36, 66
スクリーンサイズ	19
スタートアップスクリーン	69
スタンバイ時USB給電	70
スタンバイボタン	9
スピーカー	9
スリープモード	70
セキュリティ	58, 74
セキュリティメニュー	74
接続	20
接続モード	73

設置モード	69
設定メニュー	66
全初期化	76
操作パネル	9, 13
操作範囲	26
操作ボタンロック	67
その他メニュー	75
ソフトキーボード	72

タ

対応解像度	100
待機モード	70
台形補正	66
台形ゆがみ	33
ダイナミックコントラスト	40, 64
ダイナミックレンジ	65
ダイレクトパワーオン	70
タテヨコ補正	33, 66
チャイルドロック	67
チャンネル設定	73
超解像	39, 64
ディテール強調	39, 64
デジタルピクチャーシフト	32, 66
電源	10, 27, 30
動作設定	70
投写距離	19
投写サイズの調整	31

ナ

入力ソース	28
ネットワークメニュー	71
ノイズ	83
ノイズリダクション	39, 64

ハ

バージョン	76
排気口	10, 12
背景表示	69
パスフレーズ	74
ビデオ機器の接続	22
表示設定	69
ピント	82
ピント調整	31
フォーカス調整	31
フォーカスリング	31
フォーカスレバー	9
ブラッキング	66
フル	36
フレーム補間	40, 64
プログレッシブ変換	64
プロジェクター情報	76
プロジェクター名	73

プロジェクターリモコン	14
フロントカバー	9
フロントフット	12
ペアリング	25
ホーム画面	29
ホーム画面設定	68
ボリューム	35
ホワイトバランス	63
本体の掃除	92

マ

ミュート	35
無線LAN電源	71
無線LANメニュー	73
無線LANユニット	23
明度	43, 64
メッセージ表示	69
メニュー	62
メモリー	68
メモリー機能	46
メモリー初期化	76

ヤ

有線LANメニュー	74
ユニフォーミティー	69, 96

ラ

リアフット	12
リモコン	14, 25
レーザーライト出力	64
レンズ	10
レンズの掃除	92
ロック設定	67